

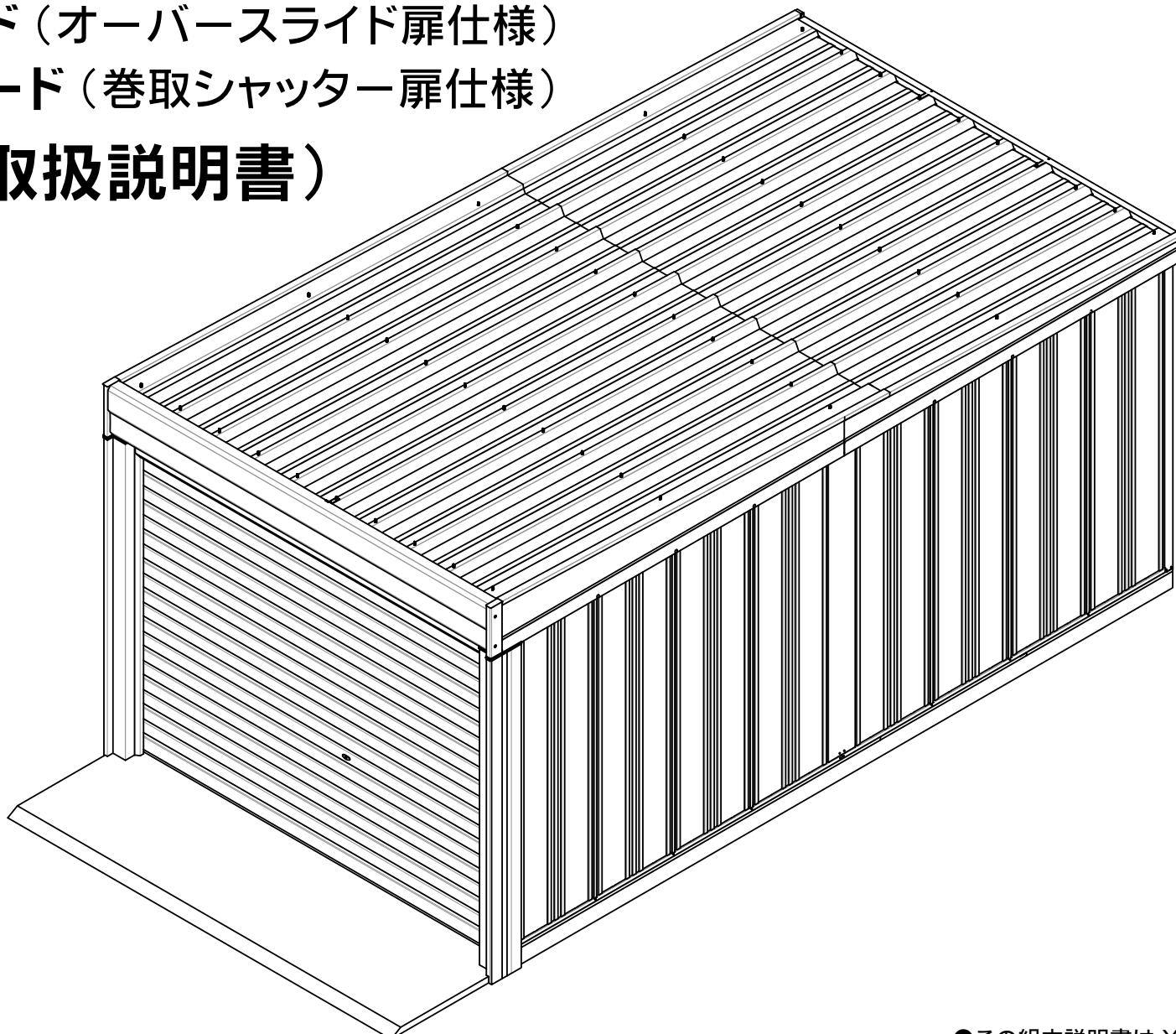
# タクボガレージ

Vol.2

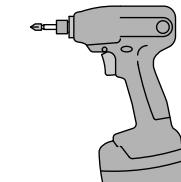
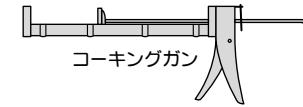
- ベルフォーマ スクード（オーバースライド扉仕様）
- カールフォーマ スクード（巻取シャッター扉仕様）

## 共通組立説明書（取扱説明書）

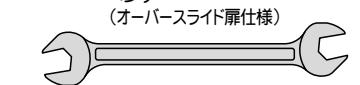
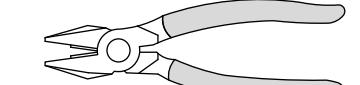
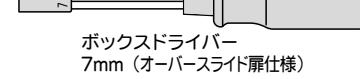
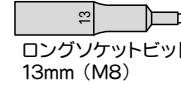
ベルフォーマ スクード (オーバースライド扉仕様) 品番	カールフォーマ スクード (巻取シャッター扉仕様) 品番
XS-2753	YS-2753
XS-2760	YS-2760
XS-2765	YS-2765
XS-3153	YS-3153
XS-3160	YS-3160
XS-3165	YS-3165
XS-3453	YS-3453
XS-3460	YS-3460
XS-3465	YS-3465
XM-2753	YM-2753
XM-2760	YM-2760
XM-2765	YM-2765
XM-3153	YM-3153
XM-3160	YM-3160
XM-3165	YM-3165
XM-3453	YM-3453
XM-3460	YM-3460
XM-3465	YM-3465
XL-2753	YL-2753
XL-2760	YL-2760
XL-2765	YL-2765
XL-3153	YL-3153
XL-3160	YL-3160
XL-3165	YL-3165
XL-3453	YL-3453
XL-3460	YL-3460
XL-3465	YL-3465



組立に必要な工具



インパクトドライバー



●この組立説明書は XM-3460 を主な例に説明しています。

### 安全に組み立てていただくために・・・

- お買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しく組み立ててください。
- 特に〈1.組立前に必ずお読みください〉をよくご覧ください。
- 施工業者様へ：組立完成後、この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- 強風時などに備え、転倒予防措置には十分なご配慮をお願いします。  
特に安全が確認できない屋上等、高所への設置はお避けください。

# 1.組立前に必ずお読みください

ここに記載してある内容は、タクボガレージを安全に組立・ご使用いただく上で、重要なことを述べています。必ずお読みになり、正しくお使いいただくようお願い申し上げます。

## ■危害・損害の程度による内容について

<b>△ 注意</b>	取り扱いを誤ると、お客様が重傷などの人的損害を負う危険、または物的損害の発生する可能性があります。
<b>[留意事項]</b>	ここに書かれている内容をお守りにならなかった場合、軽いケガや物的損害の発生する可能性があります。

## 1-1.製品の仕様についてのご注意

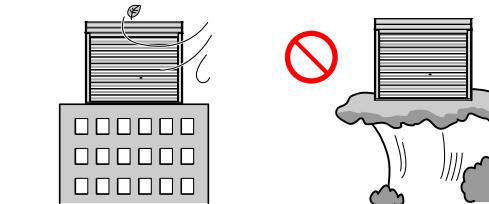
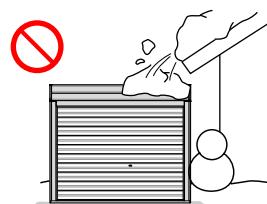
### △ 注意

- 設置現場で部材を組み立てる製品の特性上、多少の隙間（光が漏れる程度）が生じます。
- 製品の構造上、完全な防水仕様ではありません。部材の隙間などから水が入る可能性があります。
- 上記2点の問題により、ほこりや虫、ネズミ等の小動物が入り込んだり、粉雪が吹き込む場合がありますのでご注意ください。
- 運搬等により塗装面に傷が付くことがあります。軽微な傷は補修塗料による対応となります。

## 1-2.設置場所についてのご注意

### △ 注意

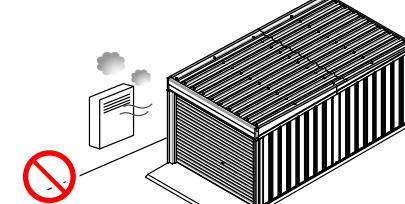
- 屋根などの雪が落下する恐れがある場所への設置は避けてください。  
ガレージは柱構造のため、安全性を高めた設計構造ですが、万が一破損、または倒壊してケガをする可能性があり危険です。
- 崖の縁など、安全の確認できない場所への設置は避けてください。  
また、ビルの屋上などへの設置も避けてください。  
強風により転倒したり、部品が落下する可能性があり危険です。



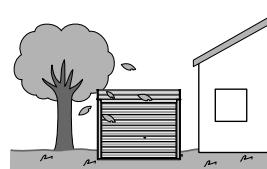
- 地盤が軟らかい場所は、地固めを行ってから設置してください。  
扉の開閉が重くなったり雨漏りの恐れがあります。



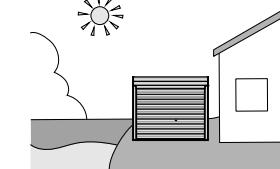
- 強い腐食性ガスがある給湯器排気口付近への設置は避けてください。  
排気ガスが塗装を劣化させ、サビ・変色の原因になります。



- 木の下付近は落ち葉等で雨樋が詰まり、雨漏りや腐食の原因となることがあります。
- 隣地境界線付近  
(雨水の排水・跳ね返り、落雪、日照の妨げ等に対する近隣への配慮が必要です)



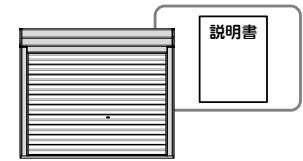
- 薬品・融雪剤等の影響を受ける場所では、ガレージ本体の変色や腐食の原因となることがあります。
- 塩害を受ける場所（海沿いの地域等）は、ガレージ本体の腐食の原因となることがあります。定期的な水洗いを推奨します。
- 建物に隣接する時は、屋根の出幅・組立施工に必要な所定のスペースを確保してください。



## 1-3.組立にあたってのご注意

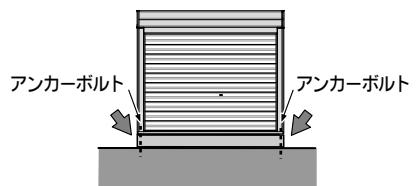
### 組立前に！

- 組立前には、まず組立説明、取扱説明をよくお読みください。また、組立完了後は、説明書をお客様が大切に保管してください。



### △ 注意

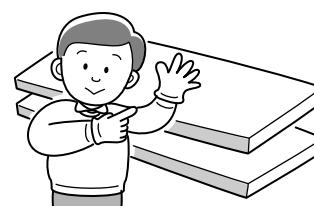
- 転倒予防のため、所定の基礎打設作業を必ず行ってください。  
指定の作業が行われていないと倒壊、または破損してケガをする可能性があり危険です。



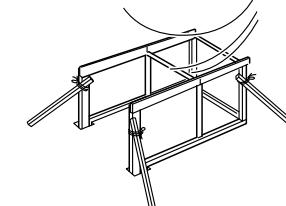
- 風の強い日は施工を避けてください。  
強風のため部材の転倒による破損、または部材が飛ぶなどしてケガをする可能性があり危険です。



- 組立時は、必ず手袋、長袖シャツや作業着といった保護具を着用してください。  
万全を期していますが、部材の角や端部などでケガをする恐れがあります。

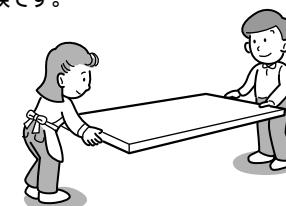


- 組立途中での放置は避けてください。やむを得ず組立途中に離れる場合は、支え柱やロープによる部材固定を行ってください。  
強風により部材が飛散・転倒してケガや破損をする可能性があり危険です。

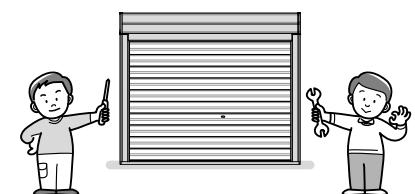


### 【留意事項】

- 重量部材（特に30kg以上）の運搬は、必ず二人以上で行ってください。  
ケガをしたり、腰を痛めるなどの可能性があり危険です。



- お客様が組立を行う場合は、必ず二人以上で行ってください。  
無理に一人で作業を行うと、組立中の部材が転倒したり、落下したりして非常に危険です。



- 組立完了後、ボルトの締め付けや金具類の取り付け忘れないかなどをご確認ください。  
正しく組み立てられてないと所定の強度が確保できなくなります。



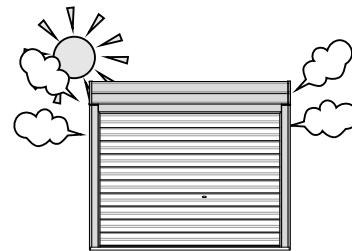
## 1-4. 安全にご使用いただくためのご注意

### ! 注意

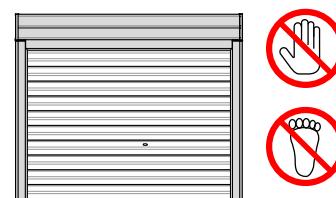
- 他の建物の上からガレージの屋根に飛び乗るなどの行為は行わないでください。ケガをする恐れがあり危険です。



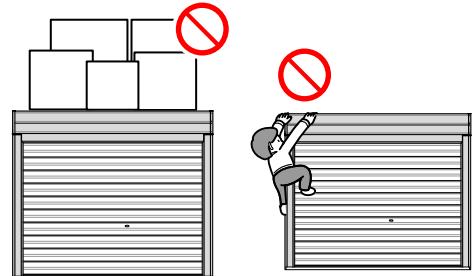
- 直射日光によりガレージが熱くなる場合があります。やけどに注意してください。



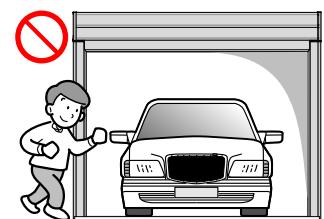
- 扉・窓の開閉時に、手や足を挟まないよう注意してください。ケガをする恐れがあります。



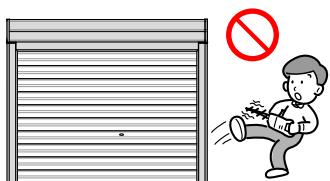
- 屋根の上に物を載せたり、人が乗ったり、ぶら下がるなどの行為はしないでください。転倒や落下によりケガをしたり、破損などの原因になる恐れがあります。



- 閉まりかけている扉の下に走り込まないでください。ケガや死亡事故につながる恐れがあります。



- 電気配線や改造・変更などを行う場合は、必ず専門の業者にご相談ください。お客様が独自に改造などをされますと、強度などの問題により、ケガなどの人的損害や物的損害などを与える恐れがあります。



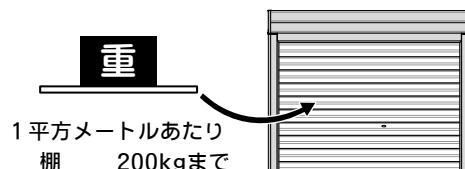
- 台風等の暴風雨などにより、商品の機能を超える事態が発生するとシャッター や本体が飛ばされるような事態になったり、庫内に雨水が侵入することがあります。災害が予想される場合には、本施設の上、角材や別売のシャッター補強棒で補強するとか、事前に収納物を移動させるなどの対策をお願いします。



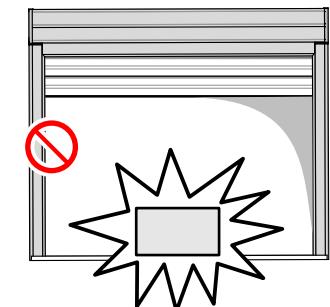
### ! 注意

- 棚は許容耐荷重以上のものは載せないでください。

許容耐荷重は、等分布荷重で1平方メートルあたり2000N(200kgf)までです。  
荷物を載せるときは、静かに載せてください。  
これを超えた荷物を載せると棚が破損したり、変形して荷物の落下によりケガなどの原因になる恐れがあります。



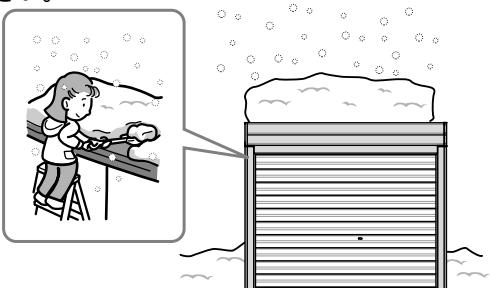
- 扉の下方に物を置かないでください。扉の落下により物が壊れる恐れがあります。



### ! 注意

#### ●積雪時のご注意

- 1) 雪下ろし・雪庇落としは早めに行ってください。  
※ 安全のため、最大積雪基準を目安に雪下ろしをしてください。  
 一般地用 … 1200N/m<sup>2</sup>(120kgf/m<sup>2</sup>) … 60cm以下  
 多雪地用 … 3000N/m<sup>2</sup>(300kgf/m<sup>2</sup>) … 100cm以下
  - 2) 雪下ろしを行う際は、できるだけ屋根には上がらずに作業してください。  
屋根に上がる際は、落下・転倒に十分ご注意してください。
  - 3) ガレージ周囲の雪も早めに取り除いてください。
  - 4) 雪下ろしのために水を掛けないでください。  
水を含んだ雪は重くなり、本体破損やすがもれの原因になります。
  - 5) 積雪量が多く、寒暖差が大きい時に、すがもれ現象が生じやすくなります。  
早めに雪下ろしや軒樋付近の氷を取り除いてください。濡れて困るような収納物は、ビニール等で覆ってください。
- ※ 許容耐荷重を超えた積雪の場合は、人的被害や収納物の破損などの事故につながる可能性がありますのでご注意ください。

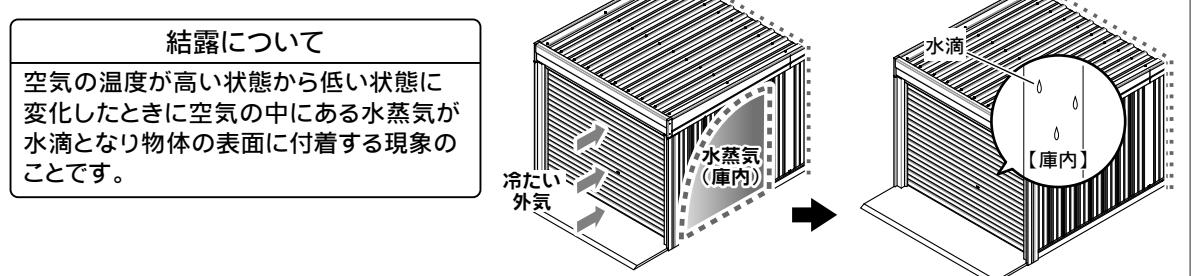


### ! 注意

庫内と外気の温度差が大きくなると、庫内に結露が発生する自然現象が生じます。結露が発生した場合は水分を拭き取ってください。また、換気を行うなどをして外気との温度差を少なくすることで結露の発生を軽減できます。

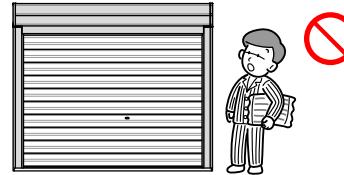
#### 結露について

空気の温度が高い状態から低い状態に変化したときに空気の中にある水蒸気が水滴となり物体の表面に付着する現象のことです。



## [留意事項]

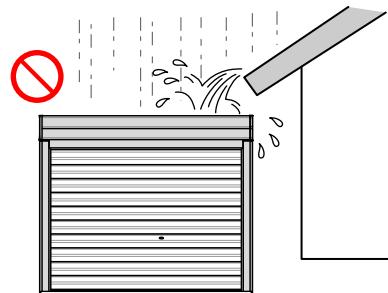
●ガレージは、物の収納用として設計されていますので、他の目的（遊び場、住居の一部など）には絶対に使用しないでください。ケガなどの事故につながる可能性があります。



●ガレージの中では、子どもを遊ばせないでください。ケガなどをすることがあります。



●家の屋根などから、雨水がガレージの上に直接落ちないようにしてください。雨漏りの原因になることがあります。



●ガレージは柱構造のため、頑丈につくられていますが、搖すったりする無理な扱いはケガなどにつながることがあります。

●シャッターの内側に水が入ってくる場合があるので、濡れて困るものをシャッターの近くに置かないでください。

●シャッターの屋外側に横向きの風雨があたった場合、シャッターの庫内側に水が伝わり、濡れることがあります。

●シャッターが雨などに濡れているときに開閉すると、シャッターの屋外側と庫内側が重なるため、庫内側に水滴がつくことがあります。

●地域・気候・使用条件などにより、ガレージ内に結露が発生します。結露水が落ちる場合がありますので、その付近に濡れては困る物を置かないでください。

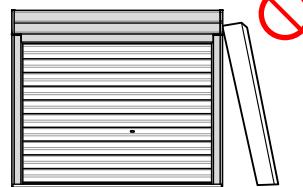
●高温・多湿などにより変色・変形が生じる恐れがあるものは、収納を避けてください。

●化学肥料や農薬・塩分の出る可能性のあるものを棚にのせる場合は、必ず受け皿や敷物をお使いください。（サビの発生の原因になります。）

●タイヤは、よく水洗いしてから収納してください。融雪剤の塩素がサビの原因になります。

●ガレージに物を立てかけないでください。

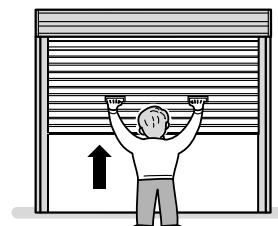
強風による物の転倒や飛散も考えられ、危険です。



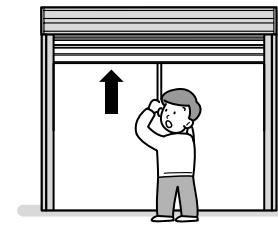
## 巻取シャッターの開閉方法

【巻上げスピードが早いと、破損の原因になります。以下の事項を守って下さい。】

1. 手掛けをもって、水切りが胸の位置にくるくらいまで静かに引き上げます。

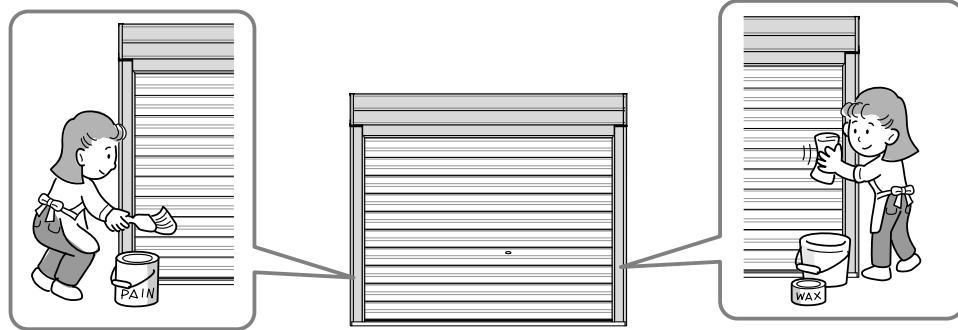


2. シャッター引き下げ棒を水切りの穴にかけ、静かに押し上げます。

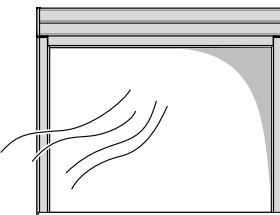


## お手入れについて！

●長期間ご使用になると、様々な傷ができることがあります。傷はなるべく早めに補修しましょう。また、可動部品に劣化が見られた場合は交換をお願いします。

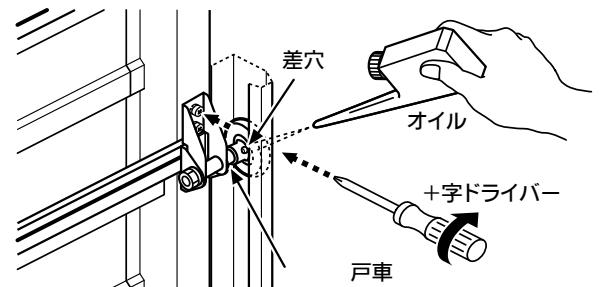


●時々シャッターを開けるなどして、換気をしてください。



### 【オーバースライド扉仕様の場合】

●半年に1~2回、左右レールの中の戸車軸、及び差穴へオイルを塗ってください。



●ガレージ内部に結露が発生した場合は水分を拭き取ってください。

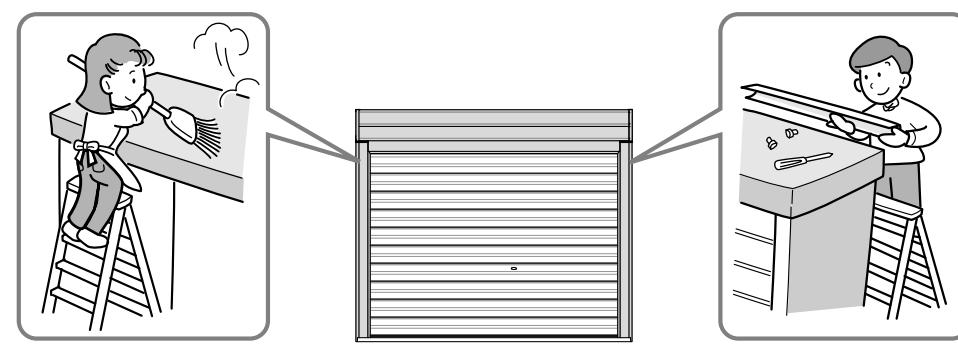
※結露は自然現象です。ガレージの設置場所・環境によっては結露が発生する場合があります。

●屋根や軒樋・レールなどに枯れ葉やゴミがたまらないように、定期的に清掃を行いましょう。

### 注意

屋根の上には乗らないでください。ケガをする可能性があり危険です。

※軒樋のゴミを取り除く時は、軒樋を取り外してください。詳しくは組立説明書をご覧ください。（45ページ「26.前化粧板・前化粧板止め金具・軒樋・軒樋止め金具の組立」の逆の手順で外してください）



## 2. 部品一覧表

### 2-1. 部品のチェック

各部品にはシールが貼ってあります。

(注: 部品の中にはシールを貼っていないものもあります。シールのないものは部品のナンバーの右に\*がついています。)

F253 ← 商品の分類番号です。  
 47 ← 部品のナンバー(47は、組立手順の最初に出てくる 台枠水切り左右前 です。)  
 シールの下半分のナンバーで、部品を確認してください。 (例) 本組立説明書の中では右のようなマークで部品を表しています。 47

#### 本体組立部品

名 称	品番	機種別個数																																				
		XS・YSタイプ								XM・YMタイプ								XL・YLタイプ																				
		2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465										
左台枠前	G253_01	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1											
左台枠後	G253_02	1			1			1			1			1			1			1			1			1												
	G260_02		1			1			1			1			1			1			1			1			1											
右台枠前	G253_03	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
右台枠後	G253_04	1			1			1			1			1			1			1			1			1			1									
	G260_04		1			1			1			1			1			1			1			1			1			1								
	G265_04			1			1			1			1			1			1			1			1			1			1							
後台枠	G253_05	1	1	1							1	1	1								1	1	1															
	G353_05				1	1	1							1	1	1							1	1	1													
	G453_05							1	1	1																												
前コーナー柱左	XS53_06	1	1	1	1	1	1	1	1																													
	XM53_06									1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		
	XL53_06																			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
前コーナー柱右	XS53_07	1	1	1	1	1	1	1	1	1																												
	XM53_07										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		
	XL53_07																			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
縦カバー左	XS53_206	1	1	1	1	1	1	1	1	1																												
	XM53_206										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		
	XL53_206																			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
縦カバー右	XS53_207	1	1	1	1	1	1	1	1	1																												
	XM53_207										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		
	XL53_207																			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
後コーナー柱左	G253_08	1	1	1	1	1	1	1	1	1																												
	M253_08										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		
	J253_08																			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
後コーナー柱右	G253_09	1	1	1	1	1	1	1	1	1																												
	M253_09										1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		
	J253_09																			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
中間柱	G253_10	13	15	17	14	16	18	14	16	18																												
	M253_10										13	15	17	14	16	18	14	16	18																			
	J253_10																			13	15	17	14	16	18	14	16	18										
中央柱	G253_11	2	2	2	2	2	2	2	2	2										2	2	2	2	2	2	2	2	2										
	M253_11										2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																		

名 称	品番	機種別個数																													
		XS・YSタイプ										XM・YMタイプ										XL・YLタイプ									
		2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465		2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465		2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	
中央柱	J253 11																					2	2	2	2	2	2	2	2	2	
壁パネル大	VS53 20	17	19	19	18	20	20	18	20	20																					
	JN00 20											17	19	19	18	20	20	18	20	20											
	VL53 20																					17	19	19	18	20	20	18	20	20	
壁パネル小	G253 21	1	1	3			2	1	1	3																					
	JR00 21											1	1	3				2	1	1	3										
	J253 21																					1	1	3			2	1	1	3	
壁パネル狭	G353 22				1	1	1																								
	M353 22																1	1	1												
	J353 22																									1	1	1			
後桁	G253 12	1	1	1								1	1	1									1	1	1						
	G353 12				1	1	1										1	1	1							1	1	1			
	G453 12							1	1	1										1	1	1						1	1	1	
前桁	G253 13	1	1	1								1	1	1									1	1	1						
	G353 13				1	1	1										1	1	1							1	1	1			
	G453 13							1	1	1									1	1	1						1	1	1		
※中央母屋	G253 14	1	1	1								1	1	1									1	1	1						
	G353 14				1	1	1										1	1	1							1	1	1			
	G453 14							1	1	1									1	1	1						1	1	1		
※一般母屋	G253 15	5	6	7								5	6	7								5	6	7							
	G353 15				5	6	7										5	6	7						5	6	7				
	G453 15							5	6	7								5	6	7						5	6	7			
添え柱	M253 17											13	15	17	14	16	18	14	16	18											
	J253 17																				13	15	17	14	16	18	14	16	18		
左化粧板前	G253 23	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
左化粧板後	G253 24	1			1			1				1			1			1				1			1			1			
	G260 24		1			1			1				1			1			1				1			1			1		
	G265 24			1			1			1				1			1			1				1			1			1	
右化粧板前	G253 25	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
右化粧板後	G253 26	1			1			1				1			1			1				1			1			1			1
	G260 26		1			1			1				1			1			1				1			1			1		
	G265 26			1			1			1				1			1			1				1			1			1	
前化粧板	X253 27	1	1	1								1	1	1								1	1	1							
	X353 27				1	1	1							1	1	1									1	1	1				
	X453 27							1	1	1										1	1	1						1	1	1	
軒樋	G253 28	1	1	1								1	1	1								1	1	1							
	G353 28				1	1	1							1	1	1									1	1	1				
	G453 28							1	1	1							1	1	1								1	1	1		
屋根板前	F253 29	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	5	5	5			
屋根板後	F253 31	4			4			5			4			4			5			4			4			5					
	F260 31		4			4			5			4			4			5			4			4			5				

\* のついている部品にはシールがはられていません。予備を含んだ個数です。( )は 予備の数量です。

## 【ベルフォーマ用（オーバースライド扉）組立部品】

## ガレージ：一般・独立

名称	品番	機種別個数																													
		XSタイプ										XMタイプ										XLタイプ									
		2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465			
滑車台左	G253 43	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
滑車台右	G253 44	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
戸車(上)	GY00 81*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
戸車(下)左	GY00 82*	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
戸車(下)右	GY00 83*	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
蝶番	GY00 84*	10	10	10	10	10	10	11 (1)	11 (1)	11 (1)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
蝶番(戸車付)左	GY00 85*	9	9	9	9	9	9	10 (1)	10 (1)	10 (1)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
蝶番(戸車付)右	GY00 86*	9	9	9	9	9	9	10 (1)	10 (1)	10 (1)	10	10	10	10	10	10	10	10	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
スプリング	G353 87*	2	2	2	2	2	2																								
	G453 87*							2	2	2																					
	M253 87*										2	2	2																		
	M353 87*													2	2	2															
	H460 87*																			2	2	2									
	G253 87*																			2	2	2									
	H353 87*																														
スプリングカバー	G253 45	2	2	2	2	2	2	2	2	2																					
	M253 45										2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
スプリングスペーサー	G253 46*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
シャッター引き下げ棒 600L	G260 89*	1	1	1	1	1	1	1	1	1																					
シャッター引き下げ棒 1000L	H260 89*										1	1	1	1	1	1	1	1	1												
シャッター引き下げ棒 1400L	J260 89*																			1	1	1	1	1	1	1	1	1			
扉クッション金具 左	S253 51	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
扉クッション金具 右	S253 52	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
ねじ座金	S253 53*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
扉クッション受け	S253 54*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
ワイヤ Φ2.5 (外径Φ4)	G253 184*	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
ワイヤクリップφ4用		3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)				
裸圧着スリーブP8		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
M6×20 六角ボルト (アセットセムスM6×20棒先)		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4			
M6×16 六角ボルト (アセットセムスM6×16棒先)		219 (3)	231 (3)	245 (5)	221 (3)	233 (3)	245 (3)	245 (27)	245 (15)	257 (15)	231 (3)	243 (3)	257 (5)	233 (3)	245 (3)	257 (3)	245 (15)	245 (3)	257 (3)	231 (3)	245 (5)	257 (5)	233 (3)	245 (3)	257 (3)	245 (15)	245 (3)	257 (3)			
M6×12 さらねじ (皿小M6×12)		22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)	22 (2)				
M5×12 なべねじ (鋼P=2 (SW) M5×12)		134 (5)	134 (5)	134 (5)	134 (5)	134 (5)	146 (17)	170 (5)	170 (5)																						
テクスねじ先端キャップ		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6			
M8×20 フランジ付六角ボルト (フランジボルト M8×20 あら先)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
M8 フランジ付六角ナット (フランジNT M8)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
オイル		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			

名称	品番	機種別個数																											
YSタイプ										YMタイプ										YLタイプ									
2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465			


<tbl\_r cells="3" ix="2" maxcspan="10" maxrspan="1"

## 【カールフォーマー用(巻取シャッター扉)組立部品】

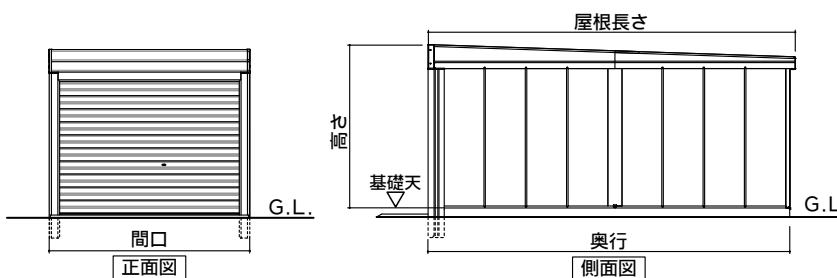
名称	品番	機種別個数																								
		YSタイプ										YMタイプ								YLタイプ						
2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465	2753	2760	2765	3153	3160	3165	3453	3460	3465
前カバー (巻取シャッター扉)	X453 78						1	1							1	1	1							1	1	1
巻取シャッター (同梱 ホイルカバー3本 フック棒1本)	G253 75	1	1	1																						
	G353 75			1	1	1																				
	G453 75						1	1	1																	
	H253 75									1	1	1														
	H353 75												1	1	1											
	H453 75															1	1	1								
	J253 75																		1	1	1					
	J353 75																					1	1	1		
	J453 75																							1	1	1
	SC27 501*	1	1	1						1	1	1							1	1	1					
巻き取りシャッターカバー 棟	JW36 501*			1	1	1							1	1	1							1	1	1		
	JW46 501*						1	1	1								1	1	1					1	1	1
	G253 76*	2	2	2	2	2	2	2	2																	
ガイドレール	H253 76*									2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	J253 76*																		2	2	2	2	2	2	2	
	ホイルカバー	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
M6×16 六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)	191 (3)	203 (3)	217 (5)	193 (3)	205 (3)	217 (3)	217 (27)	229 (15)	203 (3)	215 (3)	229 (5)	205 (3)	217 (3)	229 (3)	217 (15)	217 (3)	229 (3)	203 (3)	215 (3)	229 (5)	205 (3)	217 (3)	229 (15)	217 (3)	229 (3)	
M8×20 フランジ付六角ボルト (フランジ付六角ボルト M8X20 あら先)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
PANテクスねじ (MBテクス PAN 4X16)	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12		
テクスねじ先端キャップ	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16		

\* のついている部品にはシールがはられていません。予備を含んだ個数です。( )は、予備の数量です。

## 【S型(多雪型)組立部品】

名称	品番	機種別個数																								
		XS・YSタイプ										XM・YMタイプ								XL・YLタイプ						
S2753	S2760	S2765	S3153	S3160	S3165	S3453	S3460	S3465	S2753	S2760	S2765	S3153	S3160	S3165	S3453	S3460	S3465	S2753	S2760	S2765	S3153	S3160	S3165	S3453	S3460	S3465
中央母屋S型	G253 314	1	1	1						1	1	1							1	1	1					
	G353 314			1	1	1							1	1	1						1	1	1			
	G453 314						1	1	1							1	1	1						1	1	1
一般母屋S型	G253 315	5	6	7						5	6	7							5	6	7					
	G353 315			5	6	7							5	6	7						5	6	7			
	G453 315						5	6	7							5	6	7						5	6	7
中央母屋内材	G253 324	1	1	1						1	1	1							1	1	1					
	G353 324			1	1	1							1	1	1						1	1	1			
	G453 324						1	1	1							1	1	1						1	1	1
一般母屋内材	G253 325	5	6	7						5	6	7							5	6	7					
	G353 325			5	6	7							5	6	7						5	6	7			
	G453 325						5	6	7							5	6	7						5	6	7
M6×55六角ボルト (アブセットセムスM6×55 あら先)	21 (1)	25 (1)	29 (1)	21 (1)	25 (1)	29 (1)	25 (5)	25 (1)	29 (1)	21 (1)	25 (1)	29 (1)	21 (1)	25 (1)	29 (1)	25 (5)	25 (1)	29 (1)	21 (1)	25 (1)	29 (1)	21 (1)	25 (5)	25 (1)		
M6×75六角ボルト (アブセットセムスM6×75 あら先)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
M6 フランジ付六角ナット (フランジNTM6ツバ大セレート無)	25 (1)	29 (1)	33 (1)	25 (1)	29 (1)	33 (1)	29 (5)	29 (1)	33 (1)	25 (1)	29 (1)	33 (1)	25 (1)	29 (1)	33 (1)	29 (5)	29 (1)	33 (1)	25 (1)	29 (1)	33 (1)	25 (1)	29 (1)	33 (5)	29 (1)	

### 3. サイズ表 (ベルフォーマ・カールフォーマ 共通)



機種	高さ	間口	奥行	屋根長さ	機種	高さ	間口	奥行	屋根長さ	機種	高さ	間口	奥行	屋根長さ
XS·YS-2753	2450	2774	5432	5522	XM·YM-2753	2763	2774	5432	5522	XL·YL-2753	3250	2774	5432	5522
XS·YS-2760	2450	2774	6132	6222	XM·YM-2760	2763	2774	6132	6222	XL·YL-2760	3250	2774	6132	6222
XS·YS-2765	2450	2774	6648	6738	XM·YM-2765	2763	2774	6648	6738	XL·YL-2765	3250	2774	6648	6738
XS·YS-3153	2450	3124	5432	5522	XM·YM-3153	2763	3124	5432	5522	XL·YL-3153	3250	3124	5432	5522
XS·YS-3160	2450	3124	6132	6222	XM·YM-3160	2763	3124	6132	6222	XL·YL-3160	3250	3124	6132	6222
XS·YS-3165	2450	3124	6648	6738	XM·YM-3165	2763	3124	6648	6738	XL·YL-3165	3250	3124	6648	6738
XS·YS-3453	2450	3474	5432	5522	XM·YM-3453	2763	3474	5432	5522	XL·YL-3453	3250	3474	5432	5522
XS·YS-3460	2450	3474	6132	6222	XM·YM-3460	2763	3474	6132	6222	XL·YL-3460	3250	3474	6132	6222
XS·YS-3465	2450	3474	6648	6738	XM·YM-3465	2763	3474	6648	6738	XL·YL-3465	3250	3474	6648	6738

### 4. 基礎図 (ベルフォーマ・カールフォーマ 共通)

※基礎は別途施工となります。

※(注)入口面で基礎天から床面までの段差が、ベルフォーマ XS・XM型は0~350mm、XL型は0~250mm、カールフォーマ YS・YM型は100~350mm、YL型は0~250mm、の範囲になるようにします。(図示は100mm)

※基礎図は参考として掲載していますが、施工場所の実情に合わせて設計してください。

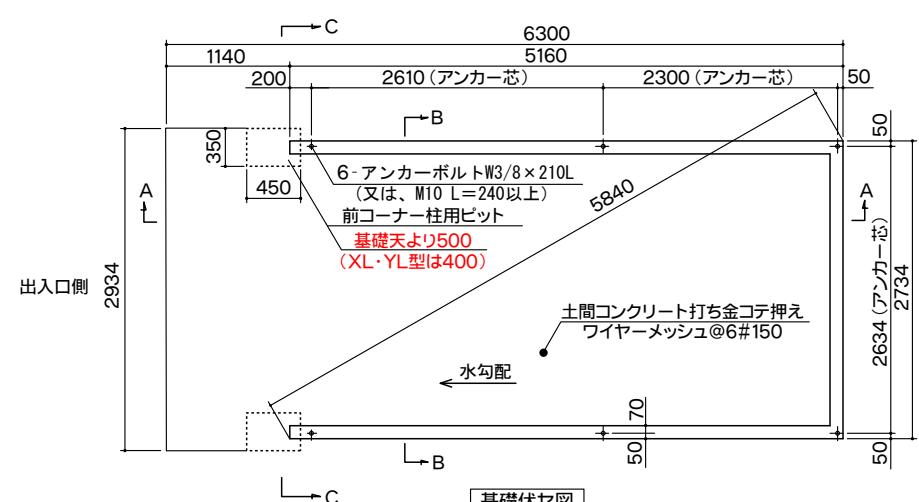
※寒冷地の場合、凍結深度等を考慮して設計してください。

#### 【布基礎施工図】

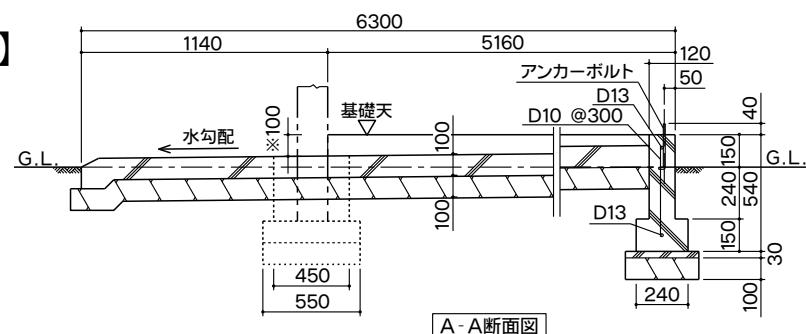
XS-2753/XM-2753/XL-2753  
YS-2753/YM-2753/YL-2753

アンカーボルトは付属品(W3/8)または、市販品のM10をご使用ください。

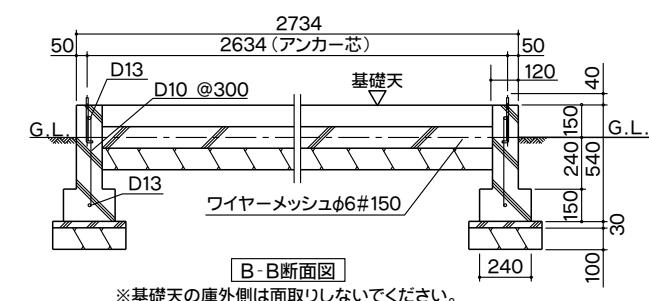
#### 【2753型】



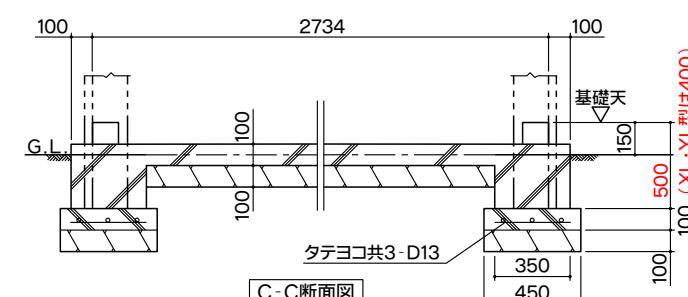
#### 【2753型】



#### 【2753型】



#### 【2753型】



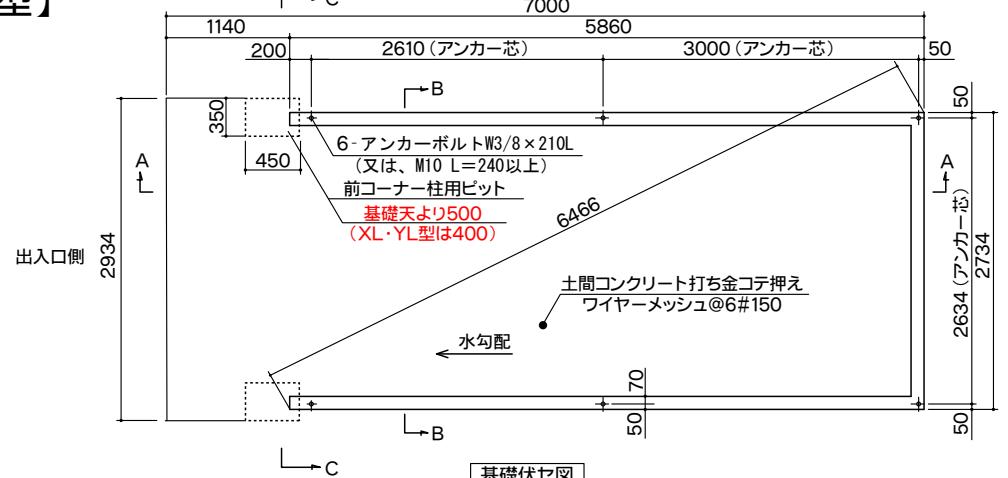
ガレージ：一般・独立

XS-2760/XS-2765/XM-2760/XM-2765/XL-2760/XL-2765

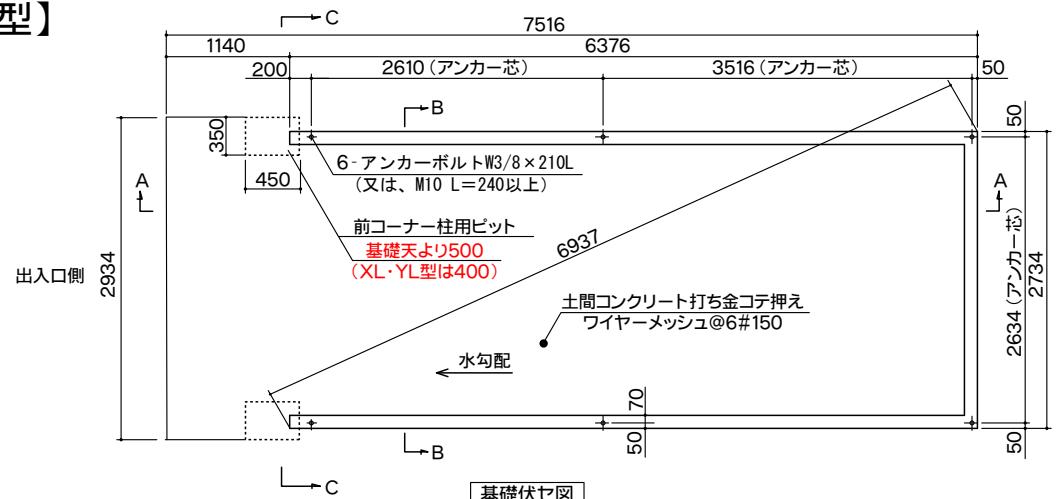
YS-2760/YS-2765/YM-2760/YM-2765/YL-2760/YL-2765

アンカーボルトは付属品(W3/8)または、市販品のM10をご使用ください。

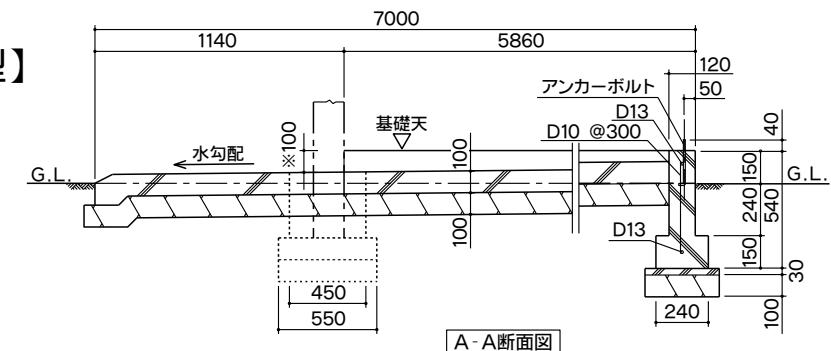
### 【2760型】



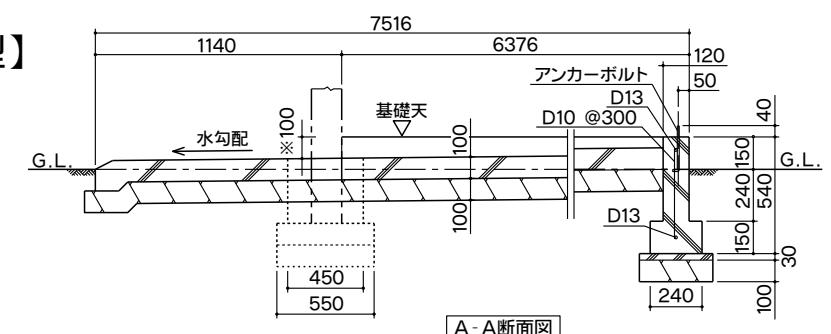
### 【2765型】



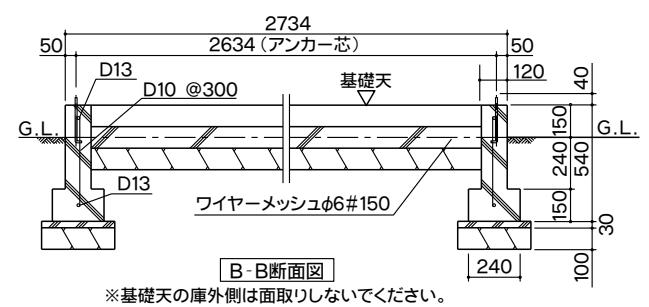
### 【2760型】



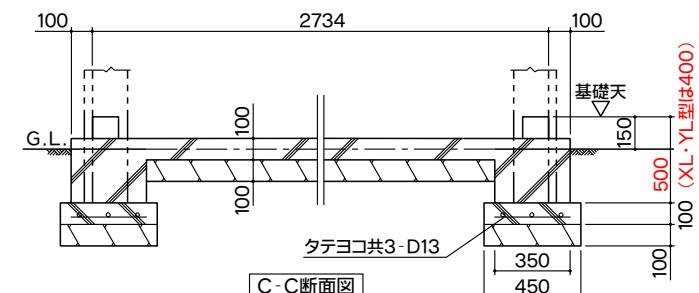
### 【2765型】



### 【2760・2765型】



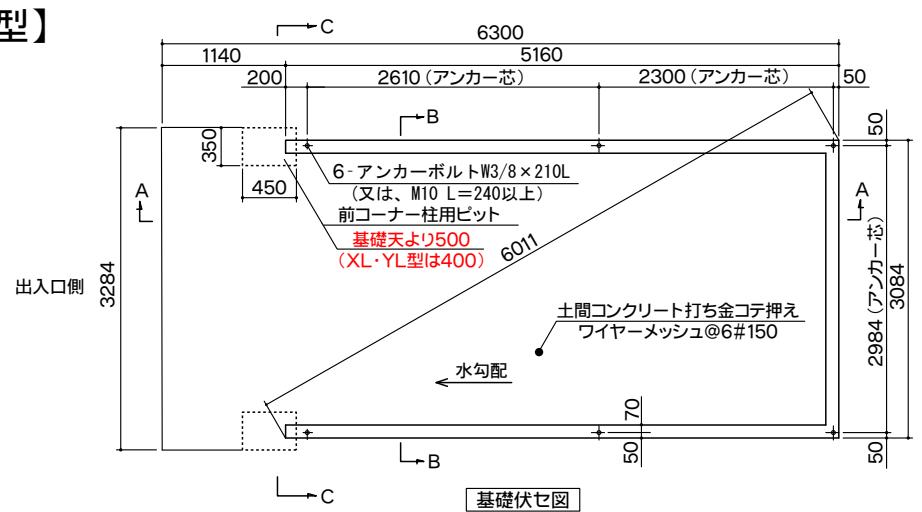
### 【2760・2765型】



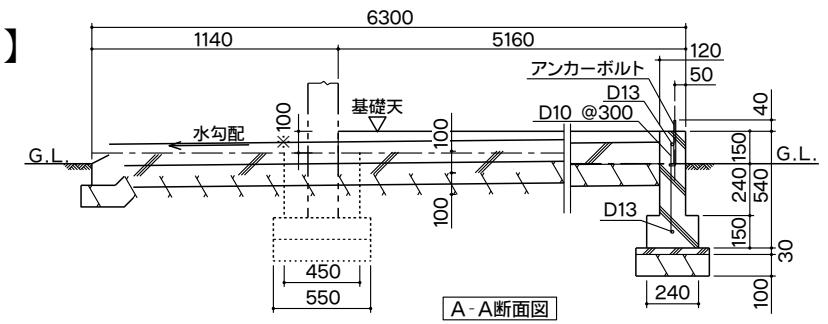
XS-3153/XS-3160/XS-3165/XM-3153/XM-3160/XM-3165/XL-3153/XL-3160/XL-3165  
YS-3153/YS-3160/YS-3165/YM-3153/YM-3160/YM-3165/YL-3153/YL-3160/YL-3165

アンカーボルトは付属品(W3/8)または、  
市販品のM10をご使用ください。

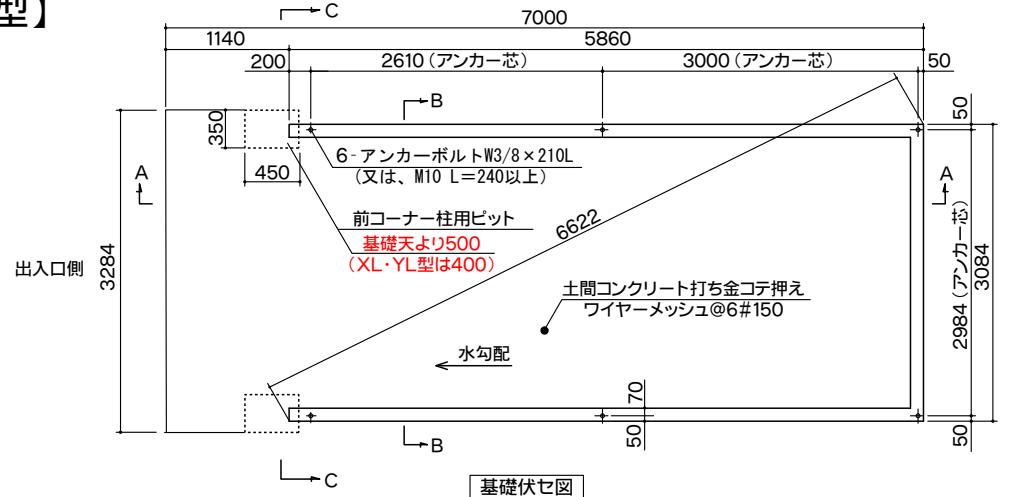
【3153型】



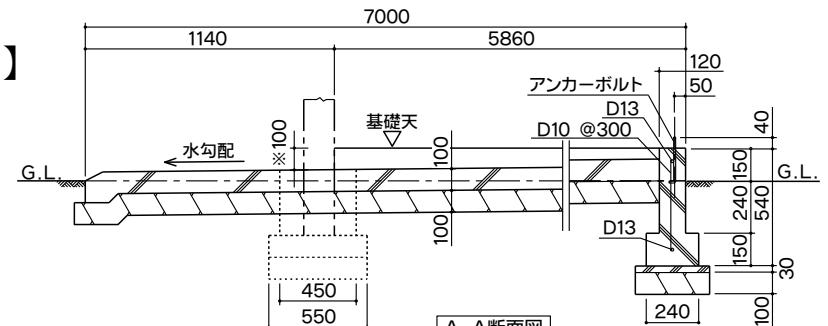
【3153型】



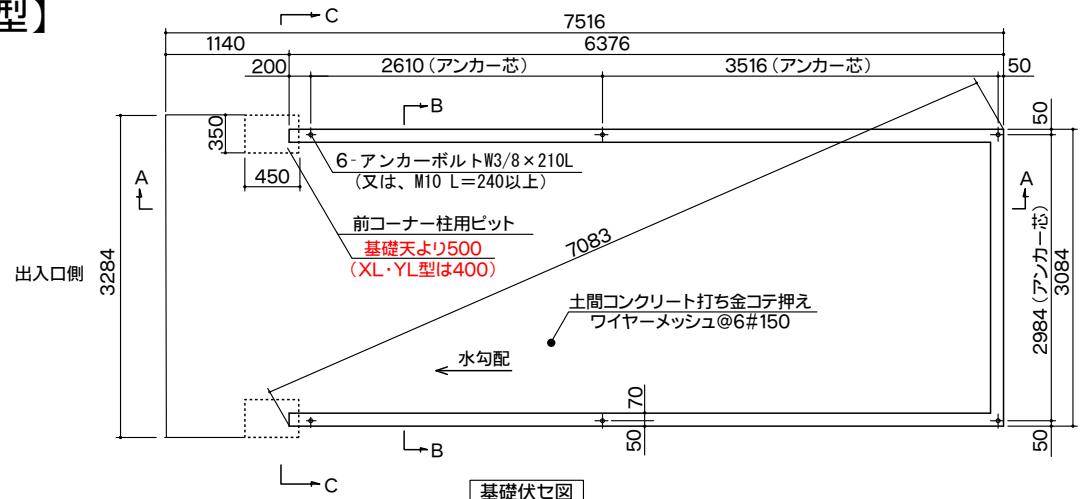
【3160型】



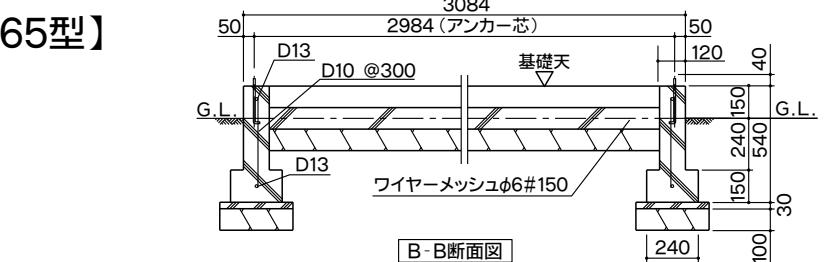
【3160型】



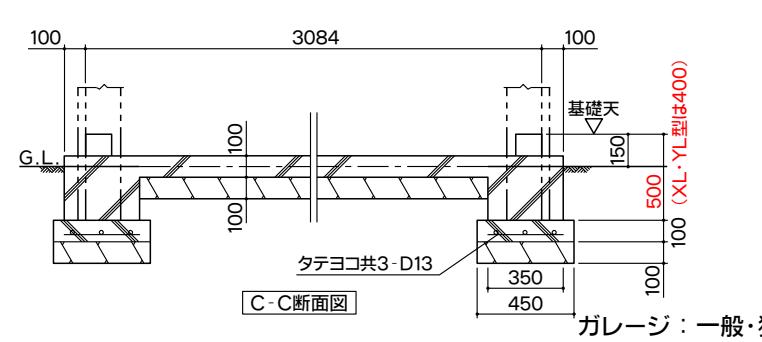
【3165型】



【3153・3160・3165型】



【3153・3160・3165型】

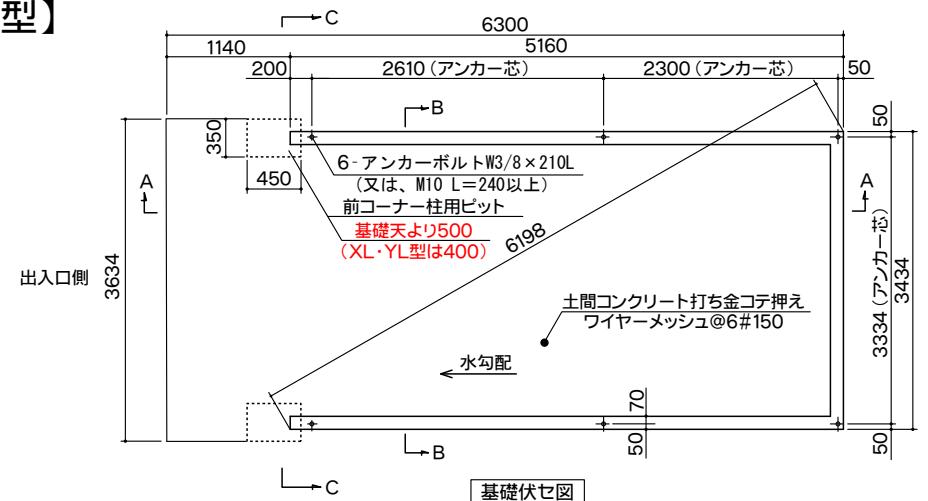


ガレージ：一般・独立

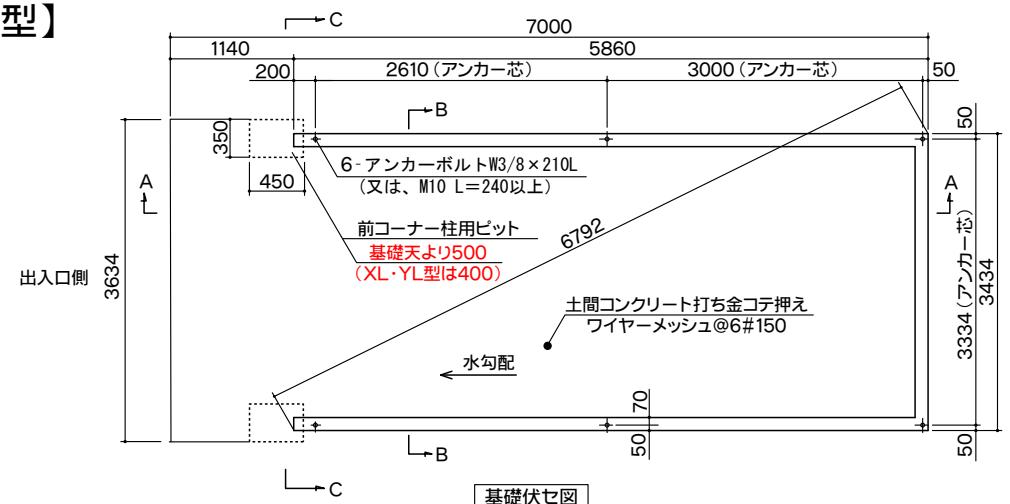
XS-3453/XS-3460/XS-3465/XM-3453/XM-3460/XM-3465/XL-3453/XL-3460/XL-3465  
YS-3453/YS-3460/YS-3465/YM-3453/YM-3460/YM-3465/YL-3453/YL-3460/YL-3465

アンカーボルトは付属品(W3/8)または、市販品のM10をご使用ください。

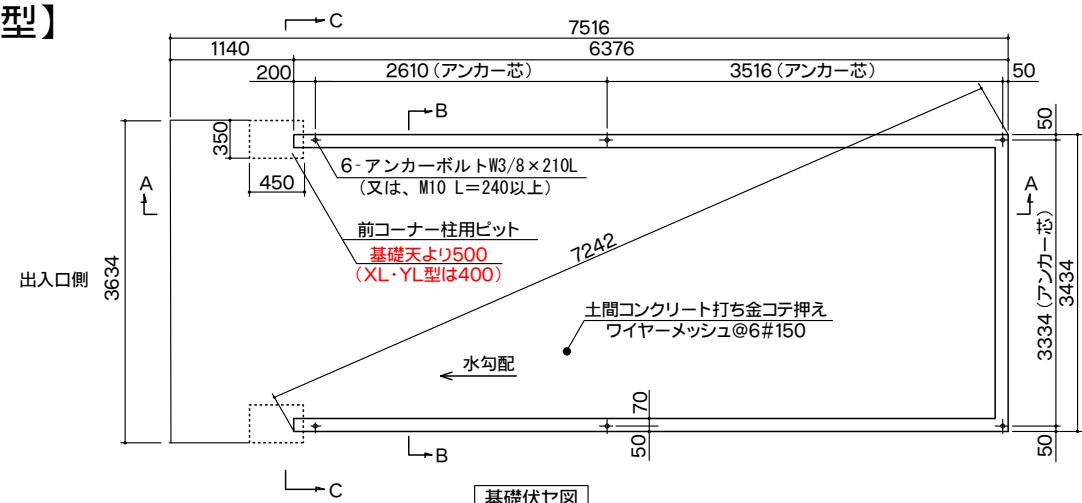
【3453型】



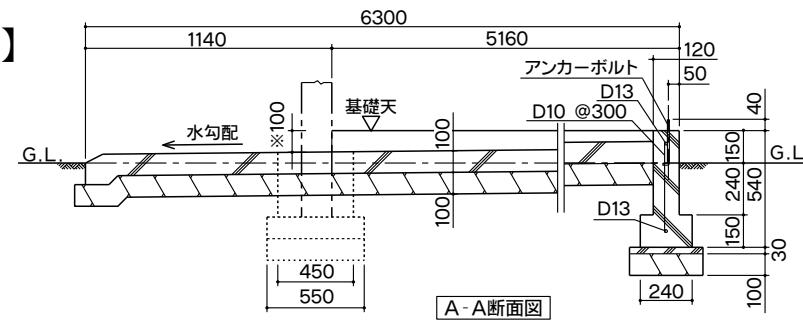
【3460型】



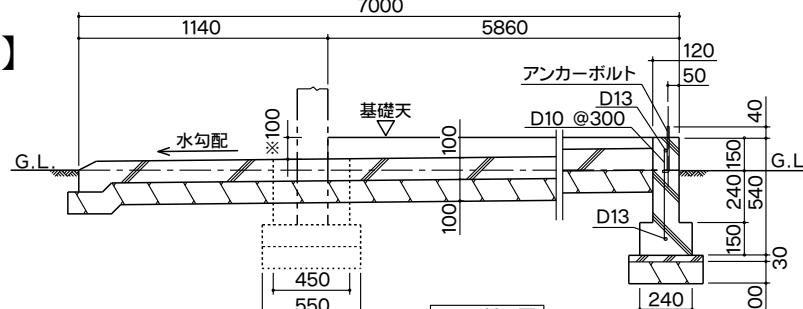
【3465型】



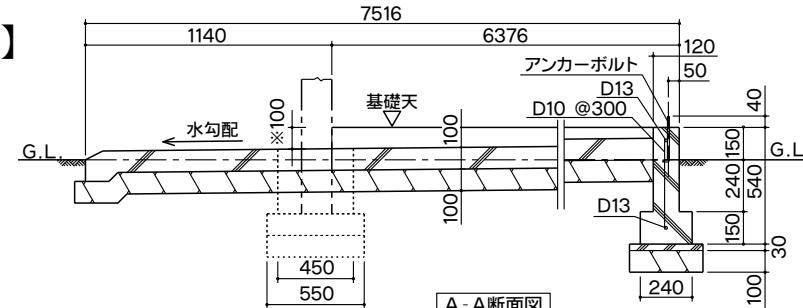
【3453型】



【3460型】

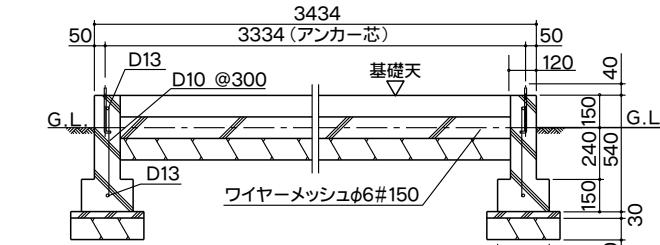


【3465型】

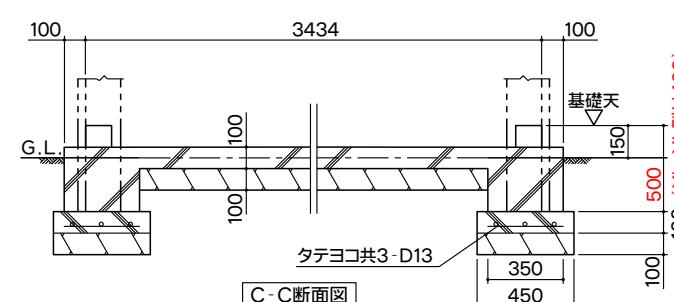


## 【3453·3460·3465型】

## 〔3453・3460・3465型〕



※基礎天の唐外側は面取りしないでください



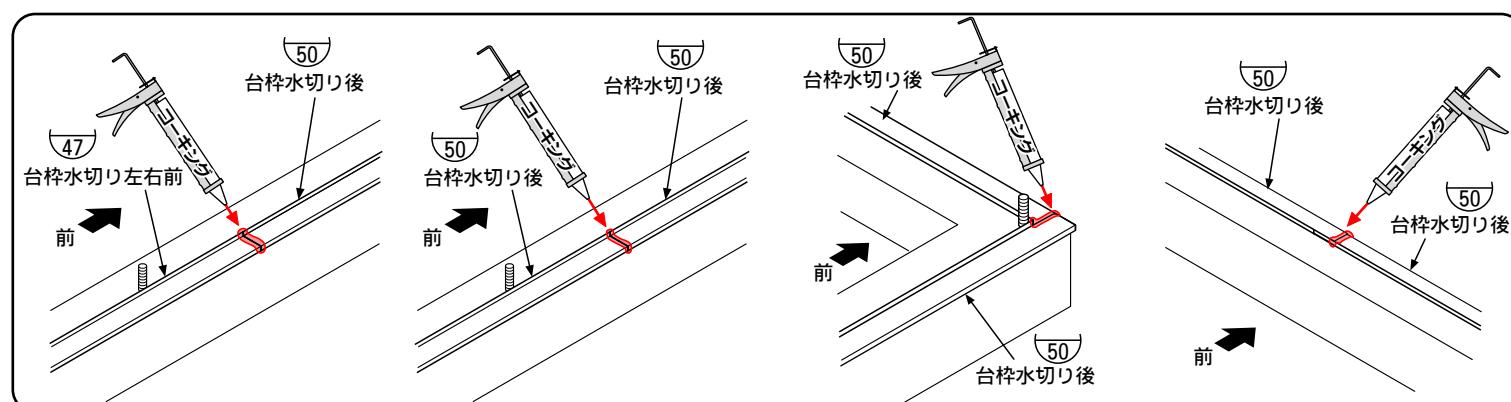
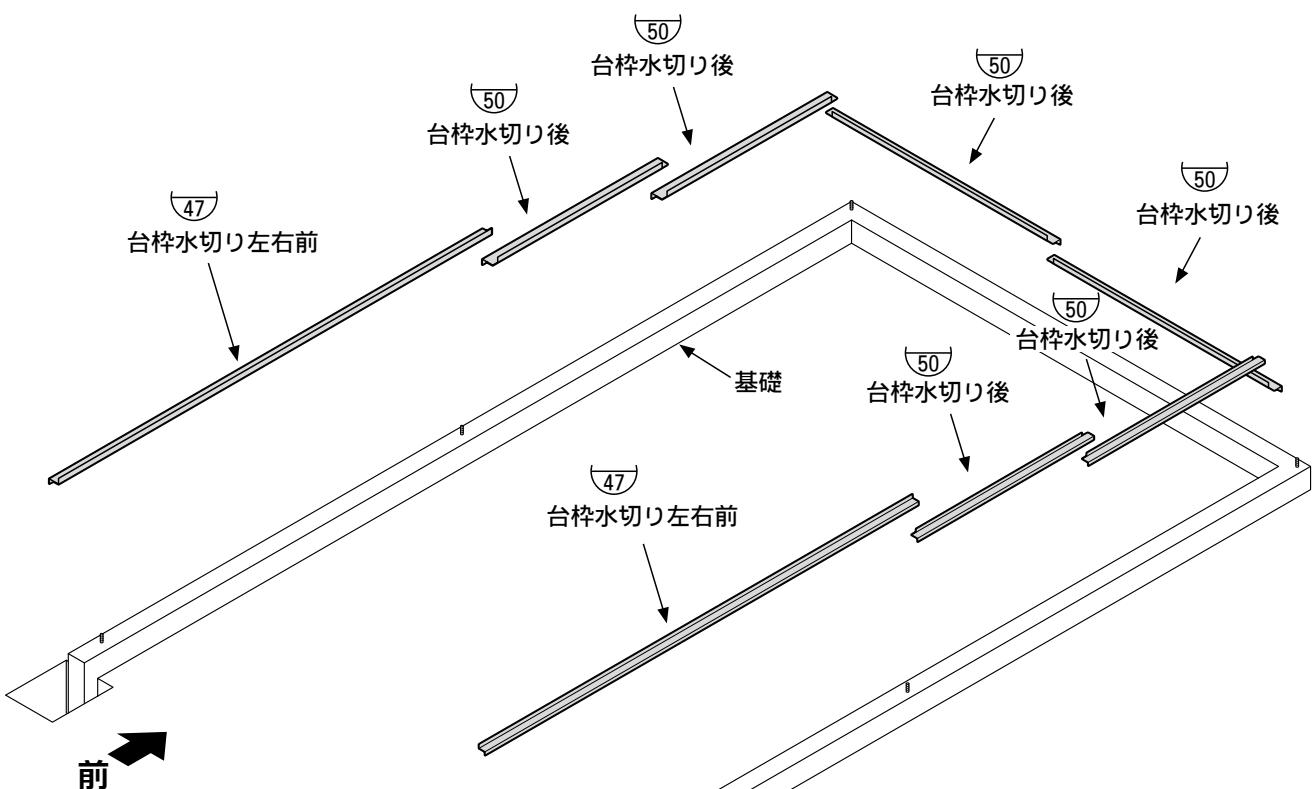
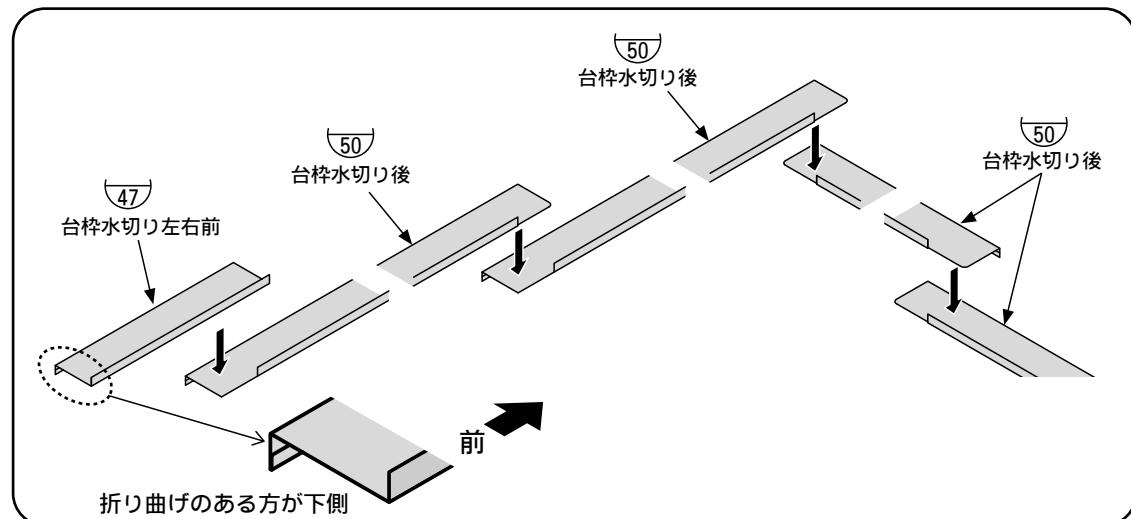
# 5. 組立手順

## 1. 台枠水切りの組立

- 台枠水切りを基礎の上に載せ、連結部を付属のコーティング剤でコーティングします。
- ガレージ内部に雨水が浸入する恐れがありますので、コーティング剤で必ず水漏れ防止をしてください。
- 本体組立後に台枠水切りを取り付けることはできません。必ず最初に取り付けてください。

### 使用部品

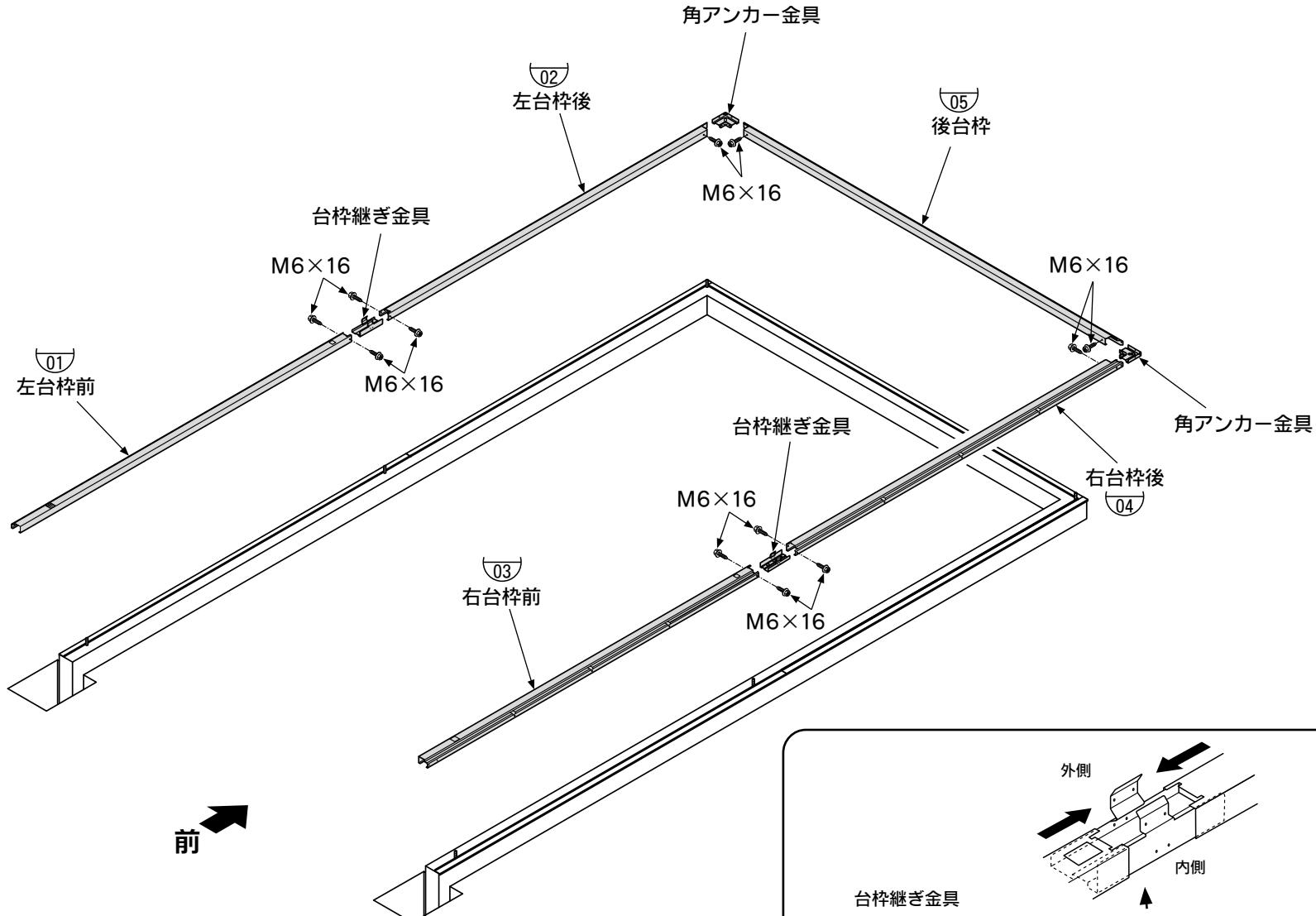
(47)	台枠水切り左右前	2 (L=3240mm)
(50)	台枠水切り後	6 (L=1870mm)
コーティング剤		



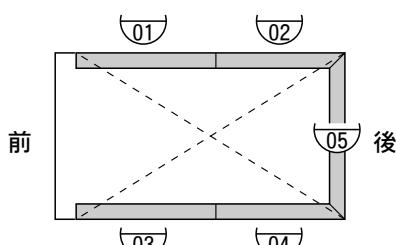
## 2. 台枠の組立

### 使用部品

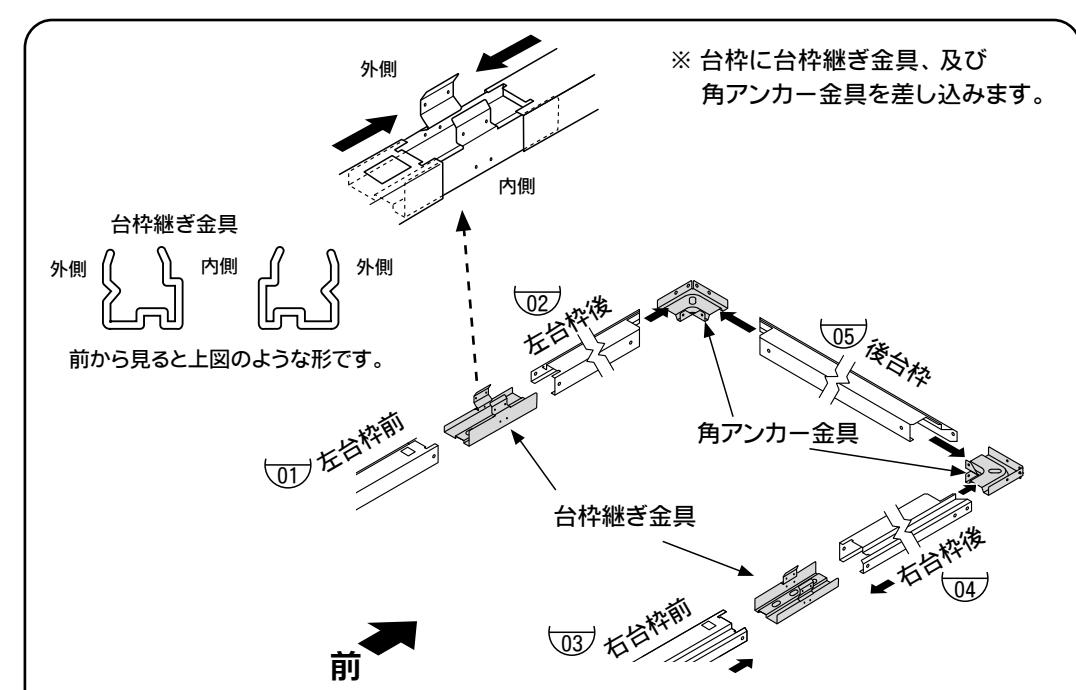
① 左台枠前	1
② 左台枠後	1
③ 右台枠前	1
④ 右台枠後	1
⑤ 後台枠	1
角アンカー金具	2
台枠継ぎ金具	2
M6×16 六角ボルト	12
(アセットセムスM6×16棒先)	



前



\* 台枠の直角を確認してください。  
対角線(点線)の長さが同じになれば  
直角がでます。

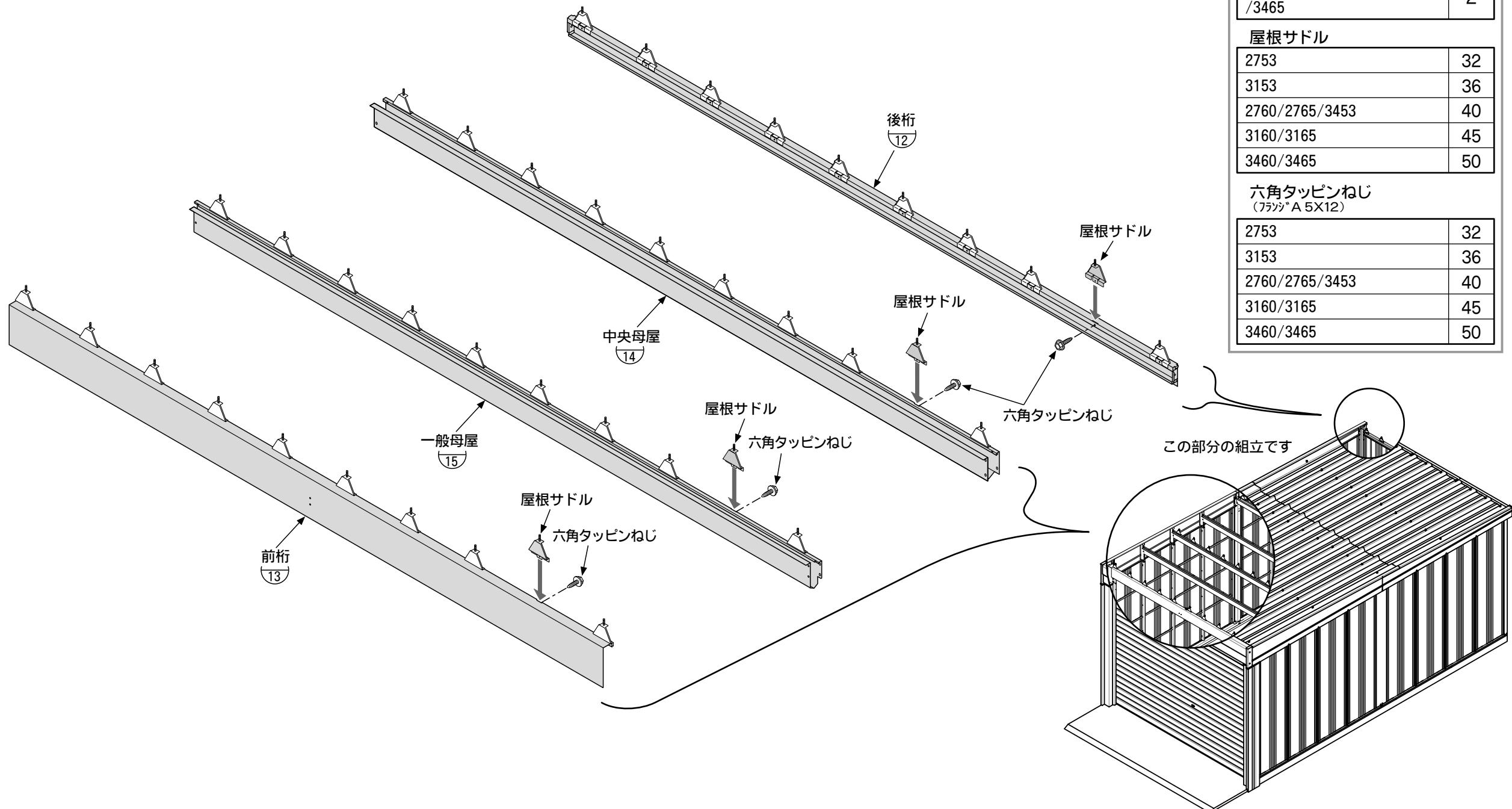


前

### 3-1. 屋根サドルの組立

⚠ タッピンねじの止め付けは、インパクトドライバーを使用してください。

※多雪型を組み立てる場合は次ページに進んでください。



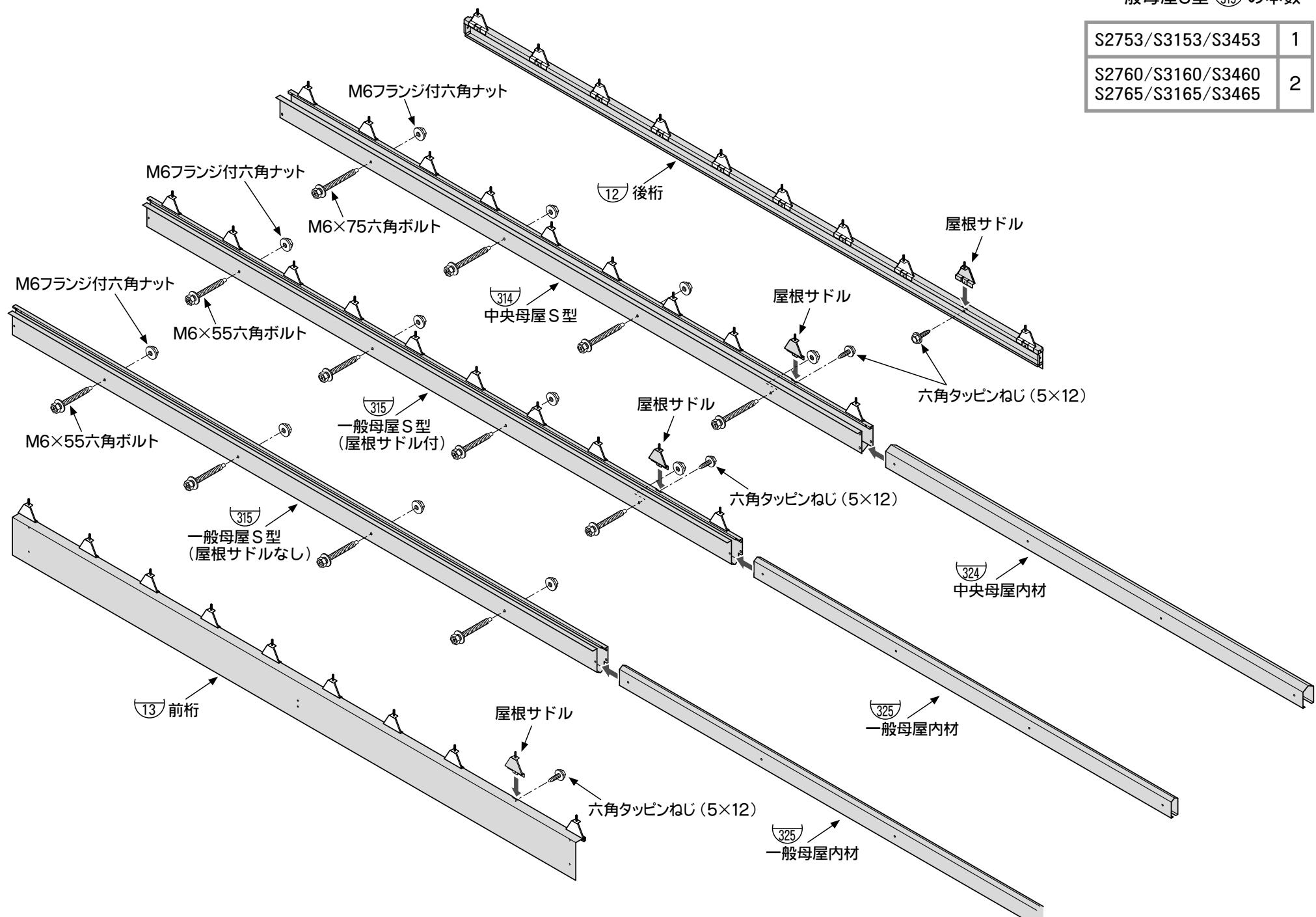
## 3-2. 【多雪型】屋根サドル・中央母屋S型・一般母屋S型の組立

使用部品	
(12) 後桁	1
(13) 前桁	1
(314) 中央母屋S型	1
(315) 一般母屋S型	
S2753/S3153/S3453	5
S2760/S3160/S3460	6
S2765/S3165/S3465	7
(324) 中央母屋内材	1
(325) 一般母屋内材	
S2753/S3153/S3453	5
S2760/S3160/S3460	6
S2765/S3165/S3465	7
屋根サドル	
S2753	32
S3153	36
S2760/S2765/S3453	40
S3160/S3165	45
S3460/S3465	50
M6×55六角ボルト (アッセットセムスM6×55 あら先)	
S2753/S3153/S3453	20
S2760/S3160/S3460	24
S2765/S3165/S3465	28
M6×75六角ボルト (アッセットセムスM6×75 あら先)	
S2753/S3153/S3453	4
M6フランジ付六角ナット (フランジNTM6ツバ大セレート無)	
S2753/S3153/S3453	24
S2760/S3160/S3460	28
S2765/S3165/S3465	32
六角タッピンねじ(5×12) (5X12ラジ"付+六角タッピ"ねじ1種)	
S2753	32
S3153	36
S2760/S2765/S3453	40
S3160/S3165	45
S3460/S3465	50

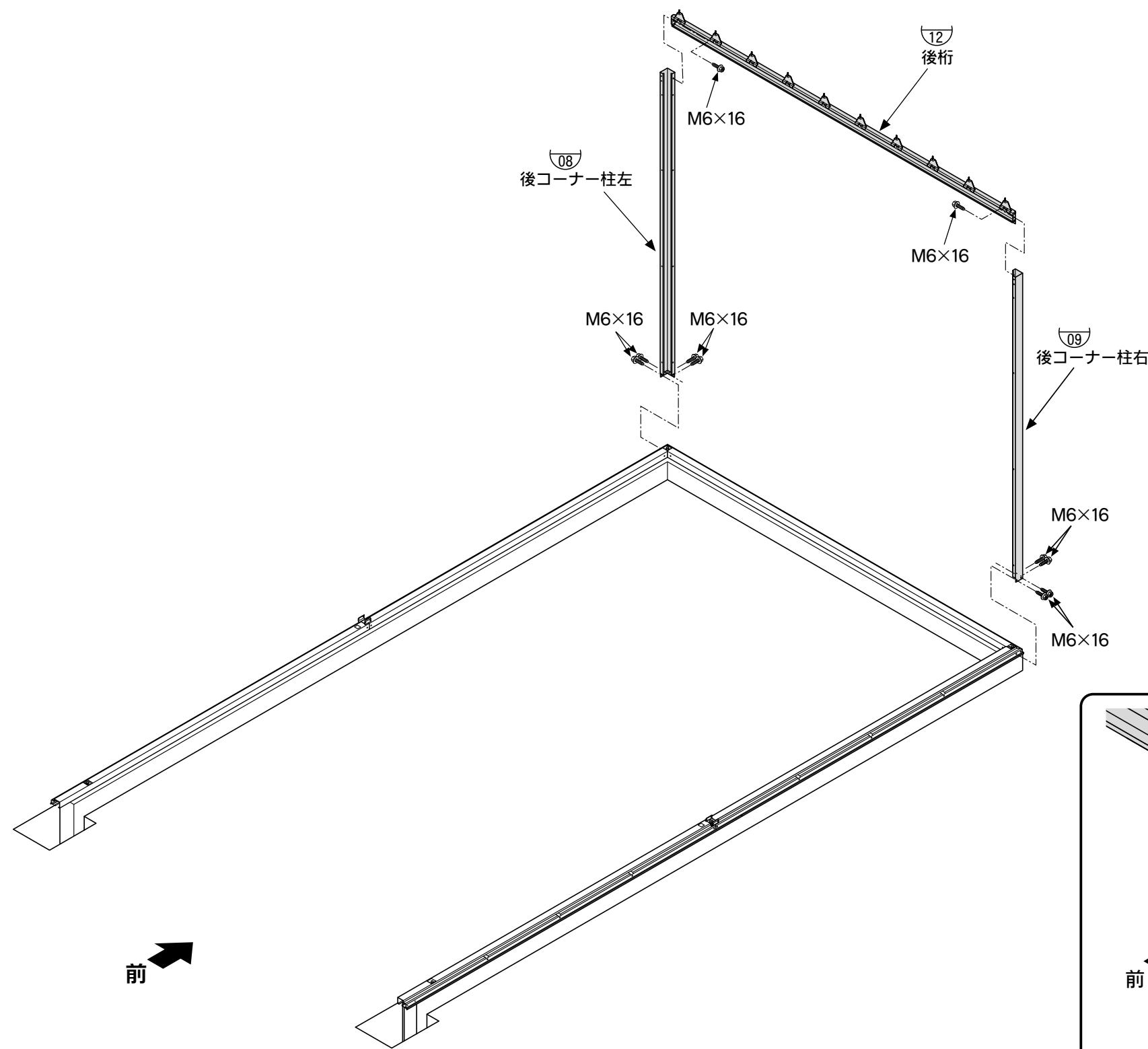
- 中央母屋S型<sup>(314)</sup>と一般母屋S型<sup>(315)</sup>は、屋根サドルを付ける前に、中央母屋内材<sup>(324)</sup>と一般母屋内材<sup>(325)</sup>を先に取り付けてください。
  - 六角タッピンねじ(5×12)の止め付けは、インパクトドライバーを使用してください。
- ※ 一般母屋S型には、屋根サドルを取り付けておくものと、付けないものがあります。右表でご確認ください。

※屋根サドルを取り付ける  
一般母屋S型<sup>(315)</sup>の本数

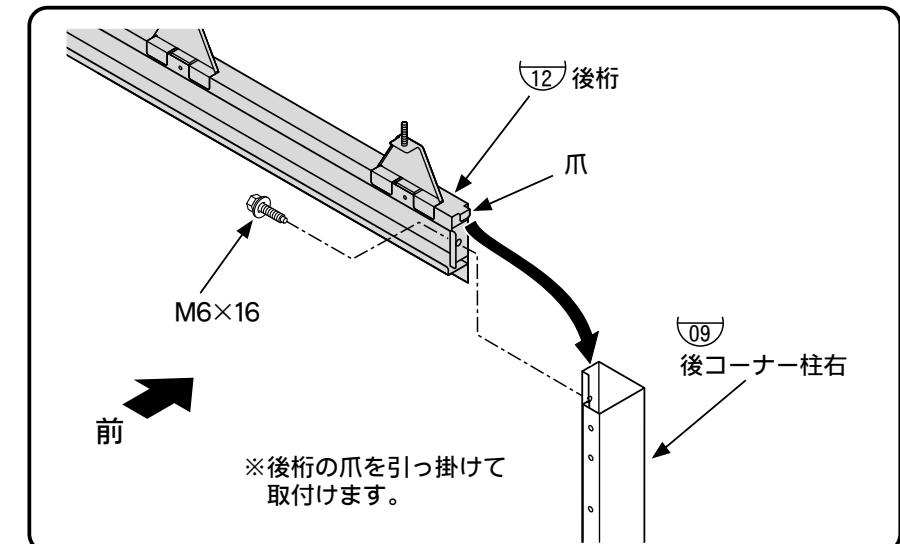
S2753/S3153/S3453	1
S2760/S3160/S3460	
S2765/S3165/S3465	2



## 4. 後コーナー柱と後桁



使用部品	
(08)	後コーナー柱左 1
(09)	後コーナー柱右 1
(12)	後桁 1
M6×16六角ボルト	10 (アセットセムスM6×16棒先)

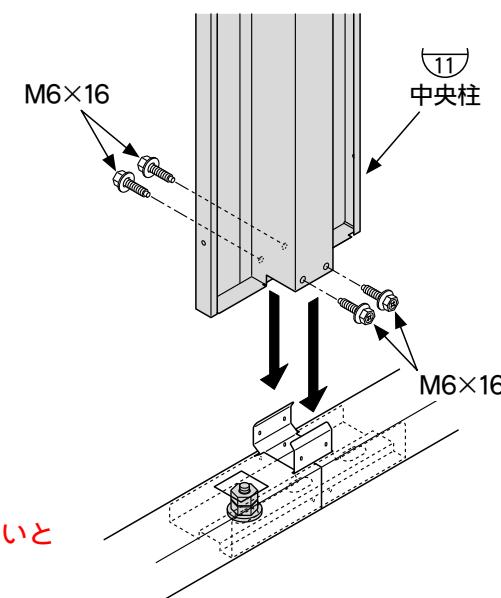
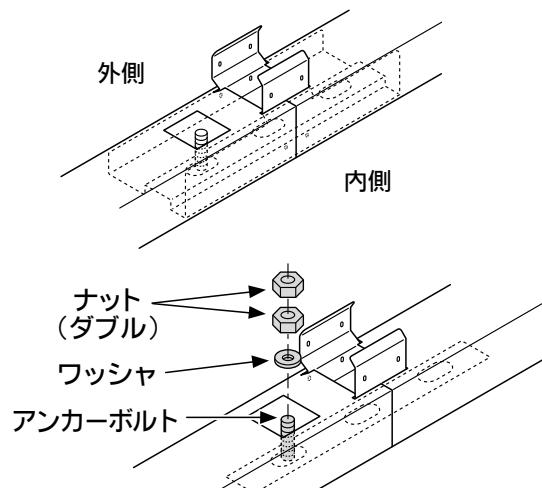


## 5. 中央柱の組立

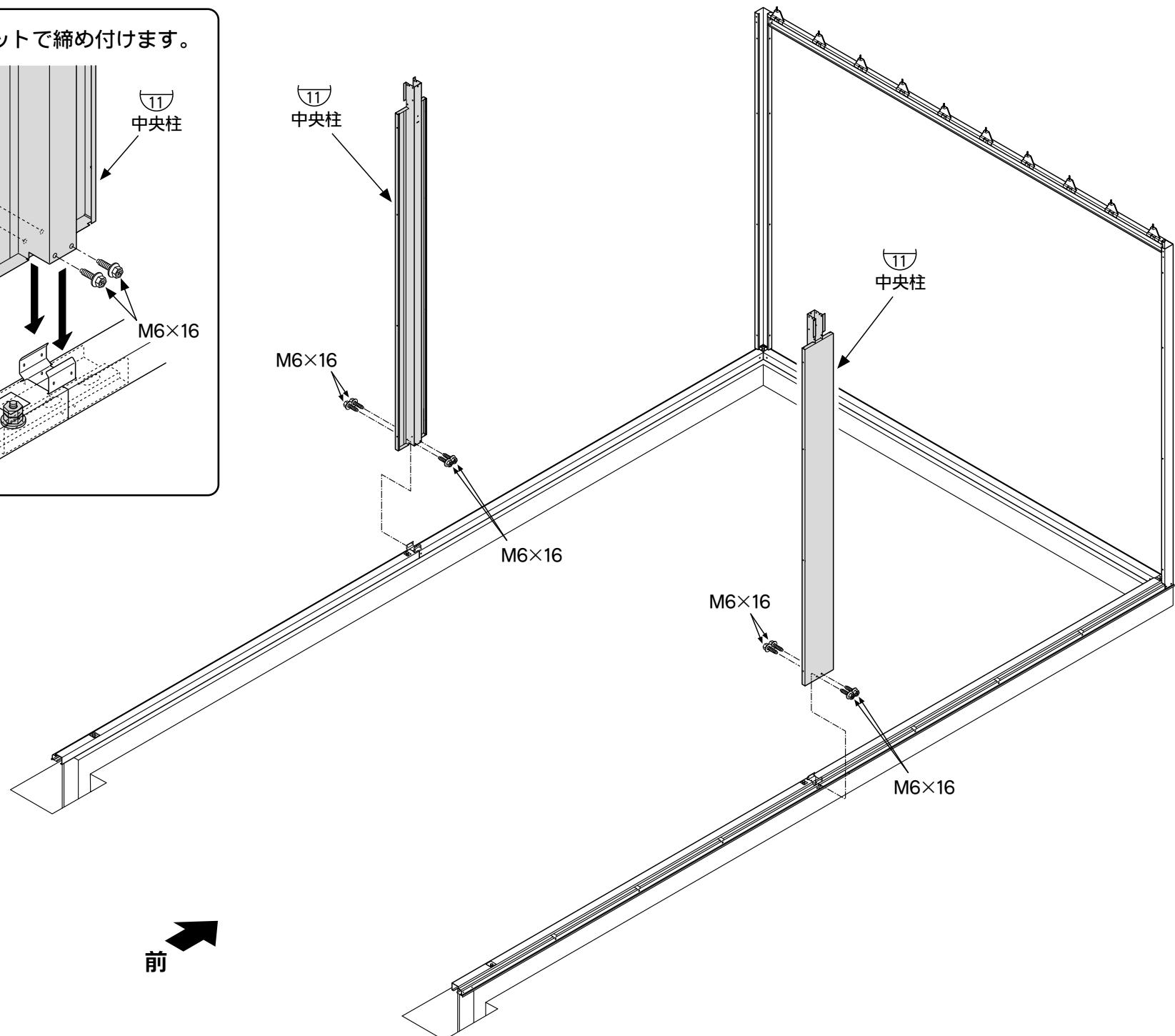
### 使用部品

(11) 中央柱	2
M6×16六角ボルト	8 (アプセットセムスM6×16棒先)

※中央柱を組立てる前に、アンカーボルトをワッシャ、ナットで締め付けます。



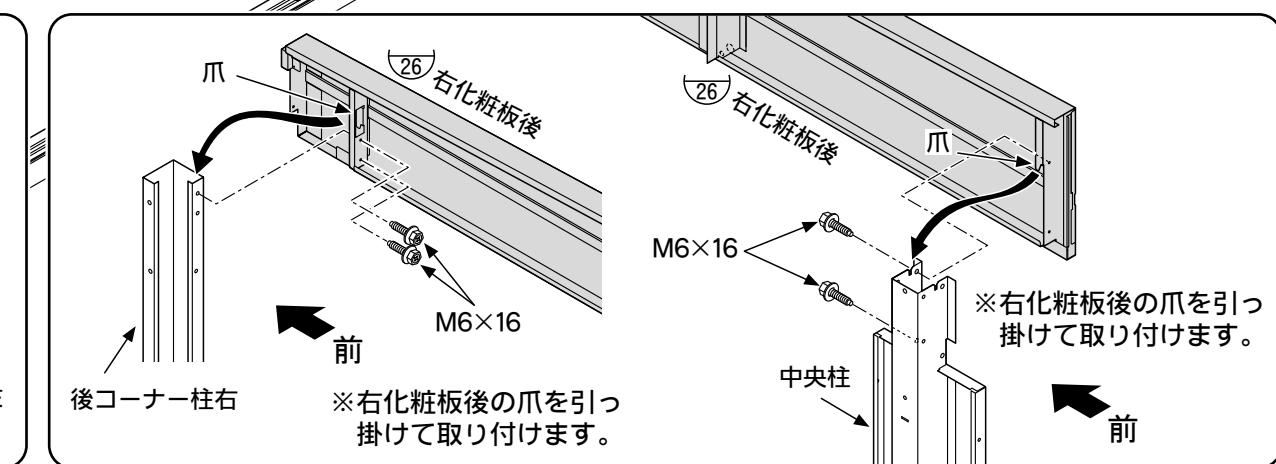
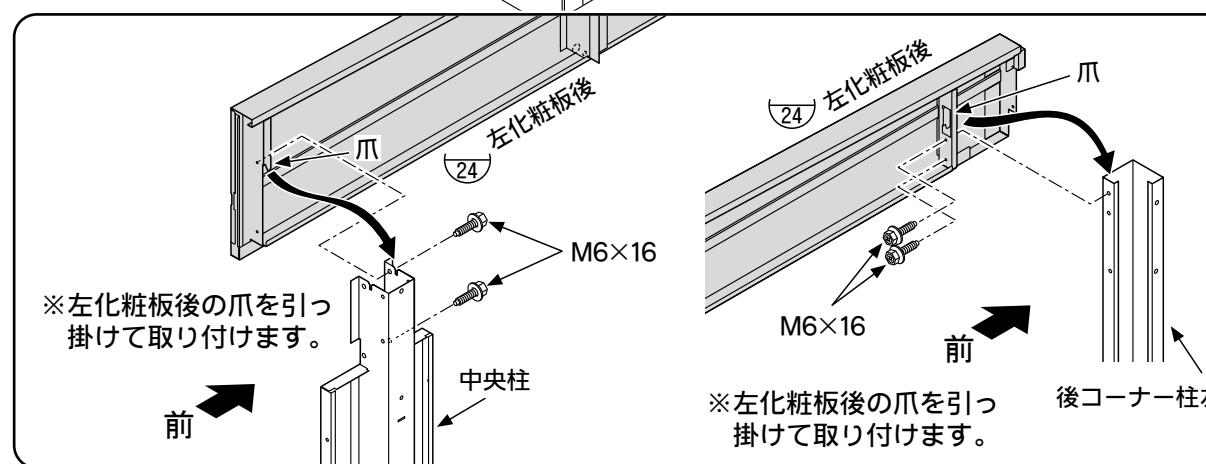
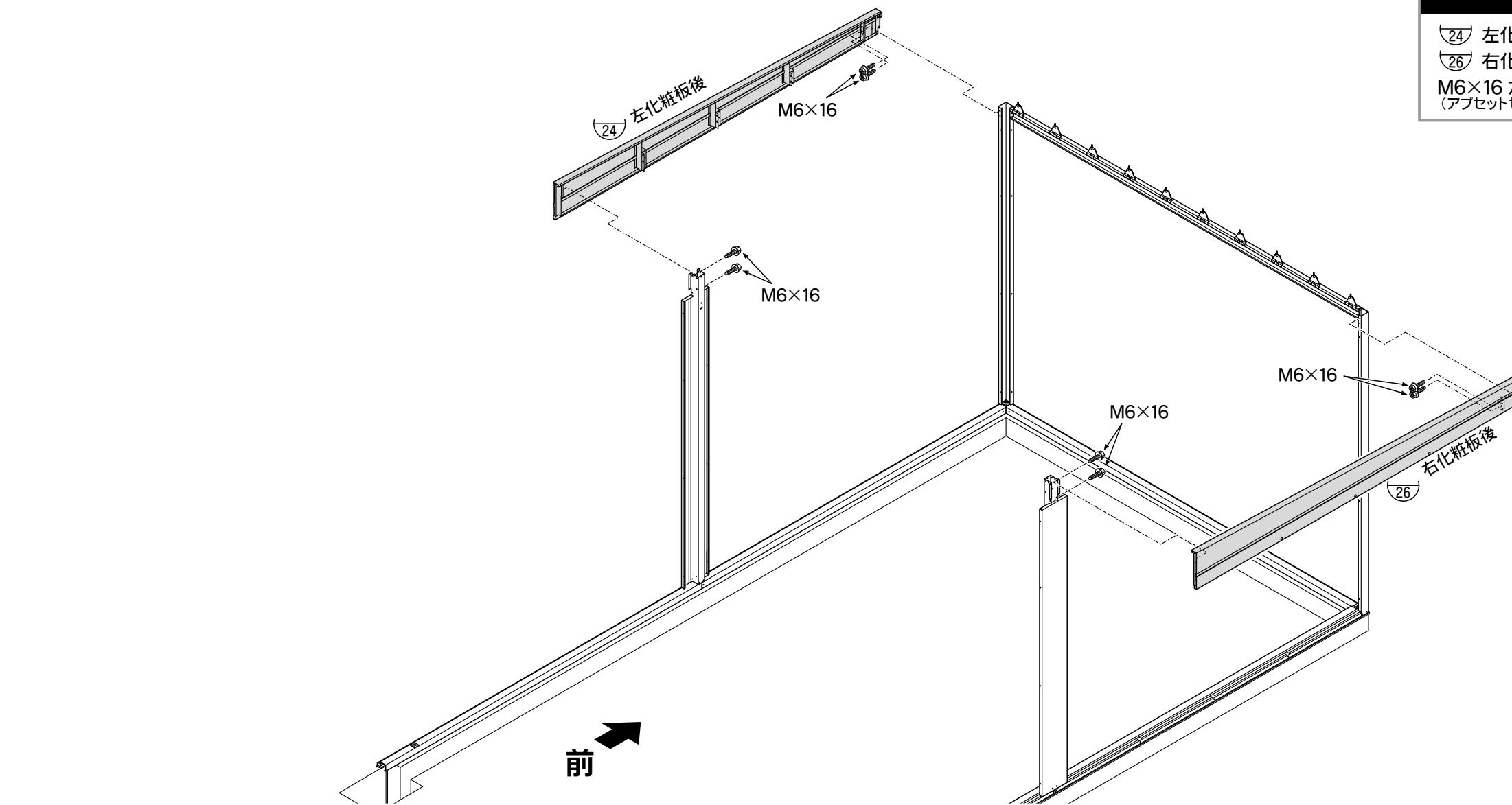
この時、ナット・ワッシャをよく締め付けないと中央柱が倒れる危険性があります。



## 6. 化粧板後の組立

### 使用部品

(24) 左化粧板後	1
(26) 右化粧板後	1
M6×16 六角ボルト	8 (アセットセムスM6×16棒先)



## 7. 中間柱・中央母屋の組立

### 使用部品

(10) 中間柱

2753	7
3153/3453	8
2760	9
3160/3460	10
2765	11
3165/3465	12

(14) 中央母屋 1

M6×16六角ボルト  
(アブセットセムスM6×16棒先)

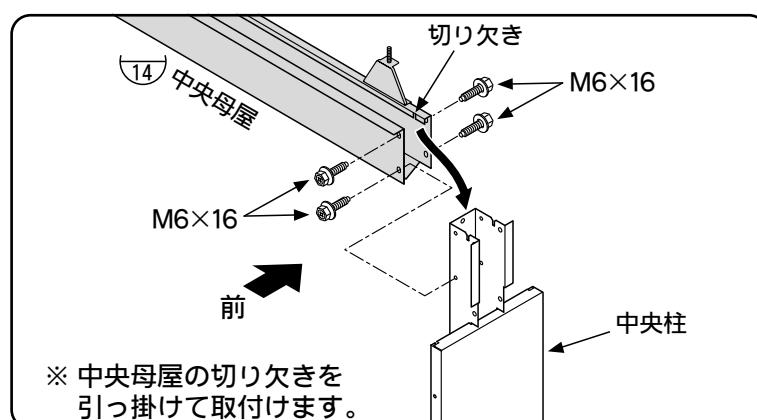
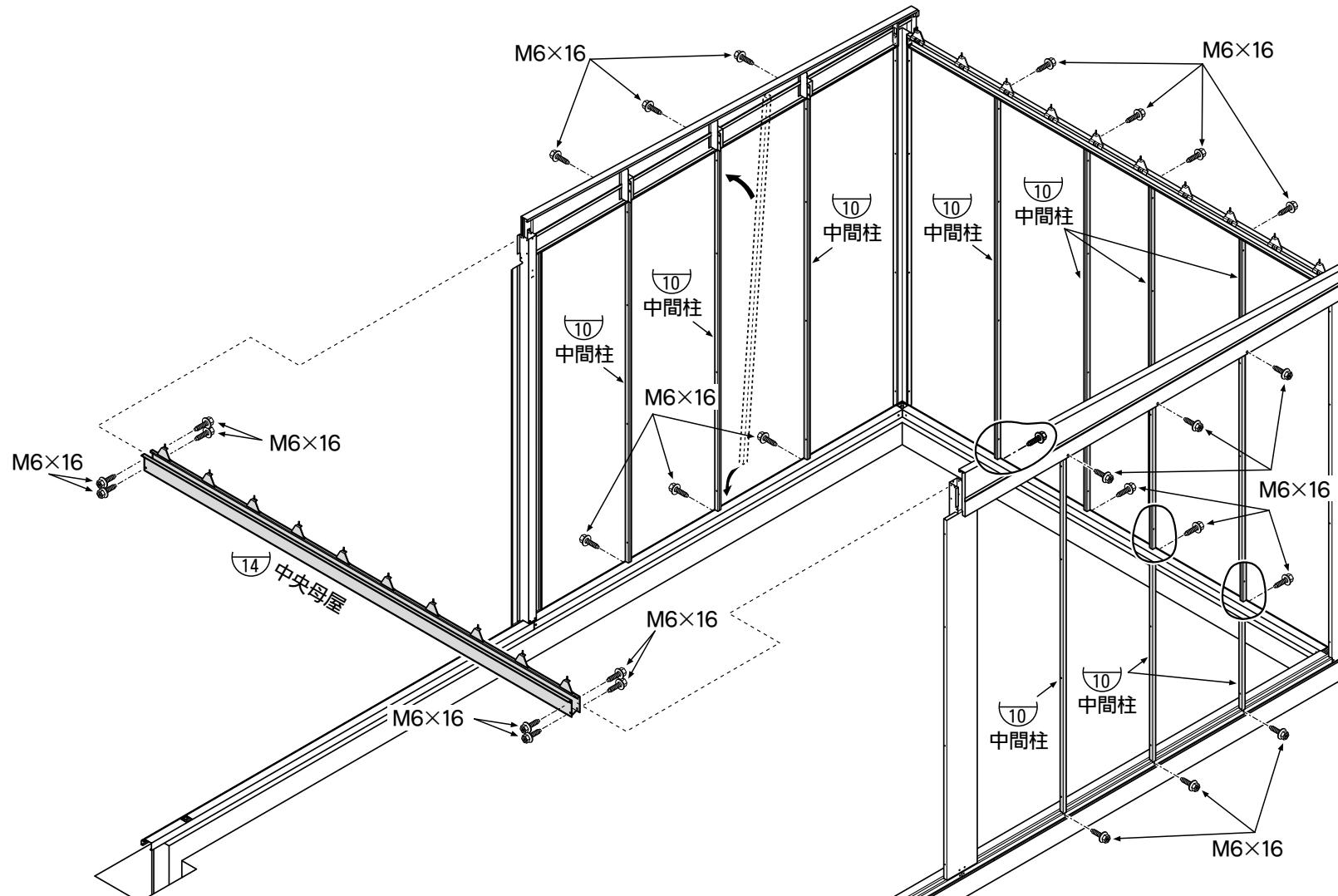
2753	22
3153/3453	24
2760	26
3160/3460	28
2765	30
3165/3465	32

### 使用部品(多雪型)

(314) 中央母屋S型 1

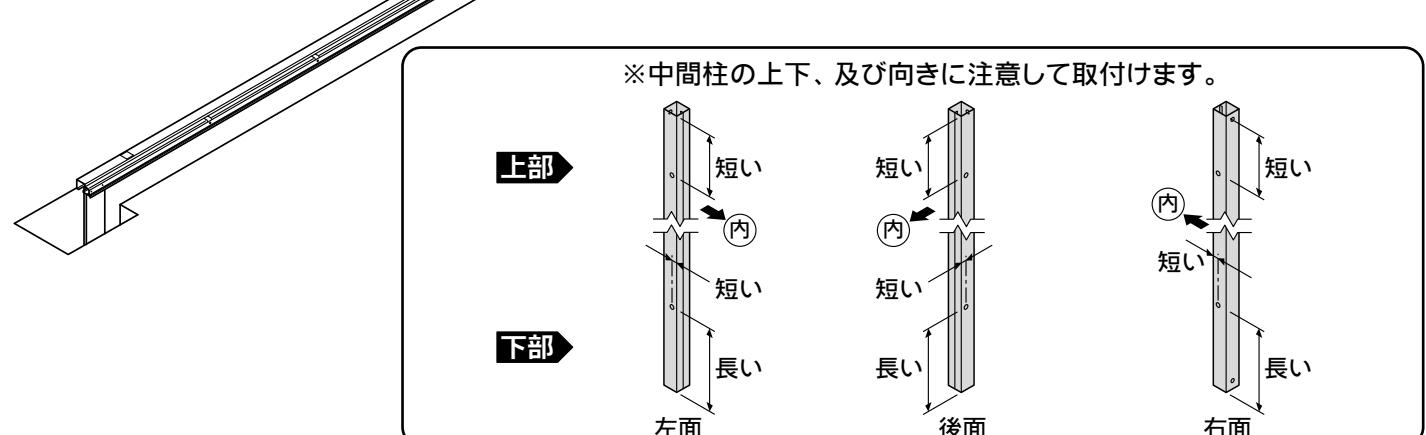
※多雪型を組み立てる際は、中央母屋 (14) の代わりに中央母屋S型 (314) を取り付けてください。

● 安全のため、中央母屋を先に取り付けてください。



前

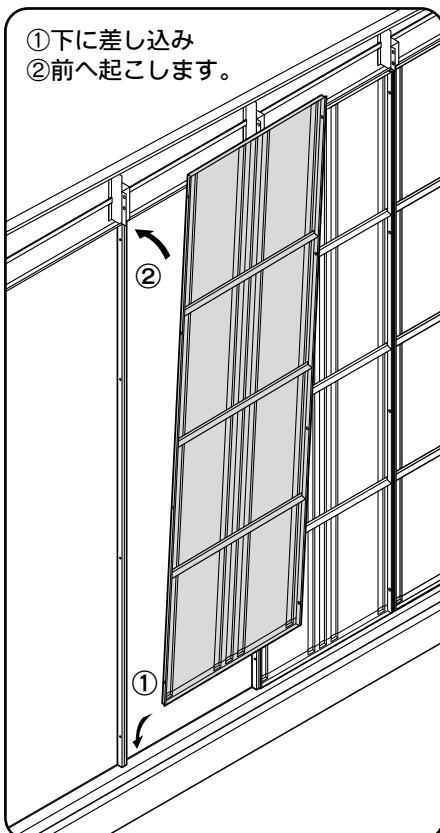
\* 中央母屋の切り欠きを  
引っ掛けて取付けます。



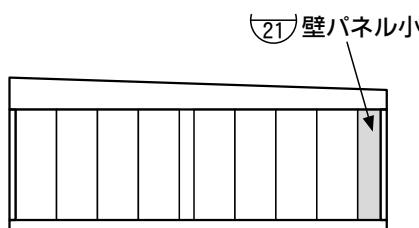
## 8. 後コーナー部の壁パネルの組立

- 中間柱と壁パネルの止め付け（M6×40六角ボルト、M6フランジ付六角ナット）は、ゆるくしておきます。
- あとで、添え柱を差し込みます。（XM・YM/XL・YLタイプのみ）

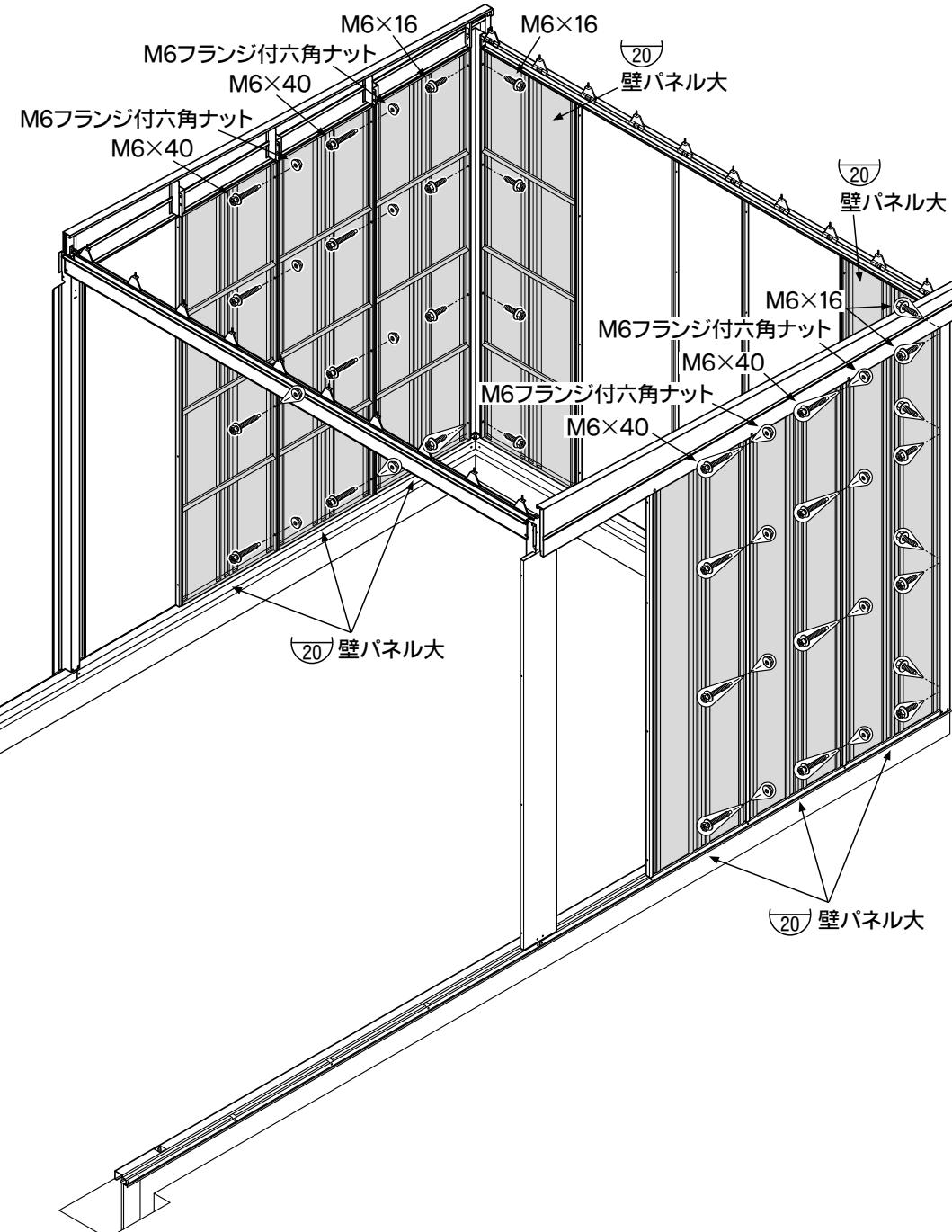
**!** うしろ、両サイドに壁パネルを必ず取り付けて下さい。  
一般母屋を取り付けたあとでは、壁パネルを取り付け出来ません。



2765・3165・3465型は、側面の後に壁パネル小（21）を使用します。



前



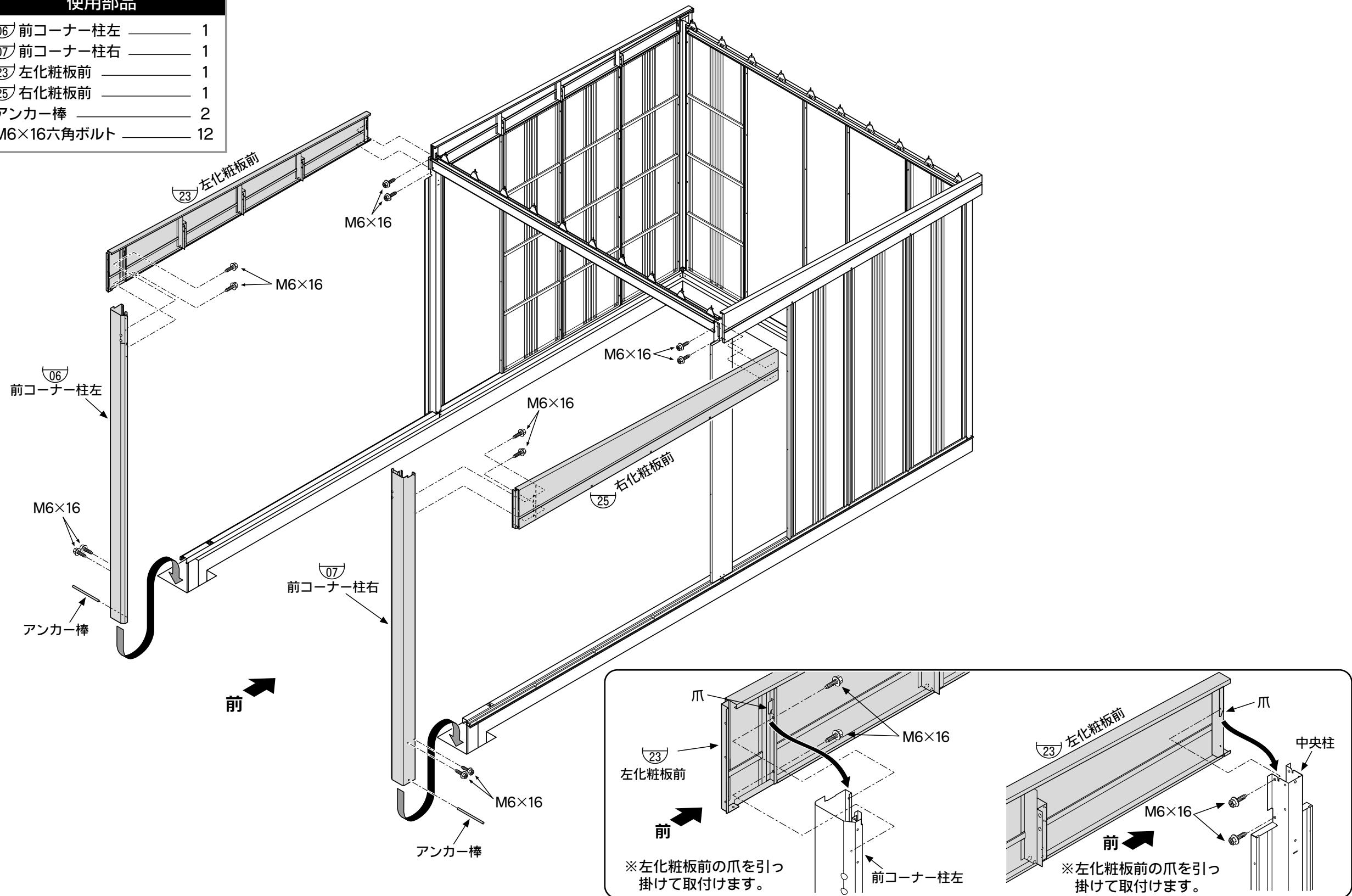
### 使用部品

（20）壁パネル大	2753/3153/3453	6
	2760/2765/3160/3165/3460 /3465	8
（21）壁パネル小	2765/3165/3465	2
M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)	XS・YS型	12
XM・YM/XL・YL型		16
M6フランジ付六角ナット (フランジNT M6ツバ大セレット無)	XS・YS-2753/3153/3453	6
XM・YM-2753/3153/3453		8
XL・YL-2753/3153/3453		
XS・YS-2760/3160/3460	12	
XM・YM-2760/3160/3460		16
XL・YL-2760/3160/3460		
XS・YS-2765/3165/3465	18	
XM・YM-2765/3165/3465		24
XL・YL-2765/3165/3465		
M6×40六角ボルト (アブセットセムスM6×40棒先)	XS・YS-2753/3153/3453	6
XM・YM-2753/3153/3453		8
XL・YL-2753/3153/3453		
XS・YS-2760/3160/3460	12	
XM・YM-2760/3160/3460		16
XL・YL-2760/3160/3460		
XS・YS-2765/3165/3465	18	
XM・YM-2765/3165/3465		24
XL・YL-2765/3165/3465		

## 9. 前コーナー柱と化粧板前の組立

### 使用部品

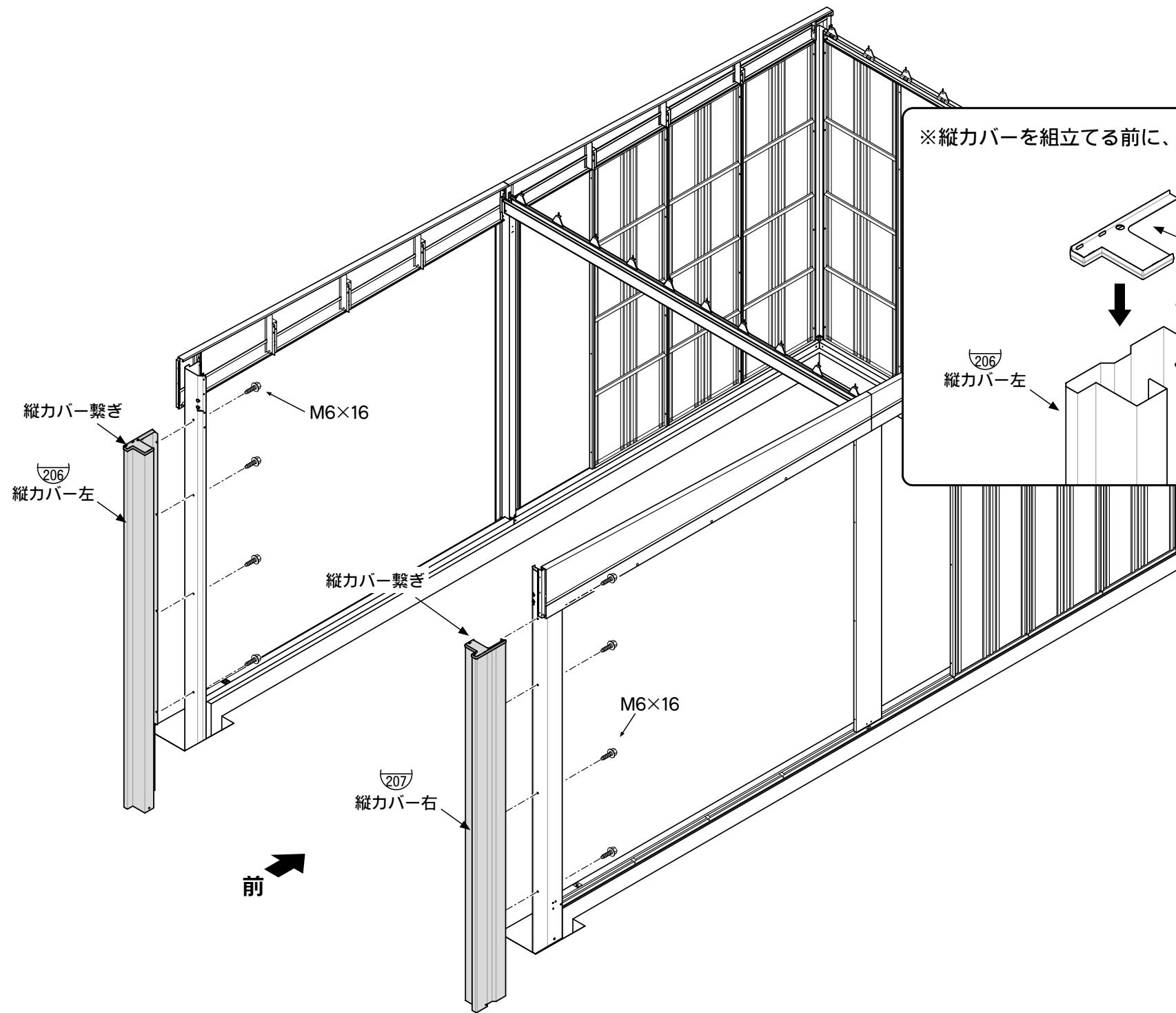
⑥ 前コーナー柱左	1
⑦ 前コーナー柱右	1
② 左化粧板前	1
④ 右化粧板前	1
アンカー棒	2
M6×16六角ボルト	12



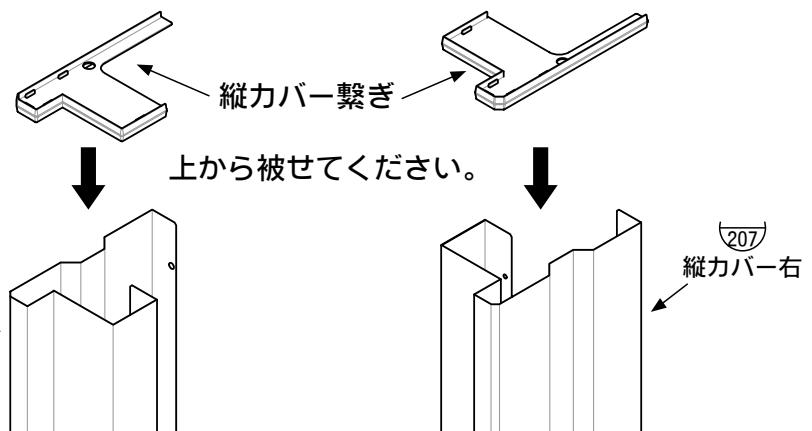
## 10. 前コーナー柱と縦力バーの組立

### 使用部品

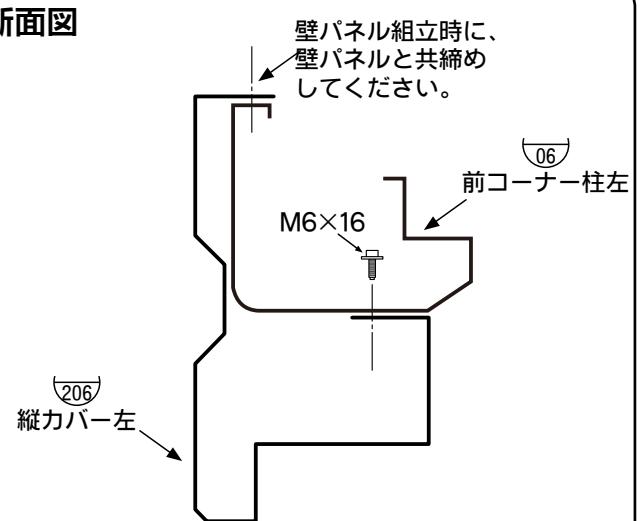
(206) 縦力バー左	1
(207) 縦力バー右	1
縦力バー繋ぎ	2
M6×16六角ボルト (アブセットセムスM6×16棒先)	
XS・YS型	6
XM・YM／XL・YL型	8



※縦力バーを組立てる前に、縦力バー繋ぎを取り付けます。



### 断面図



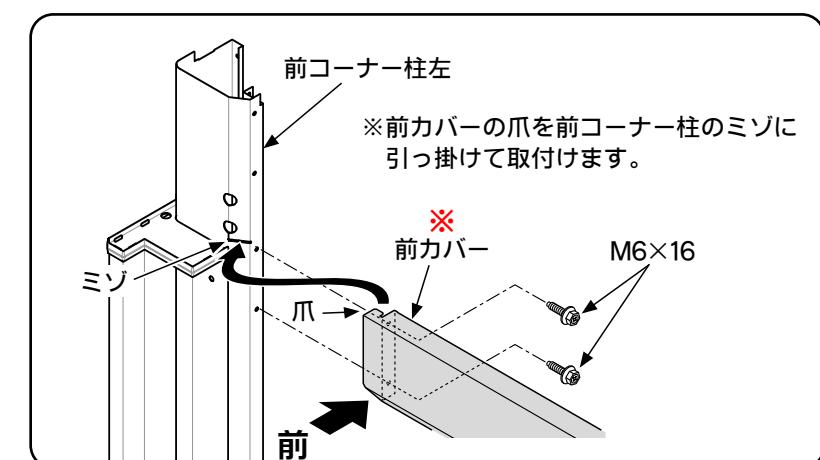
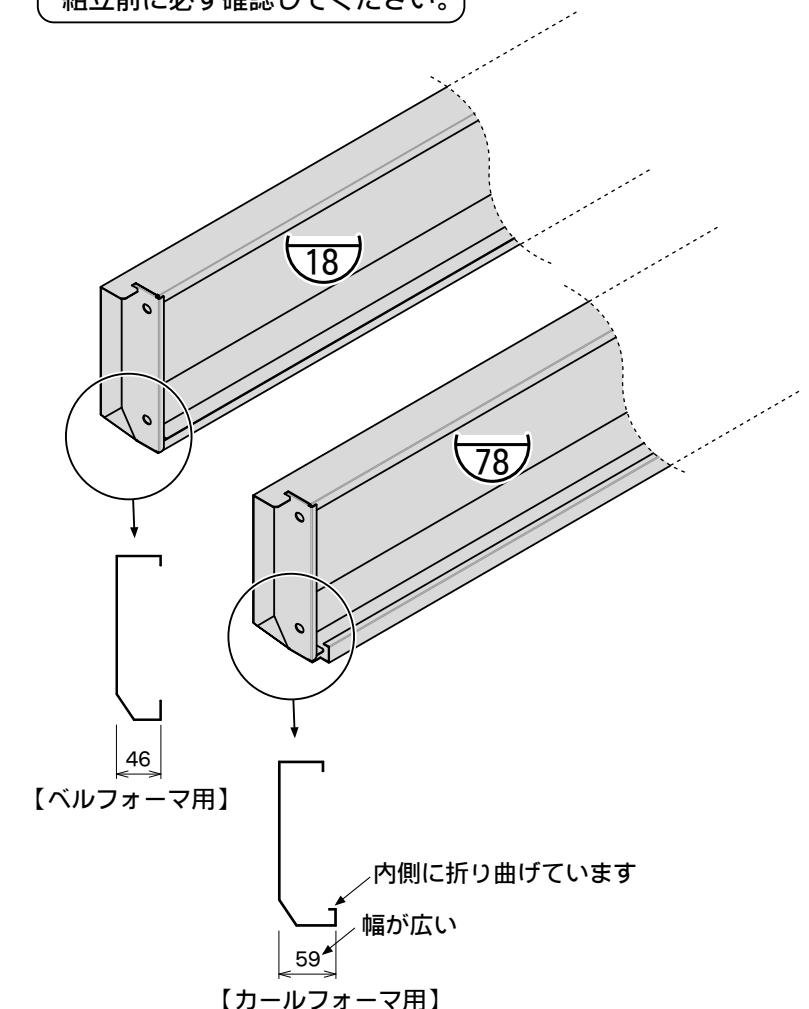
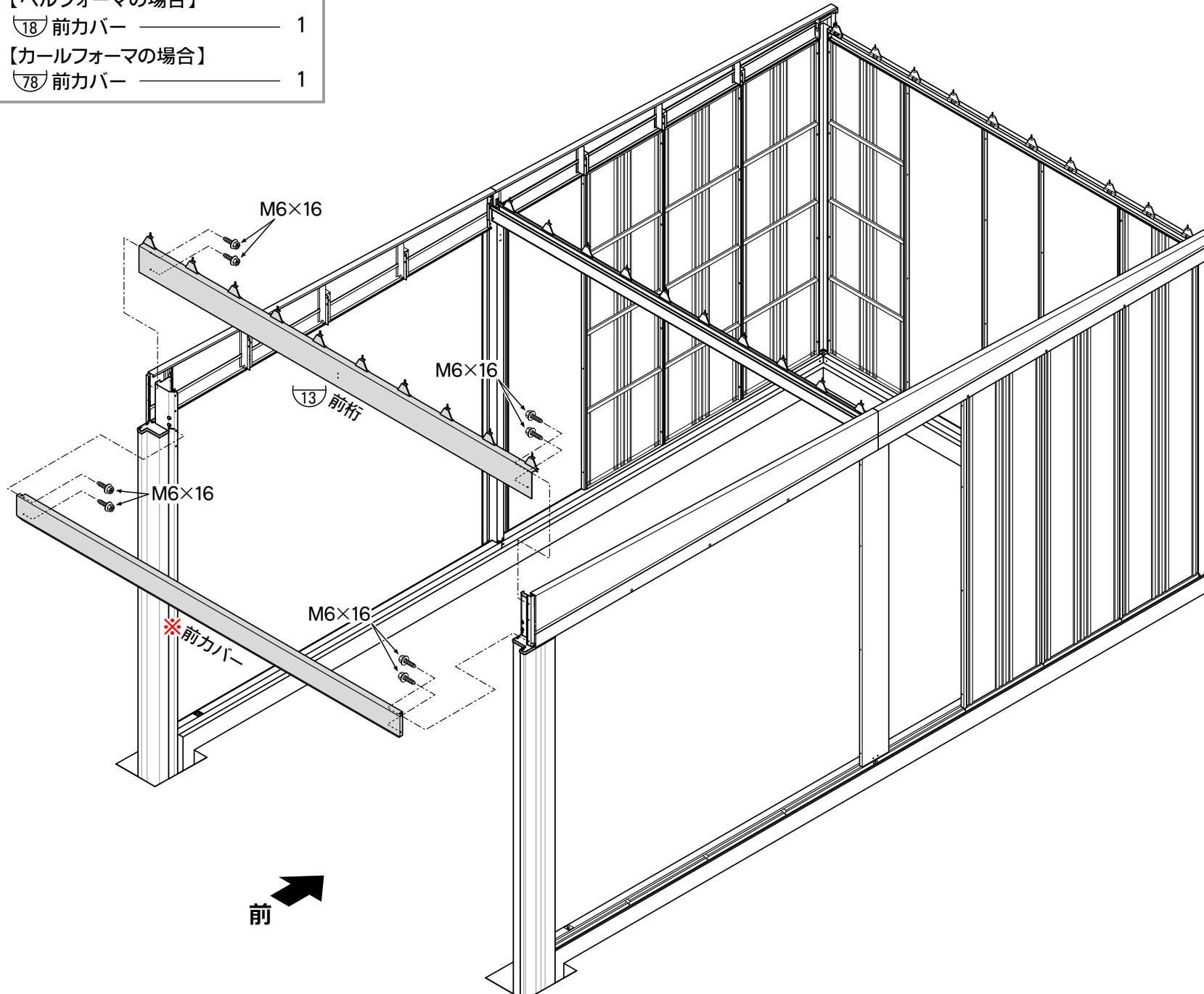
## 11. 前桁と前力バーの組立

### 使用部品

(13) 前桁	1
M6×16六角ボルト	8 (アブセットセムスM6×16棒先)
【ベルフォーマの場合】	
(18) 前力バー	1
【カールフォーマの場合】	
(78) 前力バー	1

\*ベルフォーマとカールフォーマでは、前力バーの種類が異なります。部品のナンバーをご確認ください。

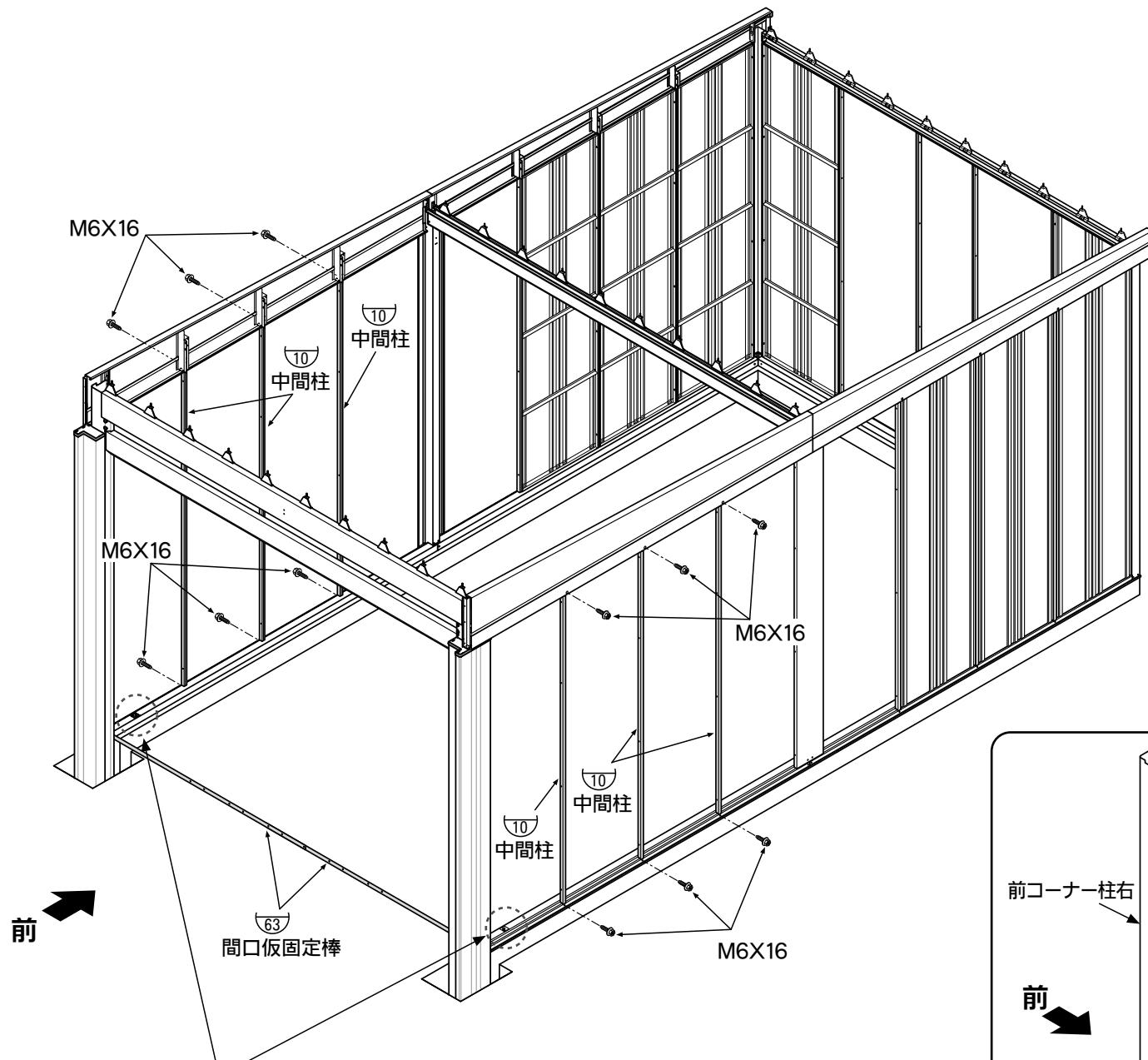
前力バーは2種類あります。  
組立前に必ず確認してください。



## 12. 前側中間柱、間口仮固定棒の組立

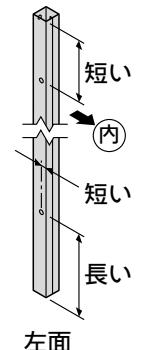
### 使用部品

(10)	中間柱	6
(63)	間口仮固定棒	2
M6×16六角ボルト	16	
(アブセットセムスM6×16棒先)		
M6フランジ付六角ナット	2	
(フランジNT M6ハバ大セレート無)		

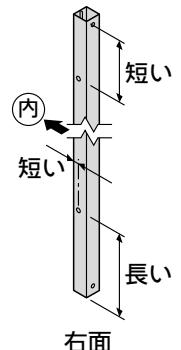


※中間柱の上下、及び向きに注意して取付けます。

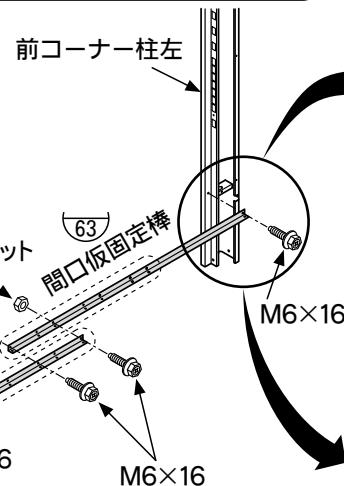
上部



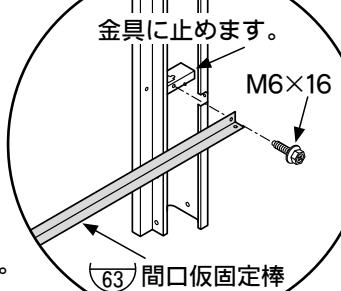
下部



ベルフォーマの場合  
(オーバースライド扉)



カールフォーマの場合  
(巻取シャッター扉)



- ① 穴がたくさんある方を中心にして連結し、柱部にボルトで止めます。
  - ② 連結した際の、2つの間口仮固定棒の重なった端の穴を取付けします。
- ※ 間口仮固定棒を固定し、間口寸法を出しておきます。

## 13. 母屋の組立

### 使用部品

#### (15) 一般母屋

2753/3153/3453	5
2760/3160/3460	6
2765/3165/3465	7

M6×16六角ボルト  
(アプセットセムスM6×16棒先)

2753/3153/3453	40
2760/3160/3460	48
2765/3165/3465	56

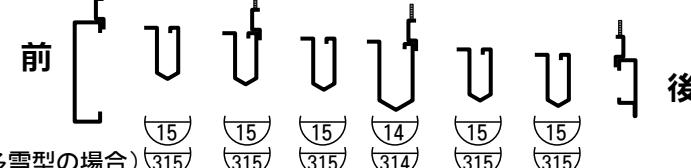
### 使用部品(多雪型)

#### (315) 一般母屋S型

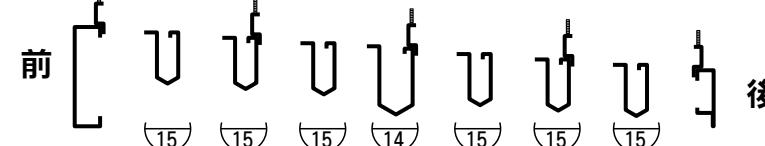
S2753/S3153/S3453	5
S2760/S3160/S3460	6
S2765/S3165/S3465	7

### 母屋配置図

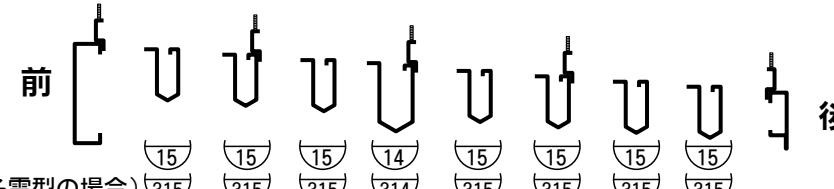
奥行5300mmタイプ 2753L/3153L/3453L型  
S2753L/S3153L/S3453L型



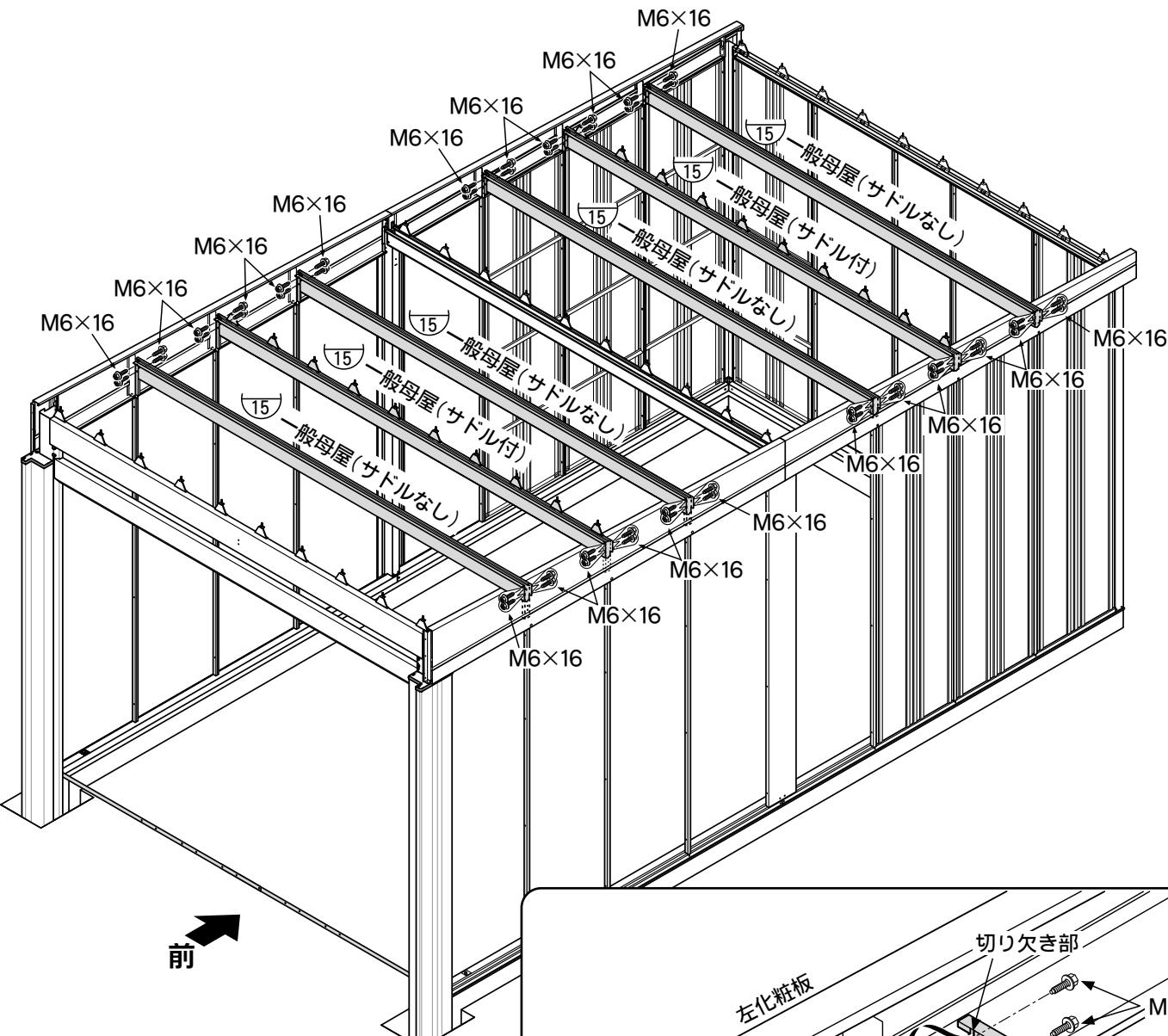
奥行6000mmタイプ 2760L/3160L/3460L型  
S2760L/S3160L/S3460L型



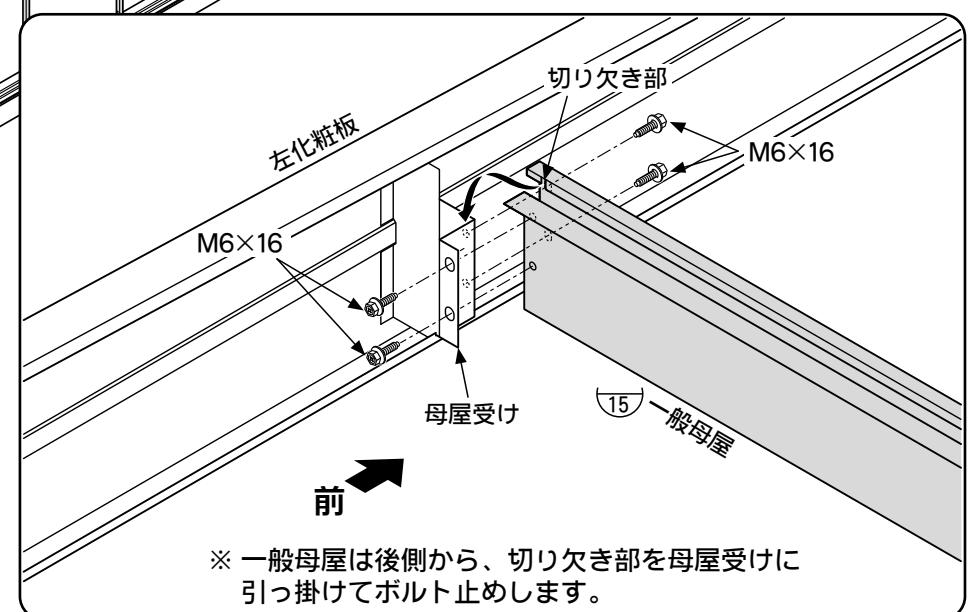
奥行6516mmタイプ 2765L/3165L/3465L型  
S2765L/S3165L/S3465L型



※多雪型を組み立てる際は、一般母屋 (15) の代わりに一般母屋S型 (315) を取り付けてください。

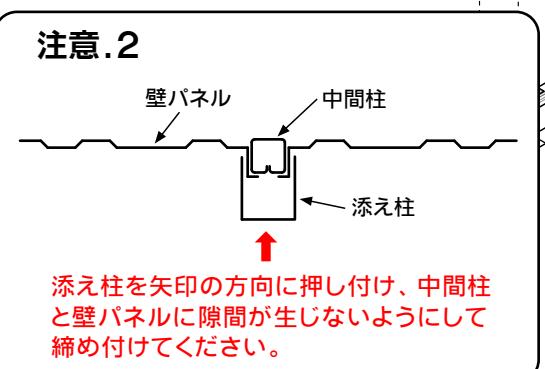
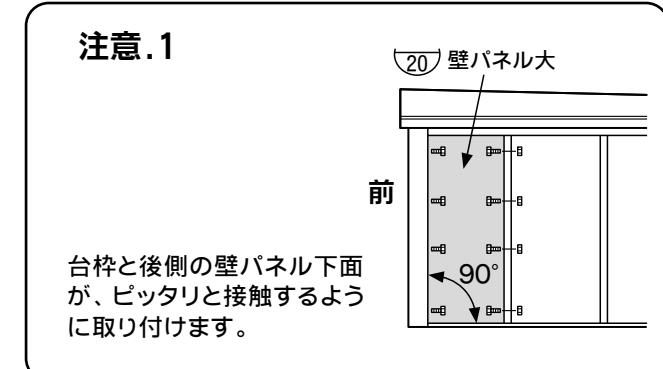
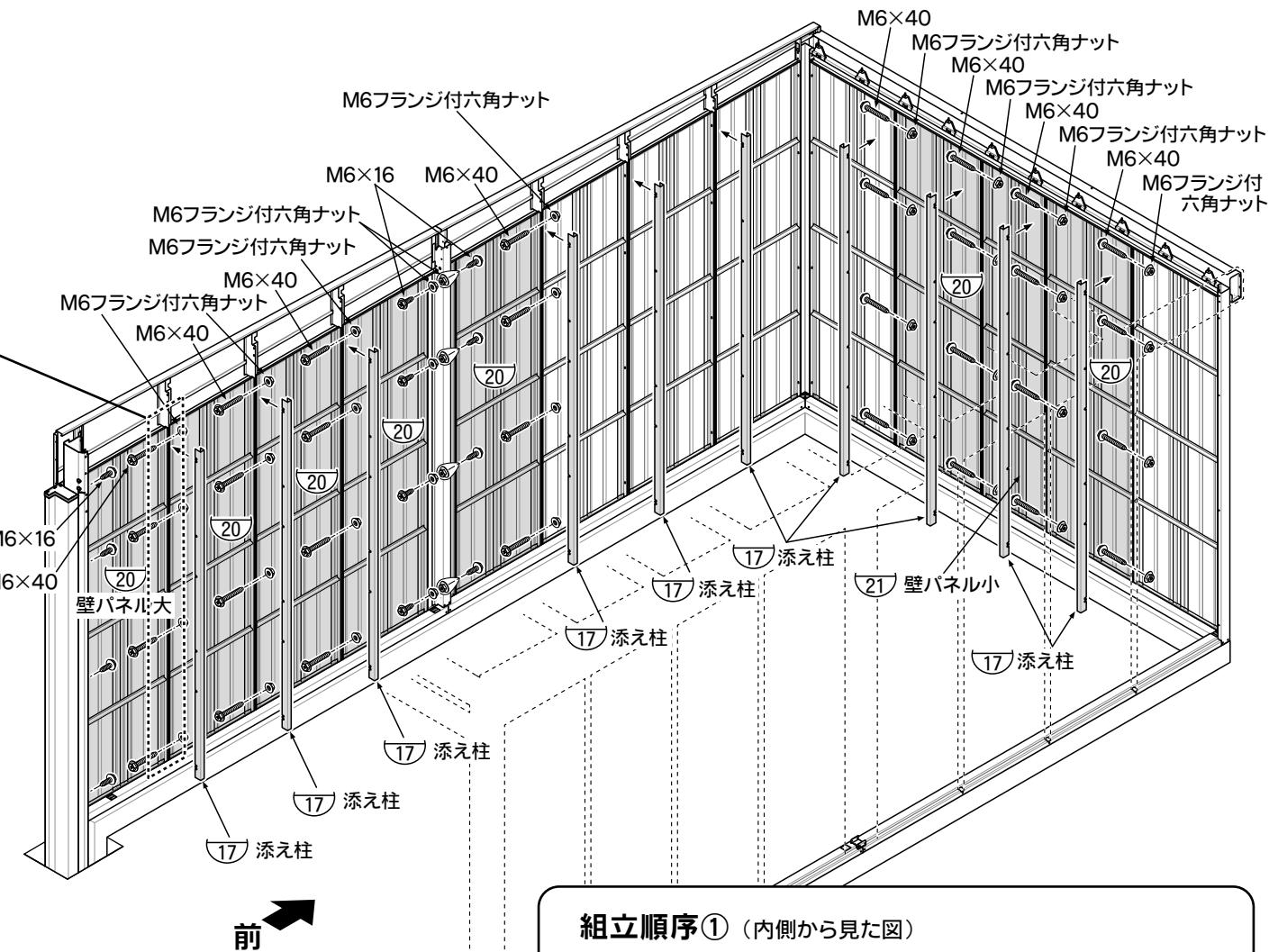
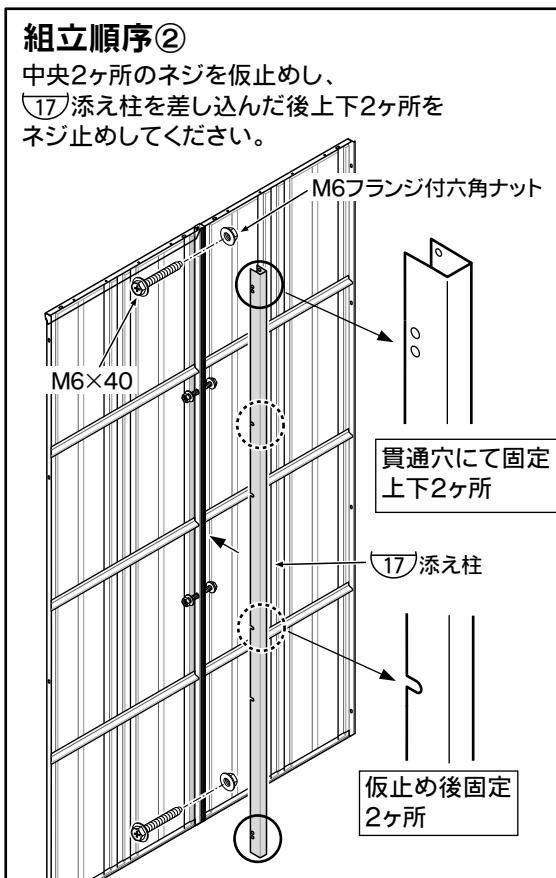


⚠ 各母屋の取り付け位置は間違えないようにしてください。間違えると屋根板が取り付かなくなります。

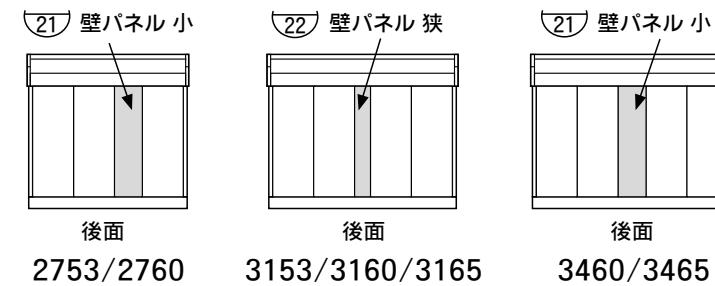


## 14-1. 後側、左側の壁パネル、添え柱の組立

- ・壁パネルは、後側 → 左側の順で取り付けると安全です。
- ・壁パネル 小(21)は、3153/3160/3165型には使用しません。
- ・壁パネル 狹(22)は、2753/2760/2765/3453/3460/3465型には使用しません。
- ・添え柱(17)は、XS・YSタイプには使用しません。



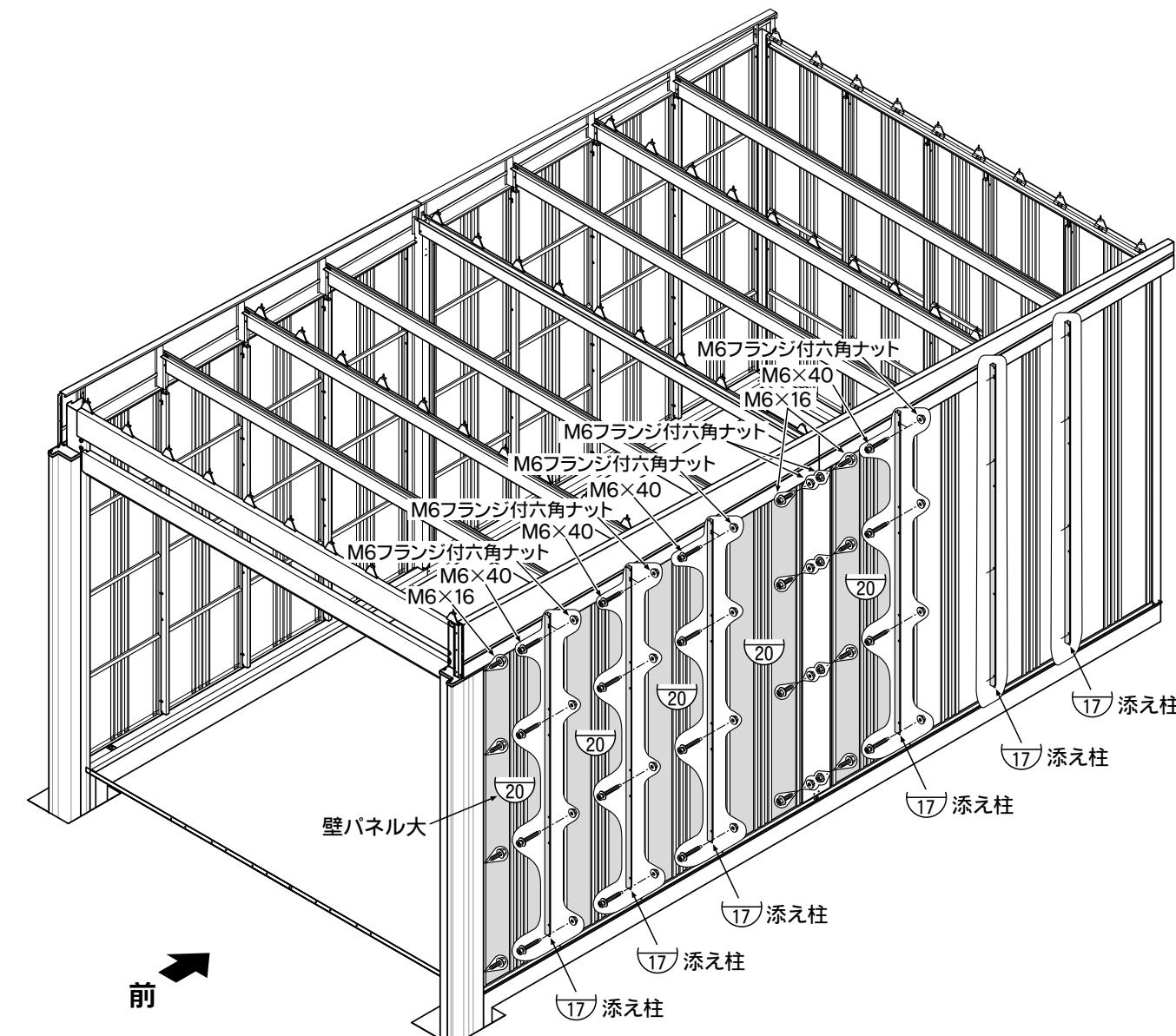
### 組立順序① (内側から見た図)



使用部品		
(20) 壁パネル 大	2753/2760/2765 3153/3160/3165/3453/3460 /3465	6 7
(21) 壁パネル 小	2753/2760/2765/3453/3460 /3465	1
(22) 壁パネル 狹	3153/3160/3165	1
(17) 添え柱	XS・YM-2753 XL・YL-2753 XS・YM-2760/3153/3453 XL・YL-2760/3153/3453 XM・YM-2765/3160/3460 XL・YL-2765/3160/3460 XM・YM-3165/3465 XL・YL-3165/3465	8 9 10 11
M6×40六角ボルト (アッセイセムスM6×40棒先)	XS・YS-2753/2760/2765 XS・YS-3153/3160/3165/3453 /3460/3465	21 24
M6フランジ付六角ナット (フランジNT M6ツバ大セレト無)	XS・YS-2753/2760/2765 XS・YS-3153/3160/3165/3453 /3460/3465	27 30
M6×16六角ボルト (アッセイセムスM6×16棒先)	XS・YS-2753/2760/2765 XS・YS-3153/3160/3165/3453 /3460/3465	36 40
XS・YS型	XS・YS型	9
XM・YM/XL・YL型	XM・YM/XL・YL型	12

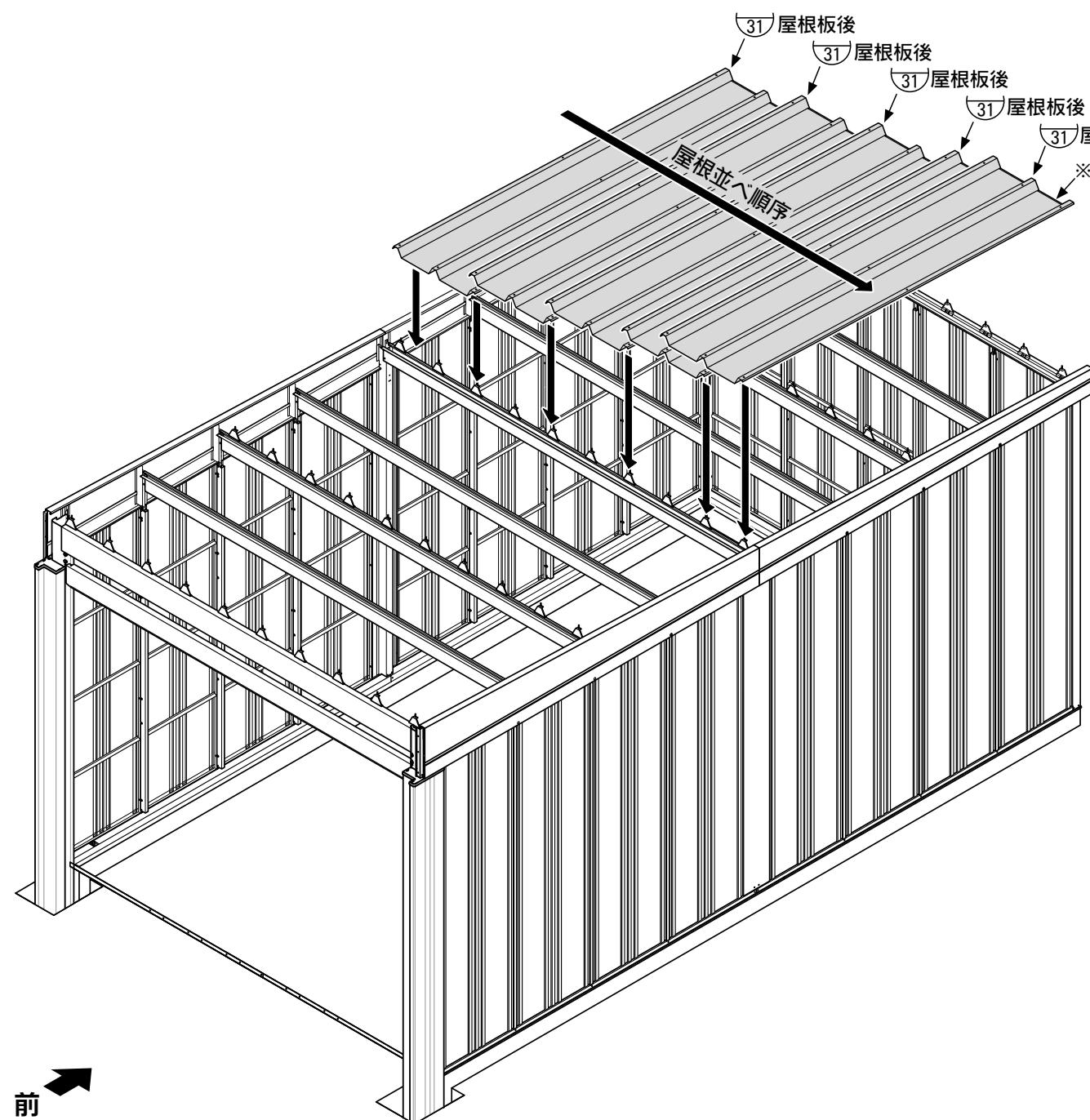
## 14-2. 右側壁パネル・添え柱の組立

使用部品	
(20) 壁パネル大	5
(17) 添え柱	
XM・YM-2753/3153/3453	5
XL・YL-2753/3153/3453	
XM・YM-2760/3160/3460	6
XL・YL-2760/3160/3460	
XM・YM-2765/3165/3465	7
XL・YL-2765/3165/3465	
M6×40六角ボルト (アッセットセムスM6×40棒先)	
XS・YS型	12
XM・YM／XL・YL型	16
M6フランジ付六角ナット (フランジNT M6ツバ 大セレート無)	
XS・YS型	18
XM・YM／XL・YL型	24
M6×16六角ボルト (アッセットセムスM6×16棒先)	
XS・YS型	9
XM・YM／XL・YL型	12



## 15-1. 屋根板後の組立

・屋根板後(31)を左から順次並べます。



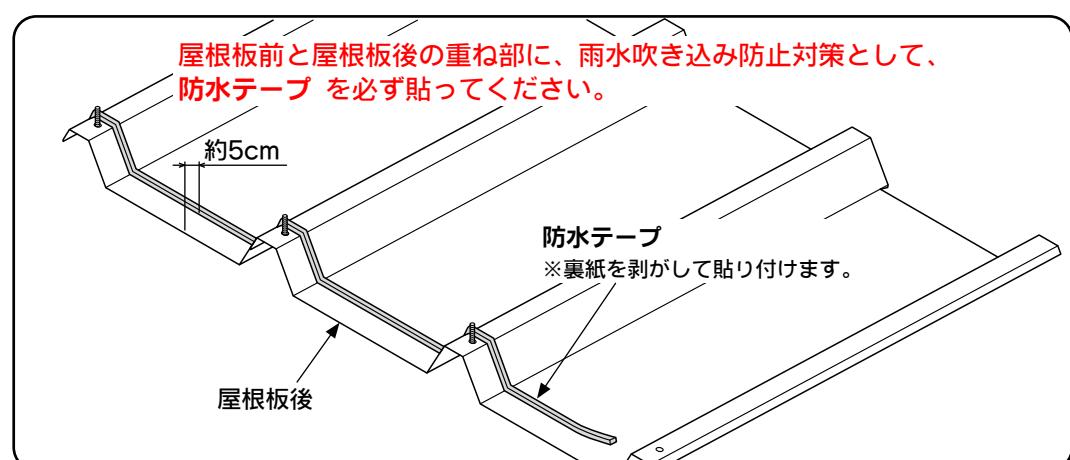
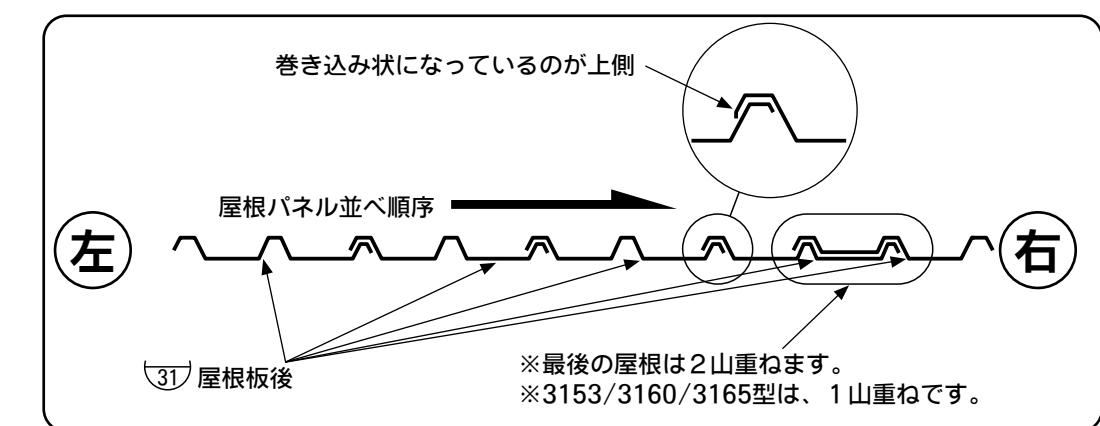
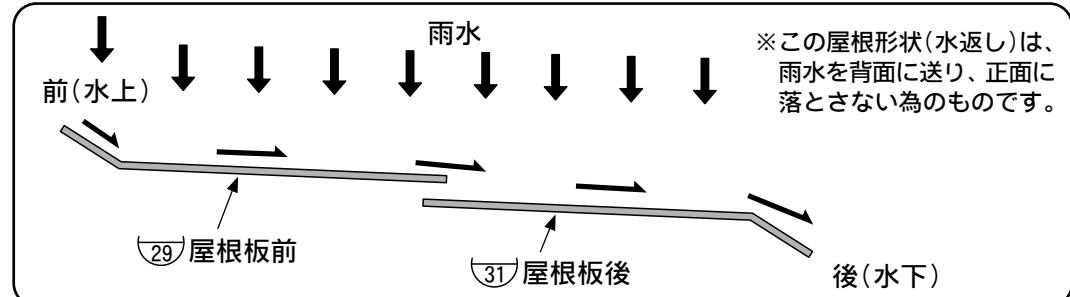
### 使用部品

#### (31) 屋根板後

2753/2760/2765/3153/3160 /3165	4
-----------------------------------	---

3453/3460/3465	5
----------------	---

#### 防水テープ



## 15-2. 屋根板前の組立

### 使用部品

(29) 屋根板前

2753/2760/2765/3153  
/3160/3165

4

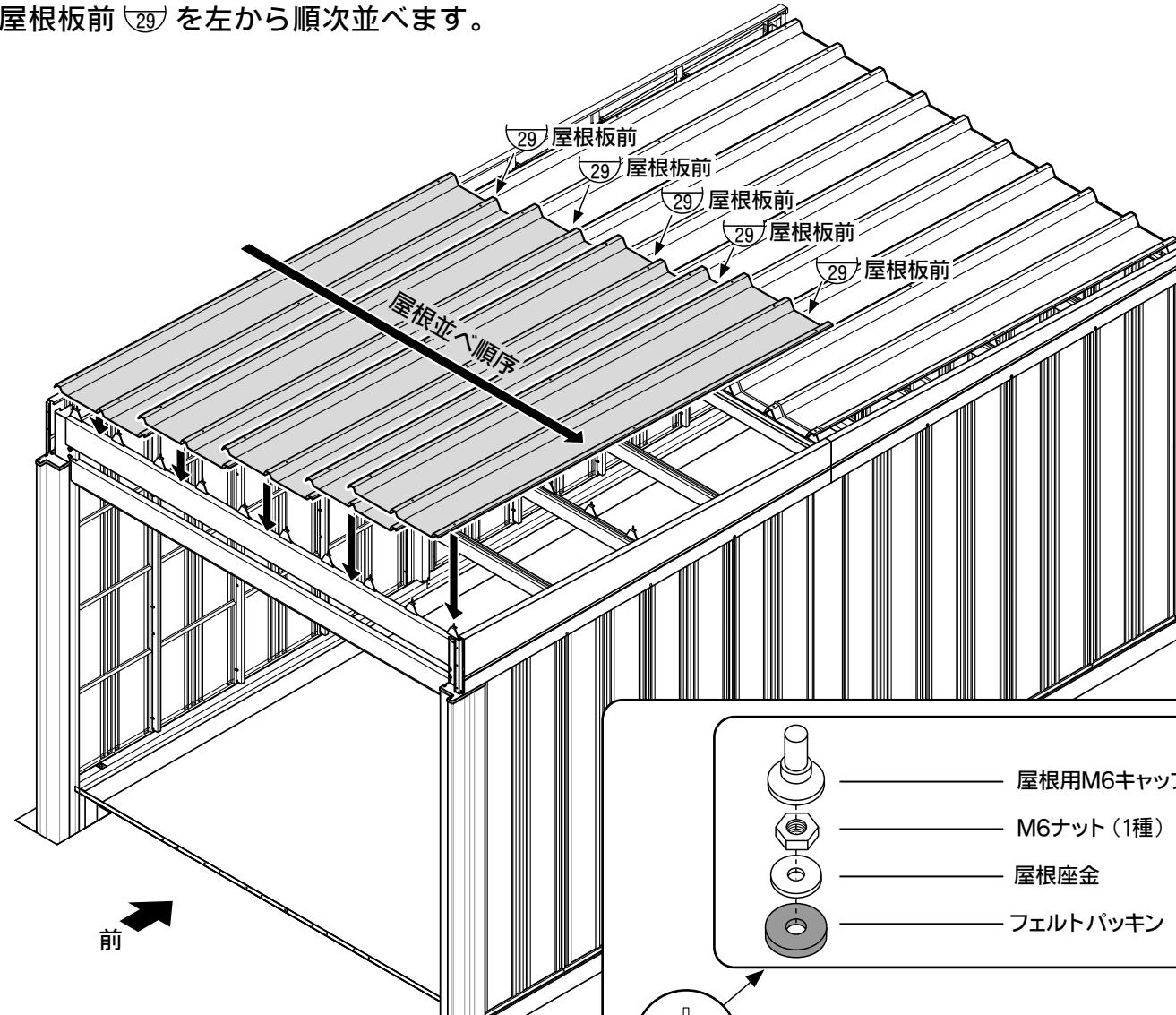
3453/3460/3465

5

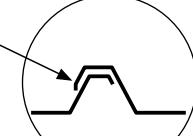
フェルトパッキン  
(5×20×6)  
屋根座金  
(山W 6×21.5)  
M6ナット(1種)  
(NT M6)  
屋根用M6キャップ  
(サンドホワイト)

2753	各24
3153	各28
2760/2765	各30
3453	各32
3160/3165	各35
3460/3465	各40

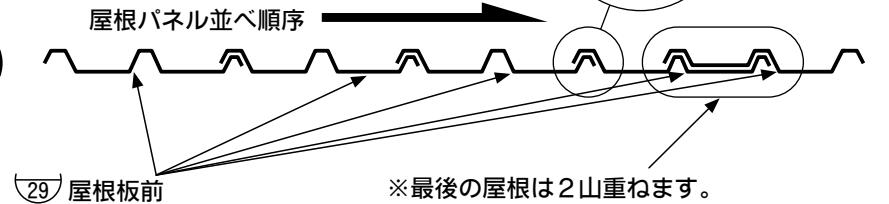
・屋根板前(29)を左から順次並べます。



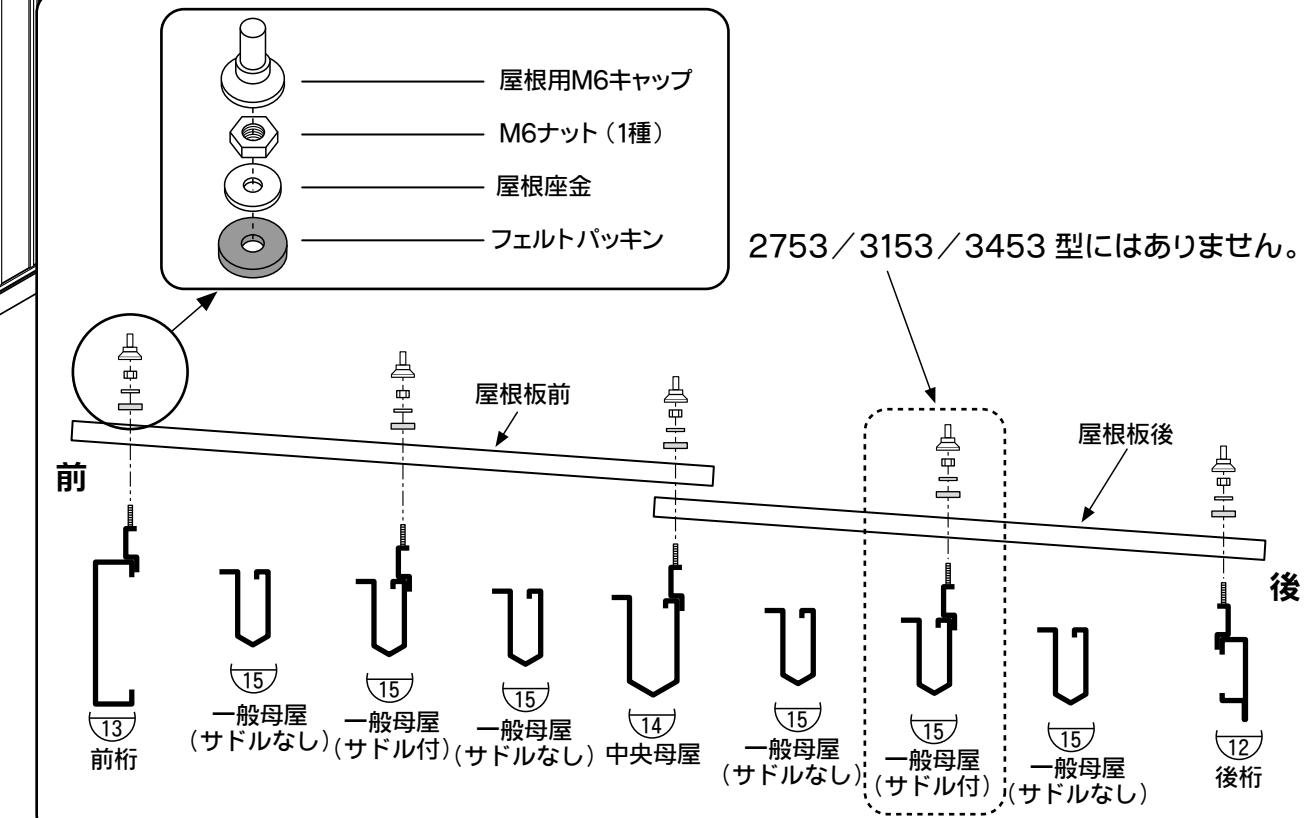
巻き込み状になっているのが上側



左

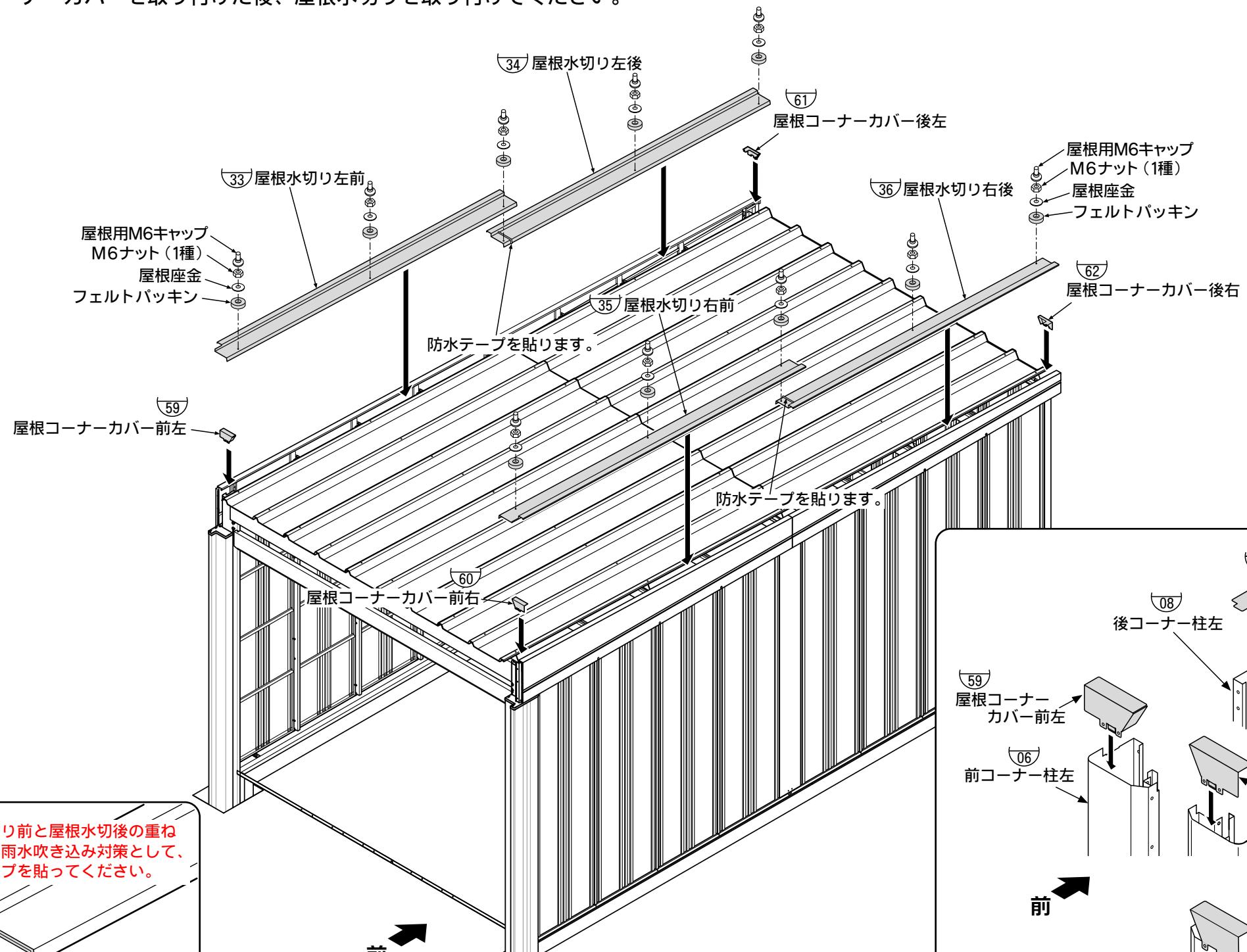


右



## 16. 屋根水切り・屋根コーナーカバーの組立

- 屋根コーナーカバーを取り付けた後、屋根水切りを取り付けてください。



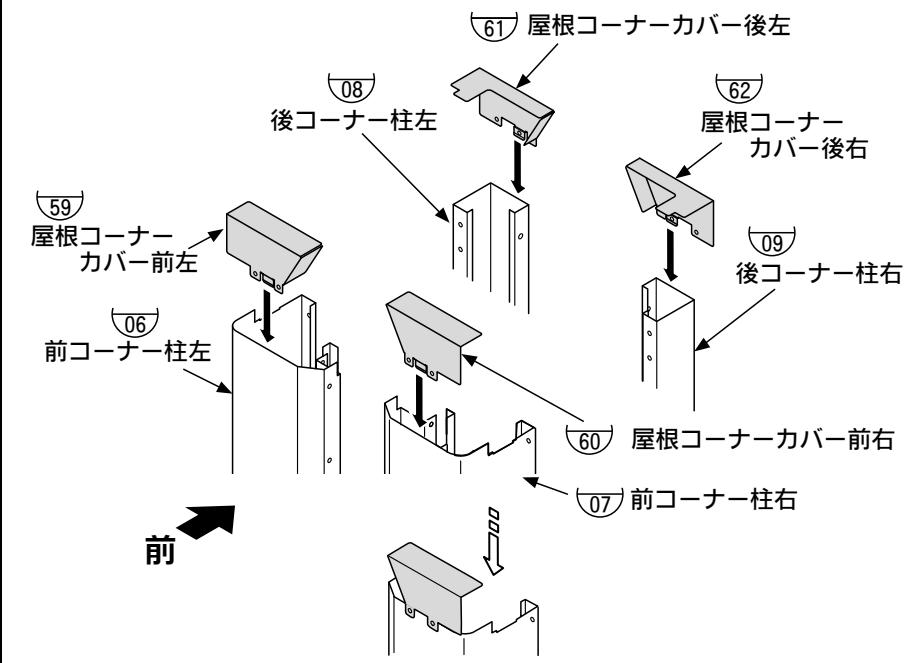
### 使用部品

(33) 屋根水切り左前	1
(34) 屋根水切り左後	1
(35) 屋根水切り右前	1
(36) 屋根水切り右後	1
(59) 屋根コーナーカバー前左	1
(60) 屋根コーナーカバー前右	1
(61) 屋根コーナーカバー後左	1
(62) 屋根コーナーカバー後右	1

フェルトパッキン  
(5×20×6)  
屋根座金  
(山W 6×21.5)  
M6ナット (1種)  
(NT M6)  
屋根用M6キャップ  
(サンドホワイト)

2753/3153/3453	各8
2760/2765/3160/3165 /3460/3465	各10

防水テープ



(59) (60) (61) (62) は、はめ込み式です。  
穴があいていますが、ねじを止めるわけではありません。

# 【ベルフォーマ用 オーバースライド扉 の取付方法 : P34~39】

\*カールフォーマ用巻取シャッター扉を取り付ける場合はP40~43をご覧ください。

## 17. スプリングの組立

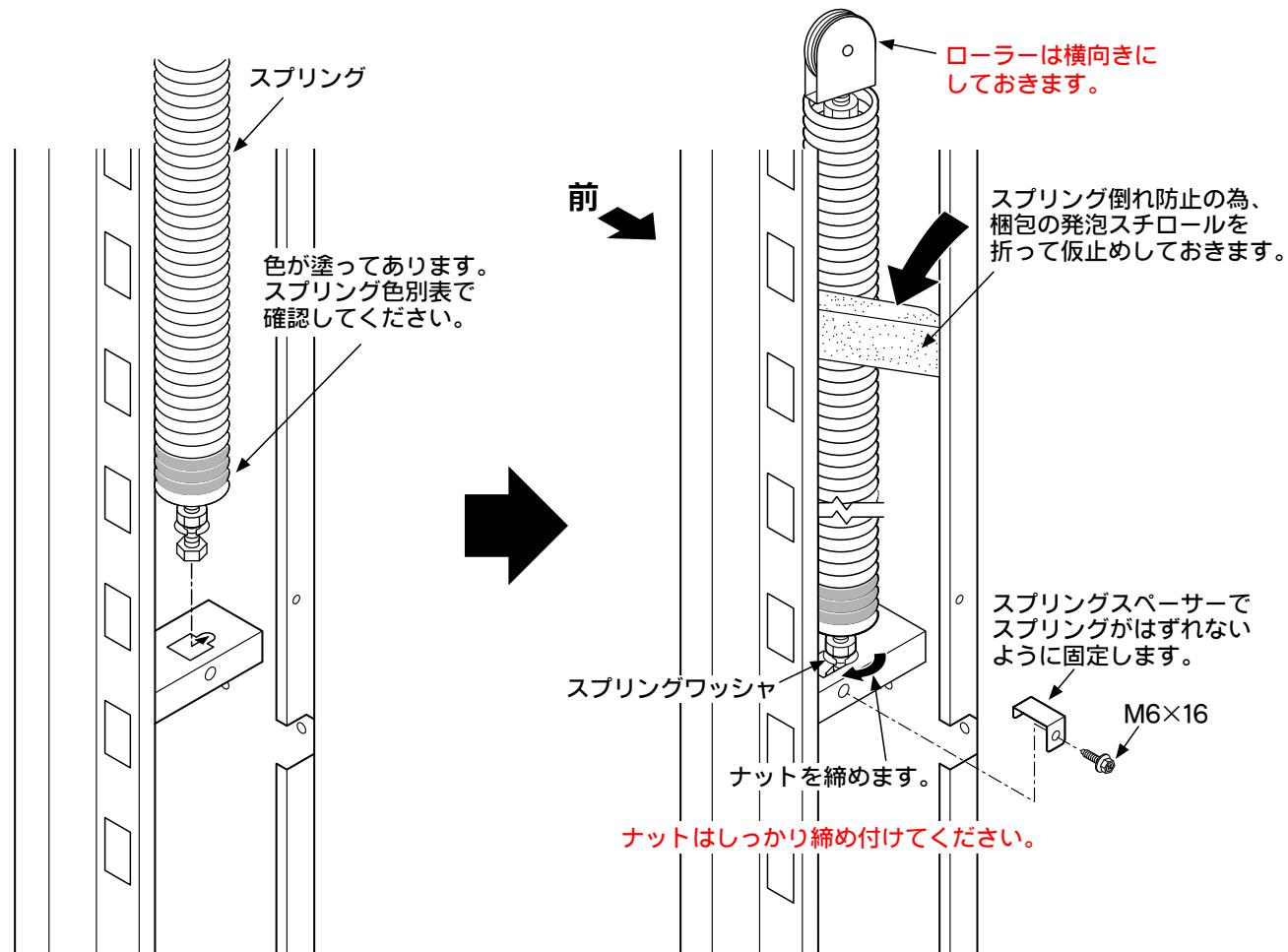
### 使用部品

スプリング	2
スプリングスペーサー	2
M6×16六角ボルト (アセットセムスM6×16棒先)	2

- ・スプリングを取り付けます。

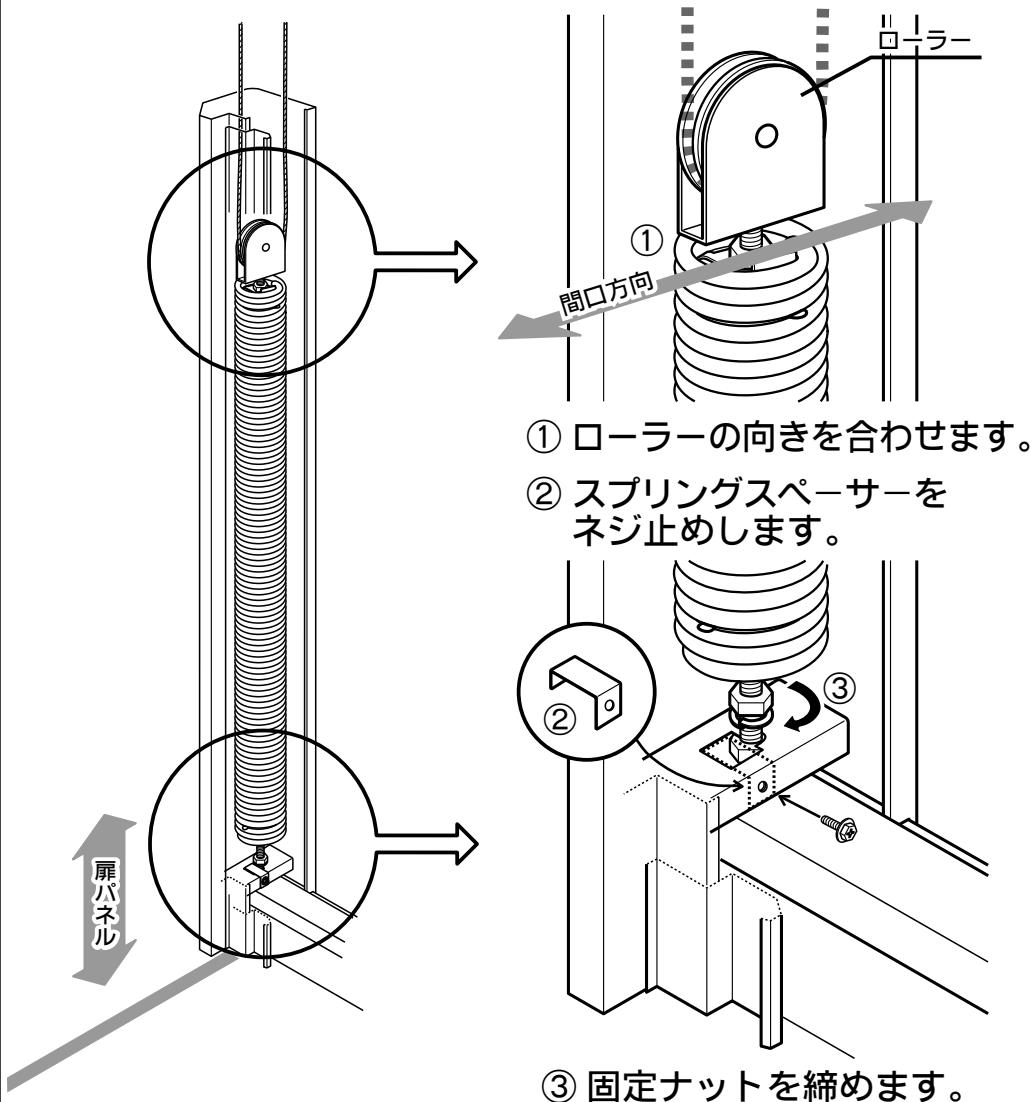
スプリング色別表(スプリング下部に色を塗っています)

該当機種	スプリング長さ	色
XL-2753/2760/2765	950mm	青
XM-2753/2760/2765	900mm	緑
XS-2753/2760/2765/3153/3160/3165	850mm	赤
XS-3453/3460/3465	800mm	黄
XL-3153/3160/3165	1100mm	黒
XM-3453/3460/3465・XL-3453/3460/3465	1050mm	白
XM-3153/3160/3165	1075mm	茶



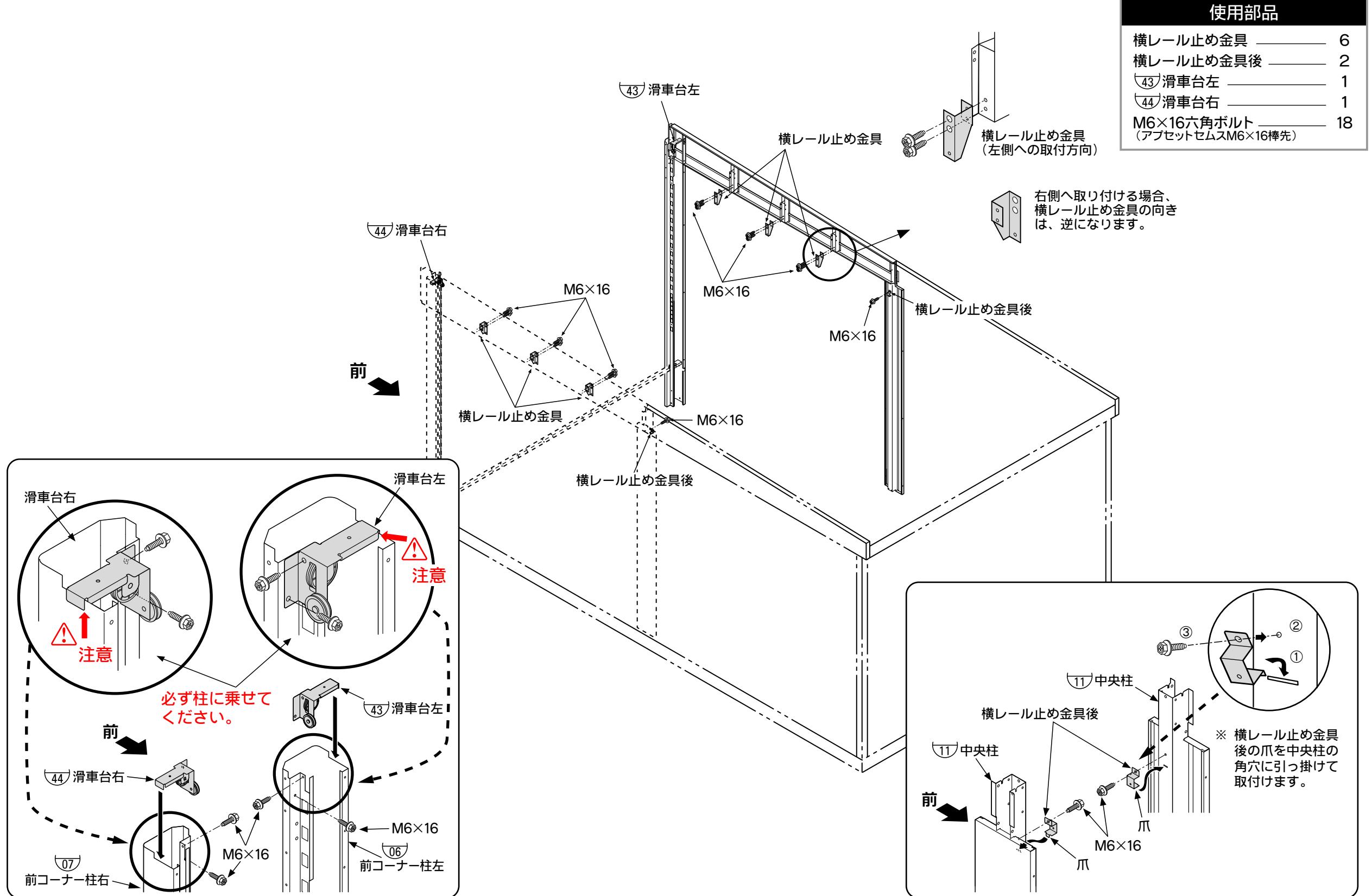
## スプリング取り付け時のご注意

スプリングを取り付ける際は、ローラーの向きが間口方向と平行になるように、下記の手順で取り付けてください。



この後ワイヤを通しますが、間違ってワイヤがねじれてしまった場合に、ローラー部を無理に回して修正しようとすると、スプリング本体の金具がゆるむ恐れがあります。危険ですので、そのような時はワイヤを通し直すか、③の固定ナットをゆるめて調整してください。

## 18. 横レール止め金具・滑車台の組立



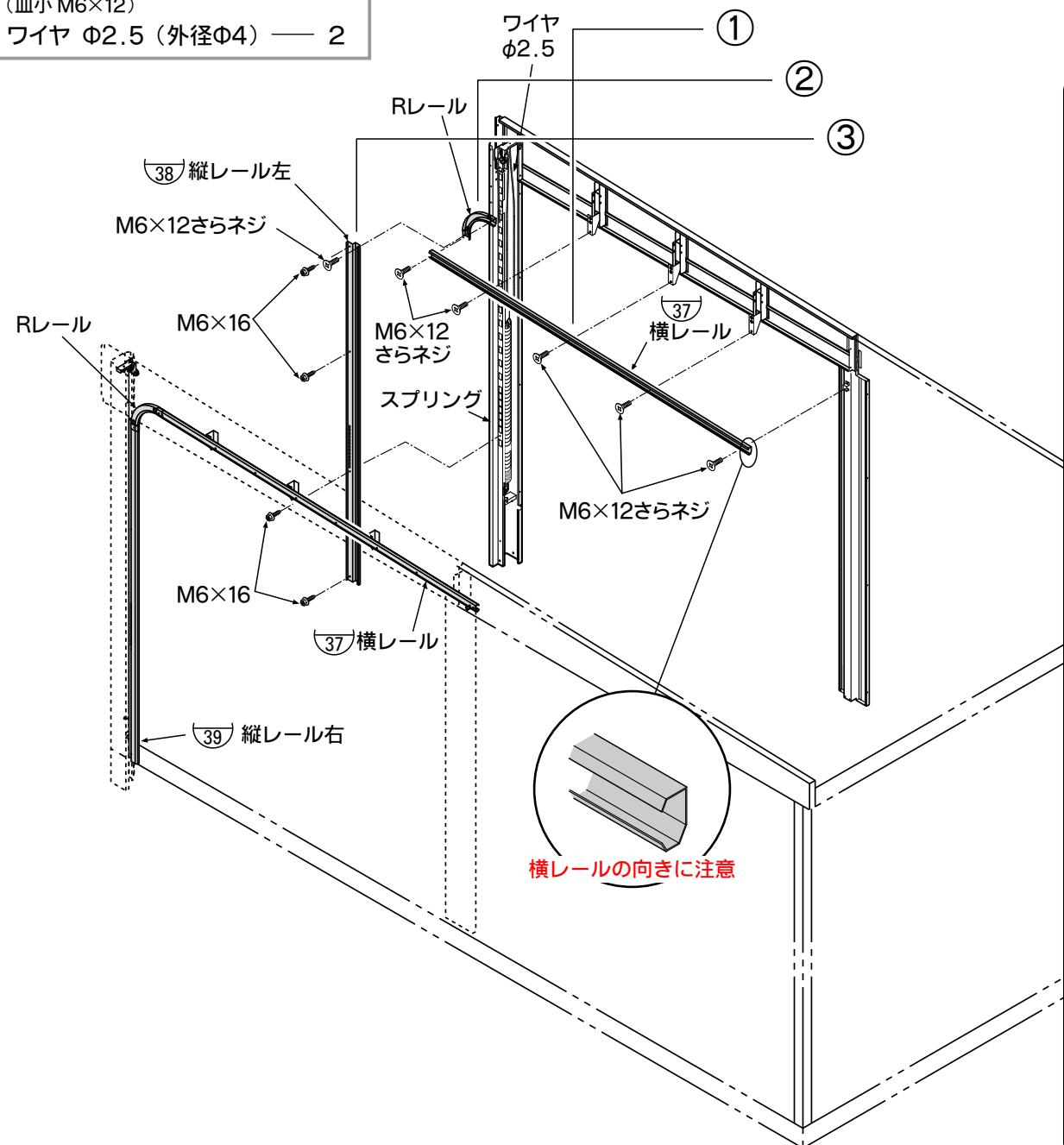
## 19. レール、ワイヤΦ2.5の組立

### 使用部品

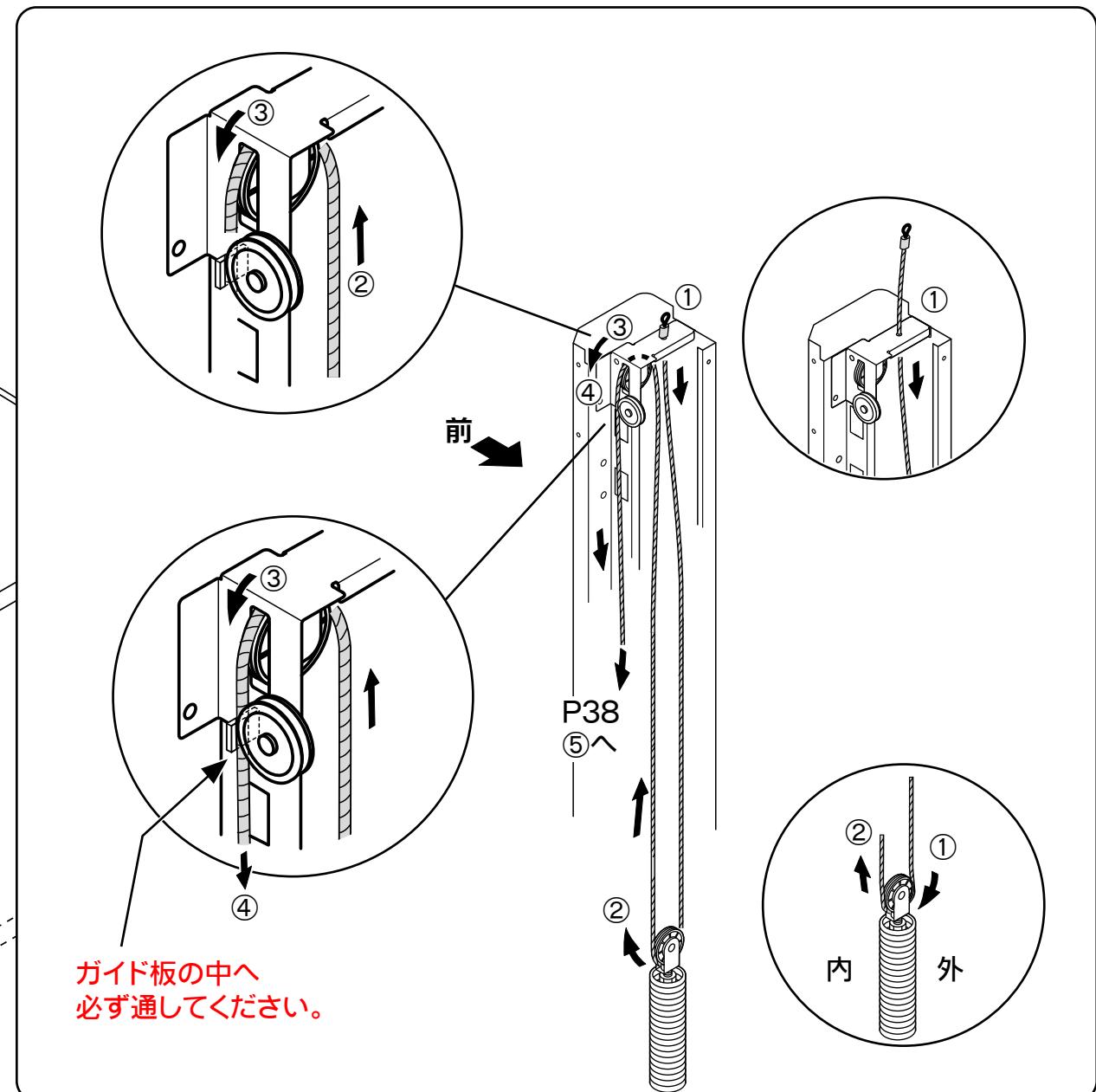
(37) 横レール	2
(38) 縦レール左	1
(39) 縦レール右	1
Rレール	2
M6×16六角ボルト (アセットセムスM6×16棒先)	8
M6×12さらねじ (皿小 M6×12)	12
ワイヤ Φ2.5 (外径Φ4) —— 2	

⚠ 間口板固定棒はここで一旦、はずしてください。

① レールの組立：ここでは、横レール、Rレール、縦レールの順に組み立ててください。



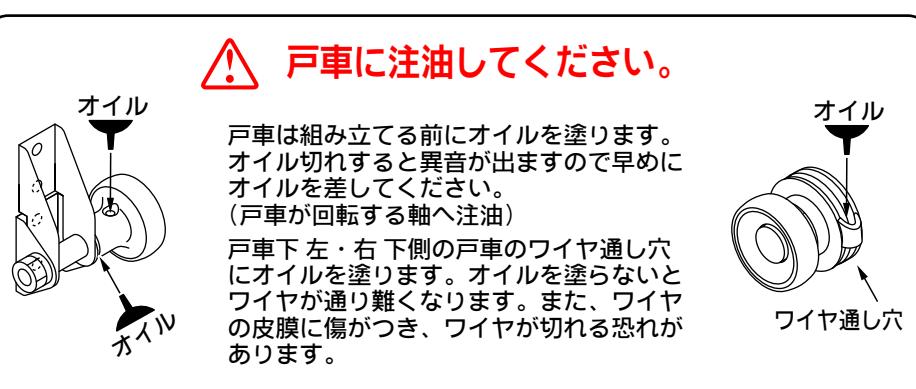
② ワイヤΦ2.5の取り付け



## 20. 扉の組立

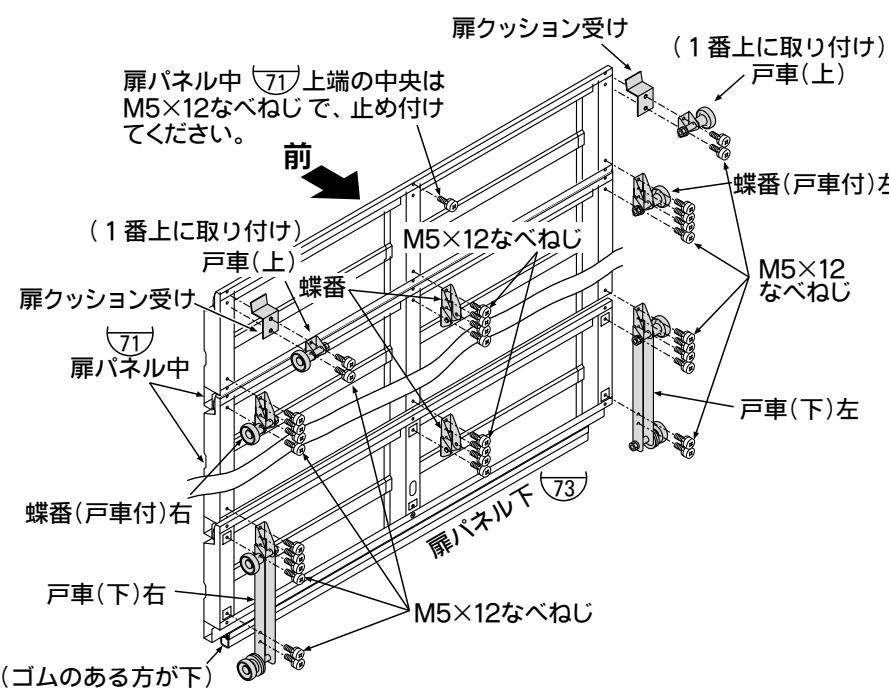
※扉は下から上に向かって順番に組み上げてください。  
※組立時、一番下の扉の水平を出しておいてください。  
※下から4番目の扉は錠付きの扉を取り付けてください。

**戸車に注油してください。**

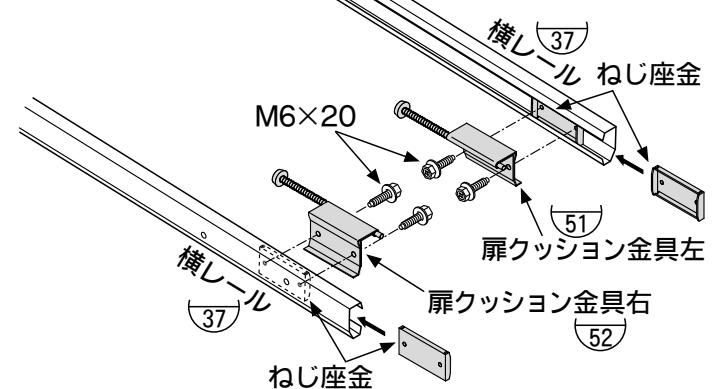


### 【蝶番と扉クッション受けの取り付け】

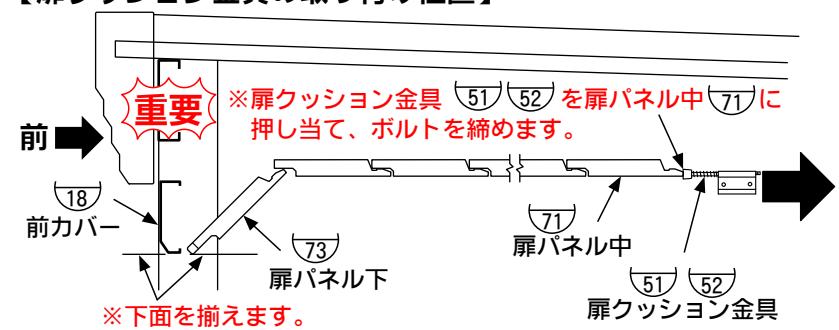
扉クッション受けを戸車(上)と一緒に取り付けてください。



### 【扉クッション金具の取り付け】

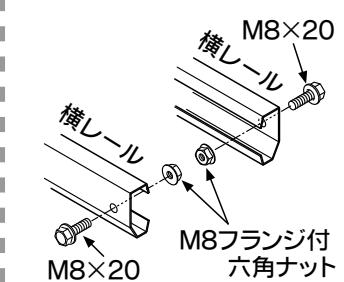


### 【扉クッション金具の取り付け位置】



使用部品	
(71)	扉パネル中
XSタイプ	9
XMタイプ	10
XLタイプ	12
(72)	扉パネル(錠付)
戸車(上)	2
戸車(下)左	1
戸車(下)右	1
蝶番	
XSタイプ	10
XMタイプ	11
XLタイプ	13
蝶番(戸車付)左・右	
XSタイプ	各9
XMタイプ	各10
XLタイプ	各12
M6×20六角ボルト	4
(アセットセムスM6×20棒先)	
M5×12なべねじ	
(銅P=2(SW) M5×12)	
XSタイプ	129
XMタイプ	141
XLタイプ	165
オイル	
M8×20六角ボルト	2
(フランジ付 M8X20 あら先)	
M8フランジ付六角ナット	2
(フランジNT M8)	

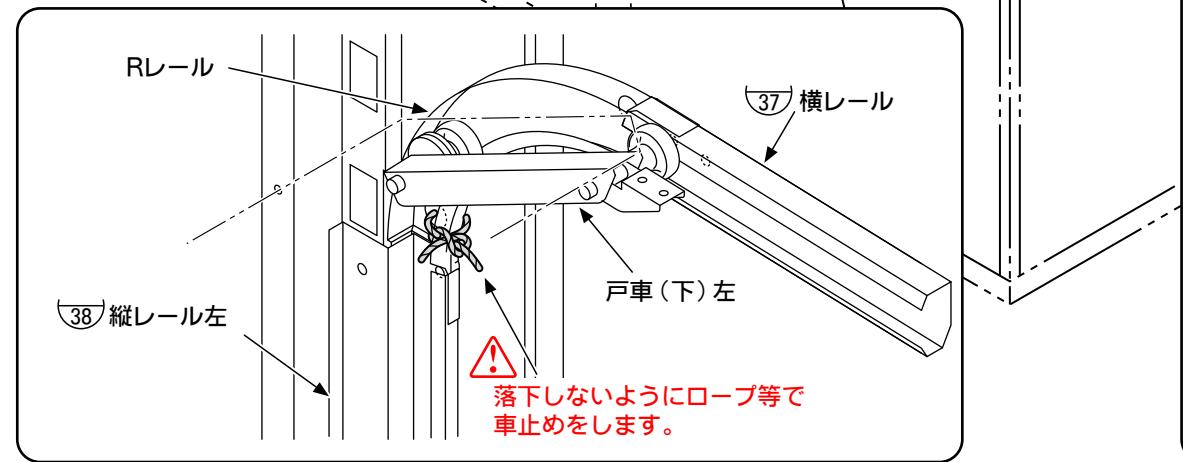
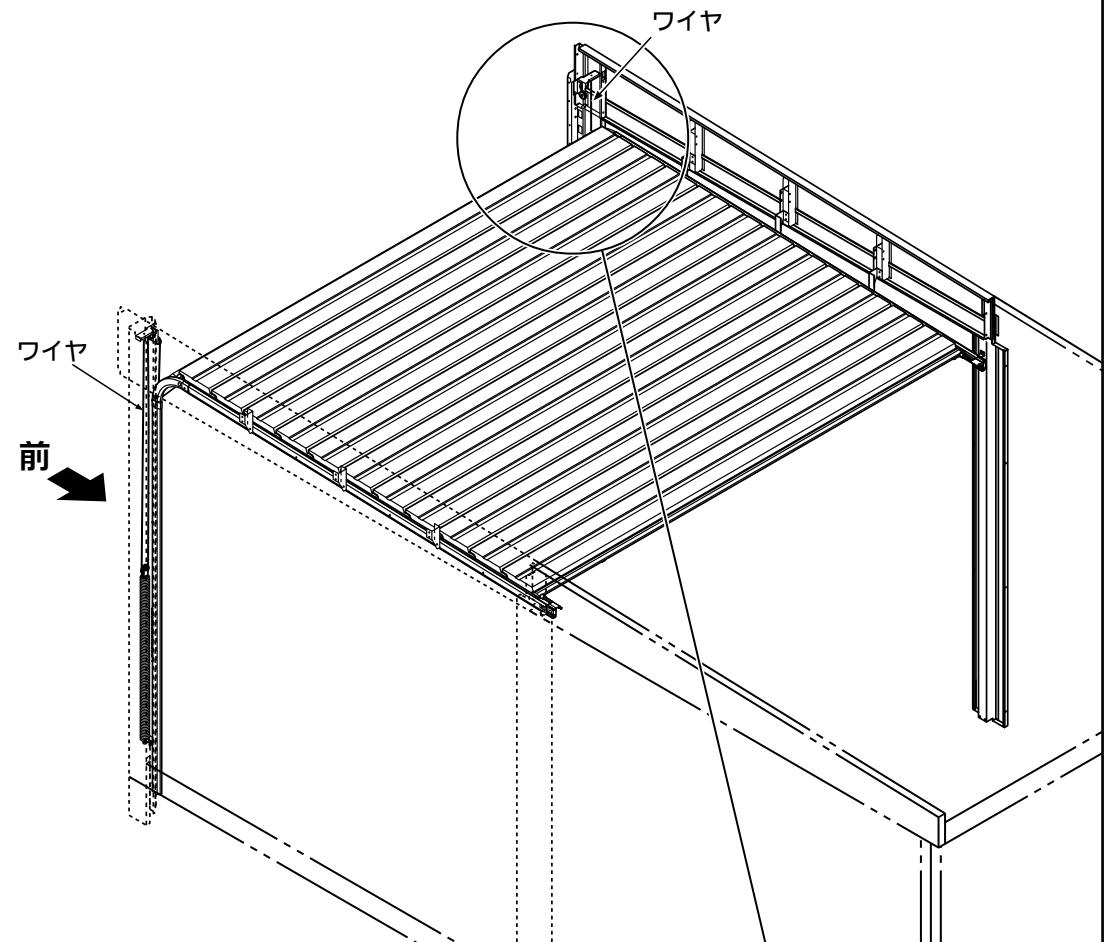
扉クッション金具の取付後、横レールの一番後の穴にM8×20とM8フランジ付六角ナットを取り付けてください。



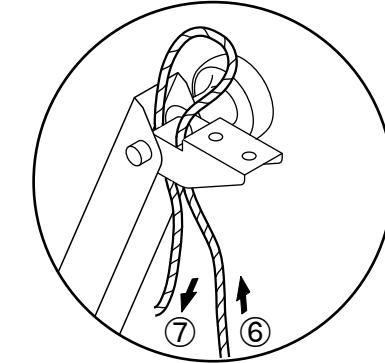
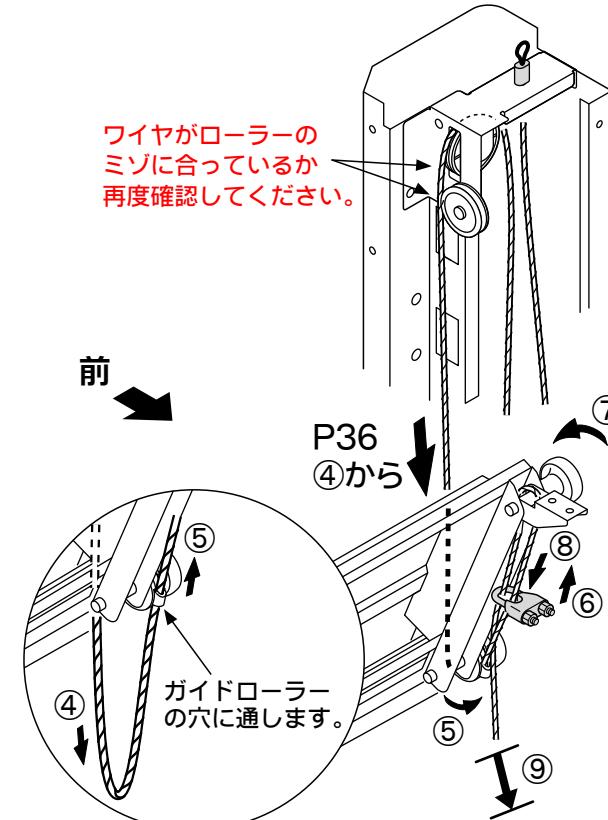
## 21. ワイヤの組立

- 扉を持ち上げ、ワイヤを取り付けます。
- ※扉が転げ落ちない様に、必ず車止めをしてください。

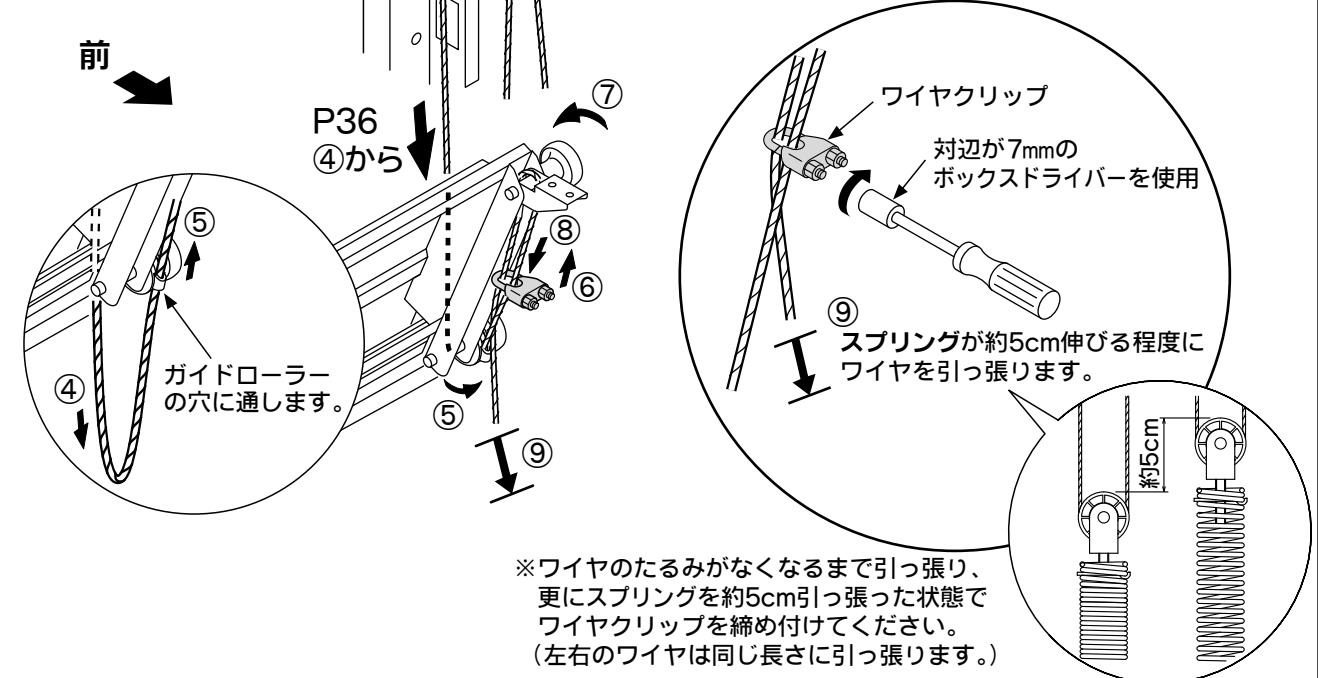
使用部品	
ワイヤクリップφ4用	2
裸圧着スリーブ	2



1. ワイヤを扉パネル下に取り付けます。  
※扉パネル下と前カバーの下面を揃えた状態で作業を行ないます。



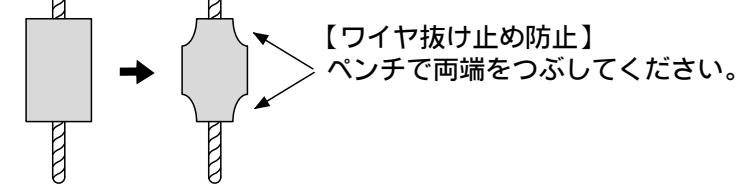
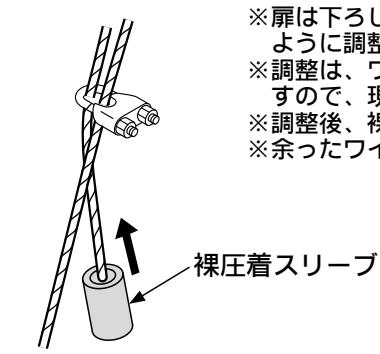
2. ワイヤを固定する。  
※扉パネル下と前カバーの下面を揃えた状態で作業を行ないます。



※ワイヤのたるみがなくなるまで引っ張り、更にスプリングを約5cm引っ張った状態でワイヤクリップを締め付けてください。  
(左右のワイヤは同じ長さに引っ張ります。)

### 扉バランスの調整を必ず行ってください。

- ※扉は下ろした状態で手を離しても停止する(バネ張力と扉の重量のバランスをとる)ように調整します。
- ※調整は、ワイヤの引っ張りで行ないます。スプリングの約5cmの引っ張りは目安ですので、現状に応じて調整してください。
- ※調整後、裸圧着スリーブを下図のように取り付けてください。
- ※余ったワイヤをペンチやニッパー等で切断してください。

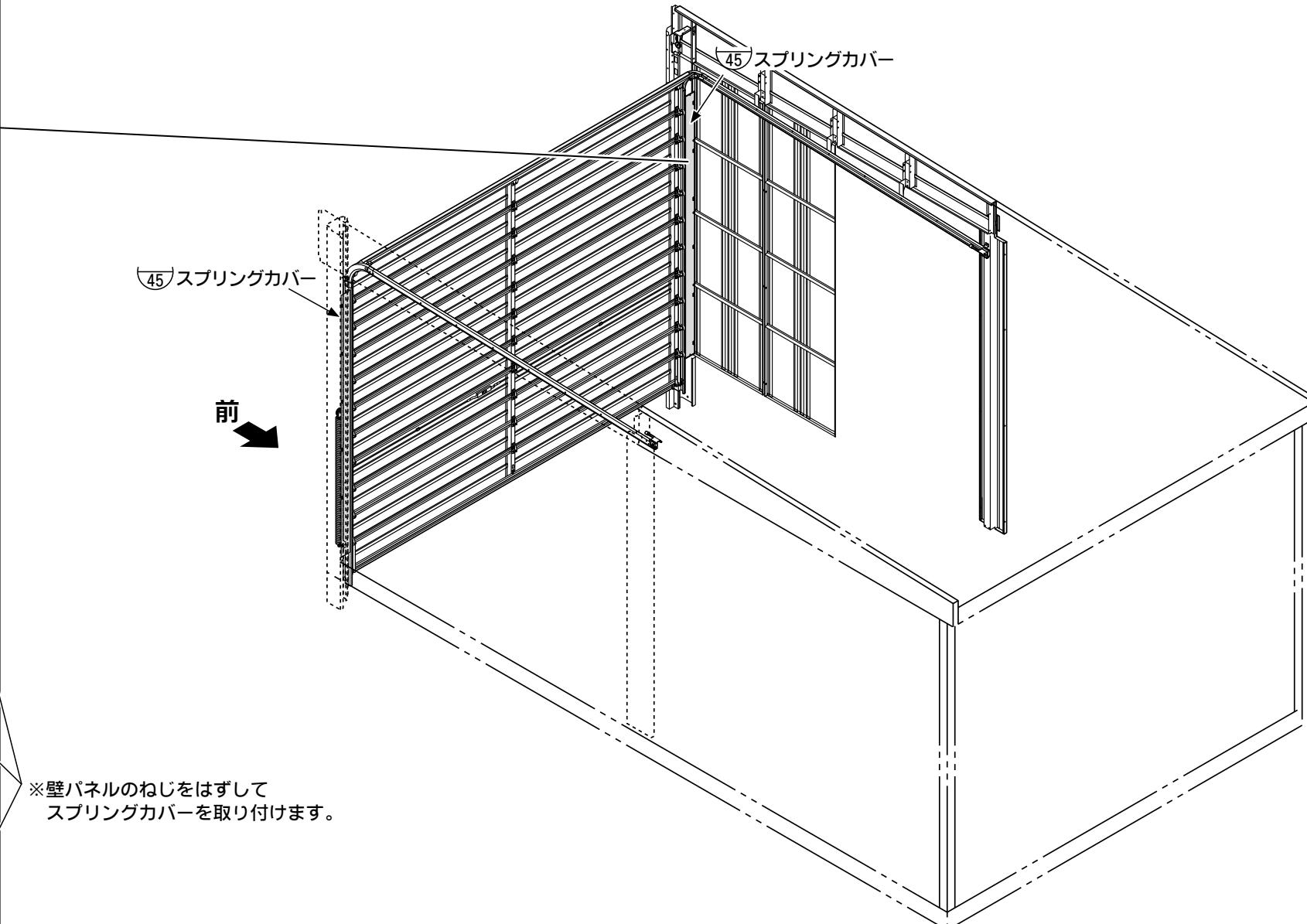
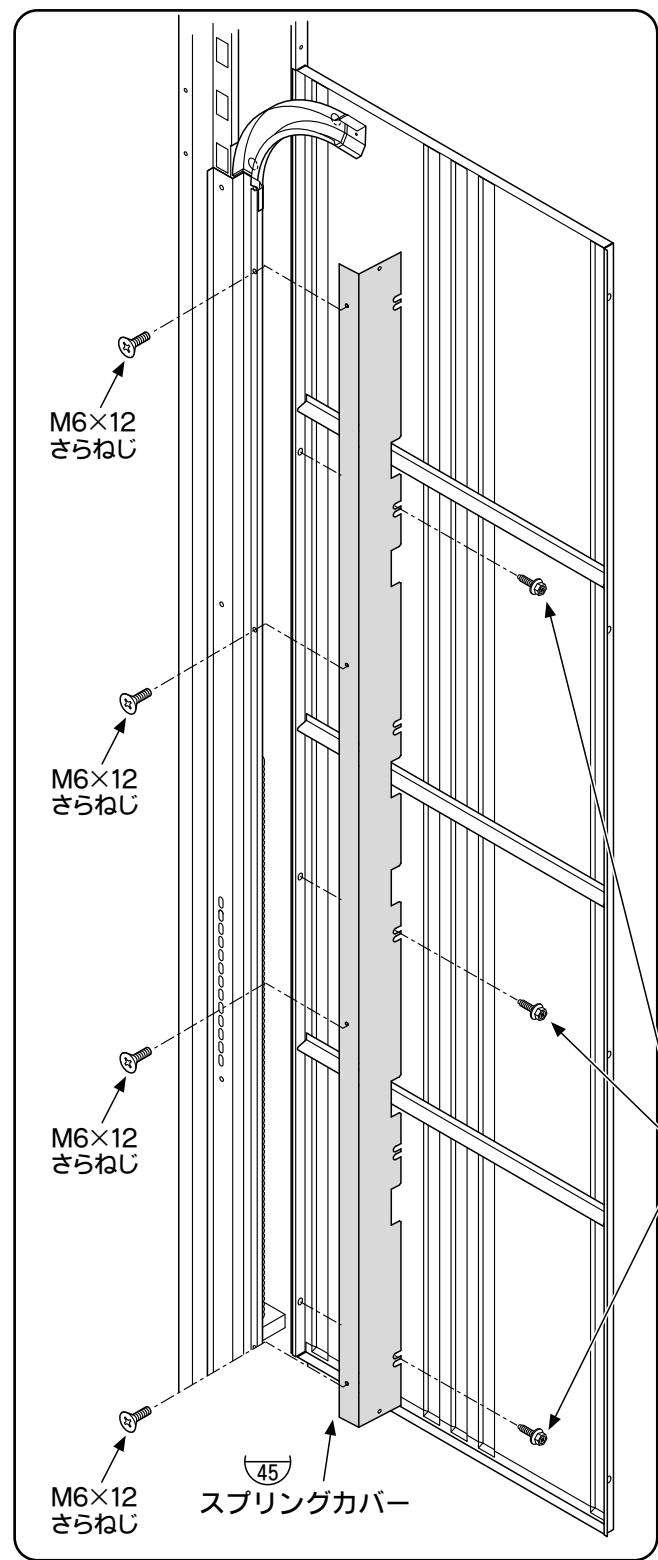


## 22.スプリングカバーの組立

※錐穴の調整は、土間作業の後に行います。49ページの【31.錐穴の調整】をご参照ください。

### 使用部品

④5	スプリングカバー	2
M6×12さらねじ	(皿小 M6×12)	8



※組立が終わったら  
P44へ

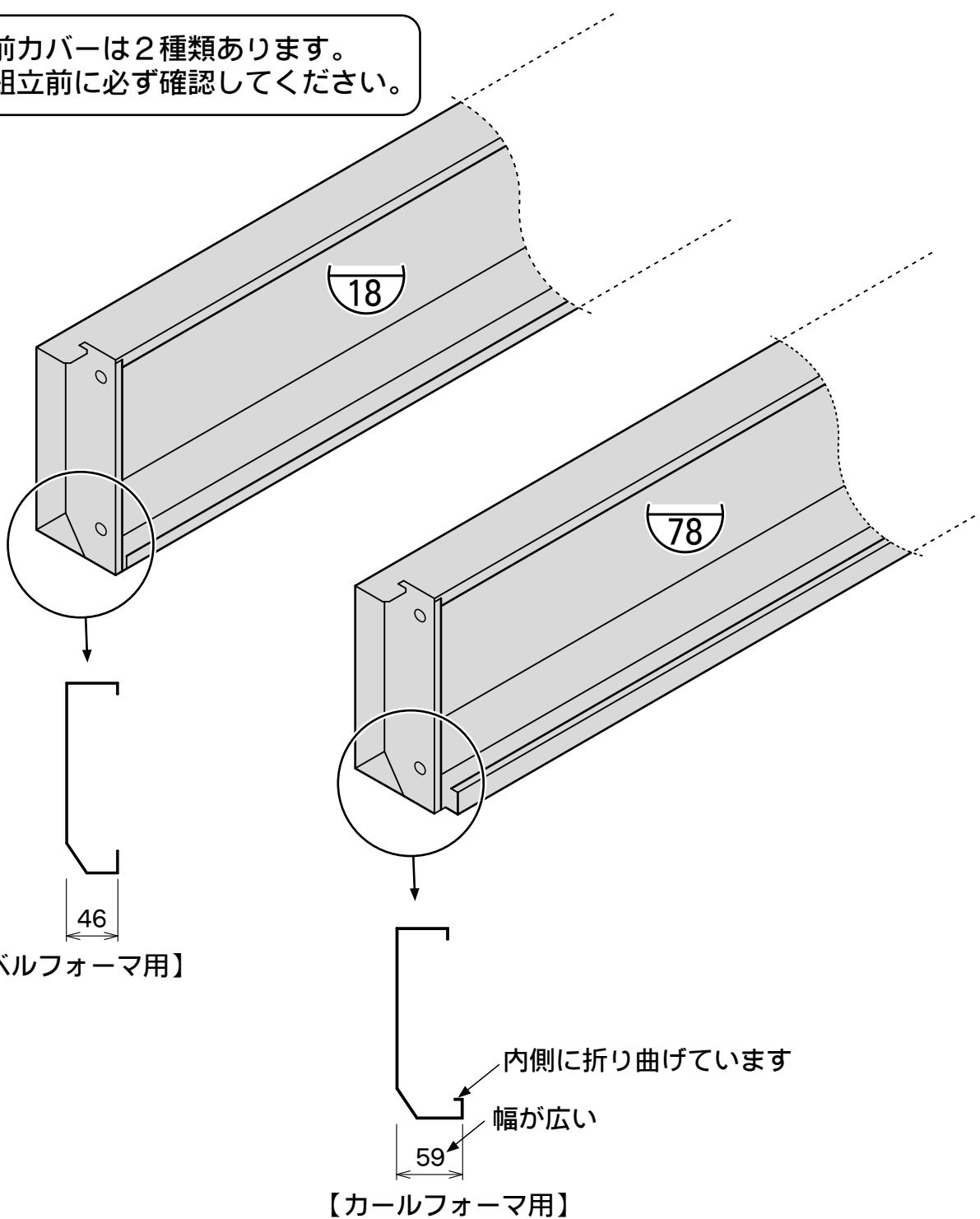
# 【カールフォーマ用 巻取シャッター扉 の取付方法 : P40~43】

※電動巻取シャッター（オプション）は別途組立説明書があります。

## 23. 巻取シャッター用前カバーの確認・ガイドレールのカット

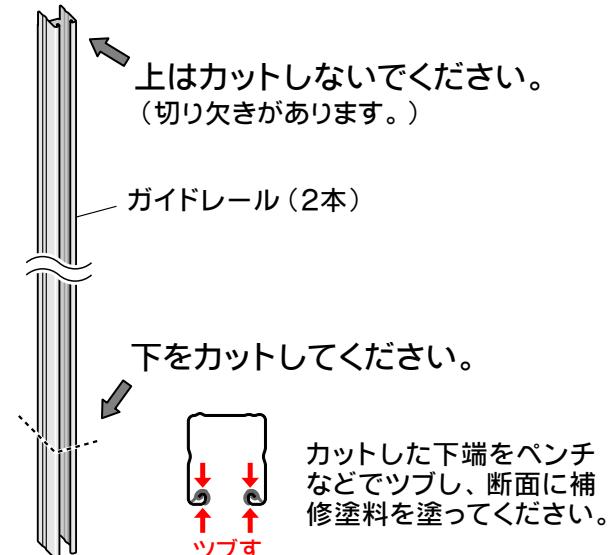
- 前カバーの組み立て方はP26をご確認ください。

前カバーは2種類あります。  
組立前に必ず確認してください。



### ■ガイドレールのカット

ガイドレールを基礎・土間コンクリートに埋め込むと、後々のメンテナンスや修理に不都合が生じる場合があります。取付前に、ガイドレールをカットしてください。



### ■寸法計算方法

- A (ガイドレール上端から基礎天までの長さ)
- B (基礎の高さ: 現場で計測してください)
- C (計算値)
- D (土間の高さ+10mm)

	ガイドレールの全長	A
YS型	2320	1920
YM型	2620	2233
YL型	3020	2720
YS高基礎型	2620	2233
YM高基礎型	3020	2720

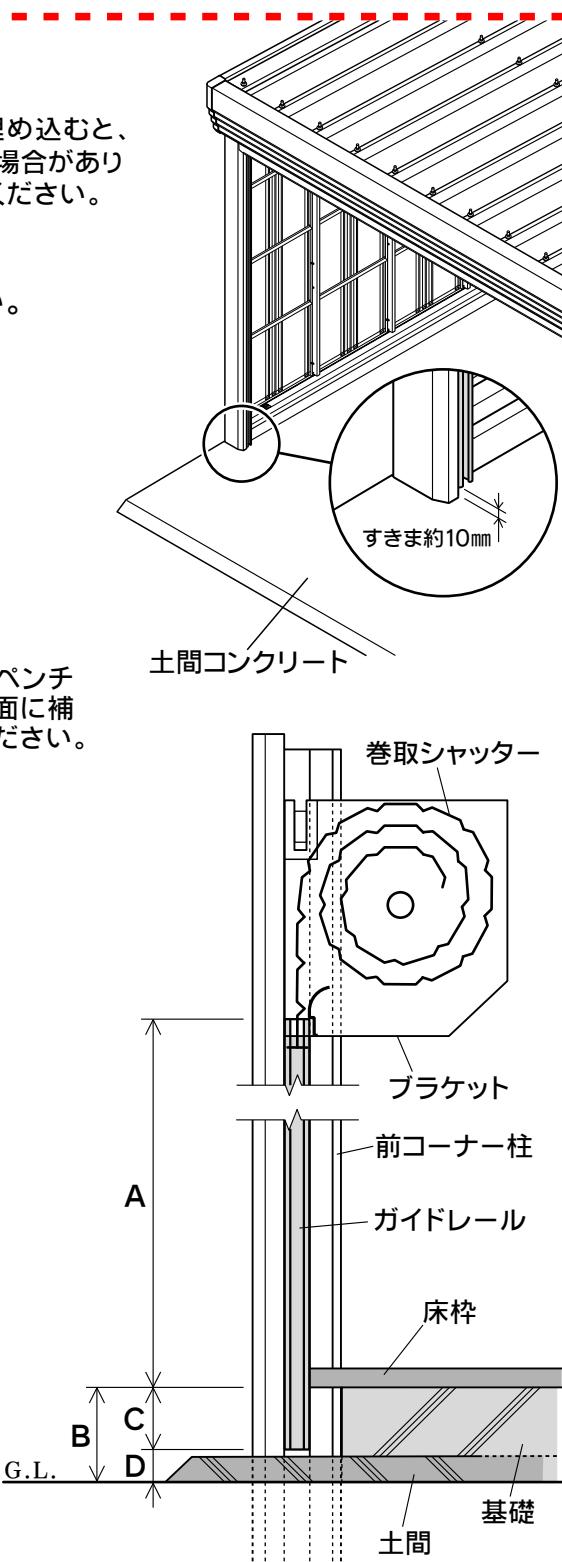
#### ●計算式

$$B - D = C$$

$$A + C = \text{カット後の寸法}$$

#### ●(例)

YM型で基礎高さ150mm・土間高さ40mmの場合  
 $150 - 50 = 100\text{ (mm)}$   
 $2233 + 100 = 2333\text{ (mm)}$   
 ガイドレールの長さを2333mmにカットしてください。



## 24-1. 巻取シャッターの組立

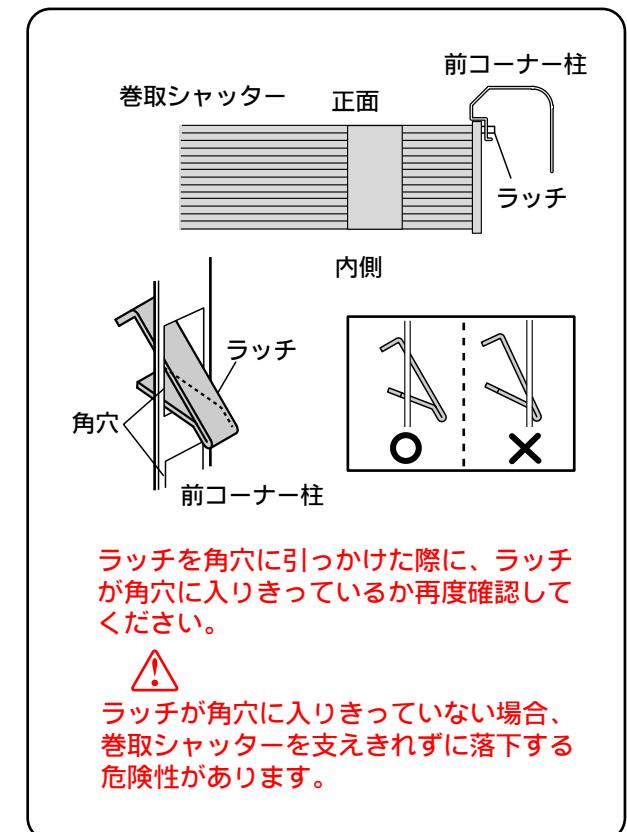
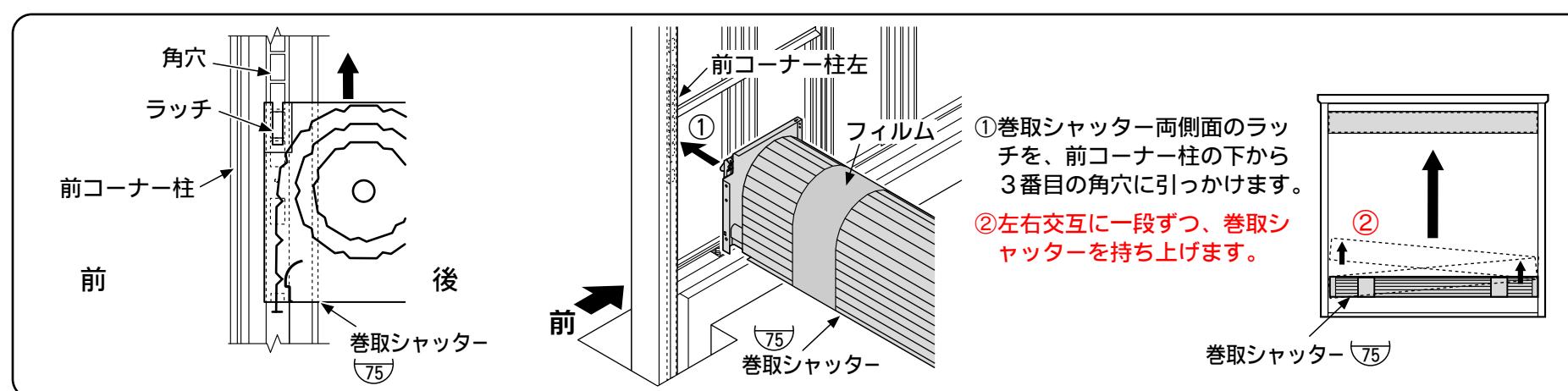
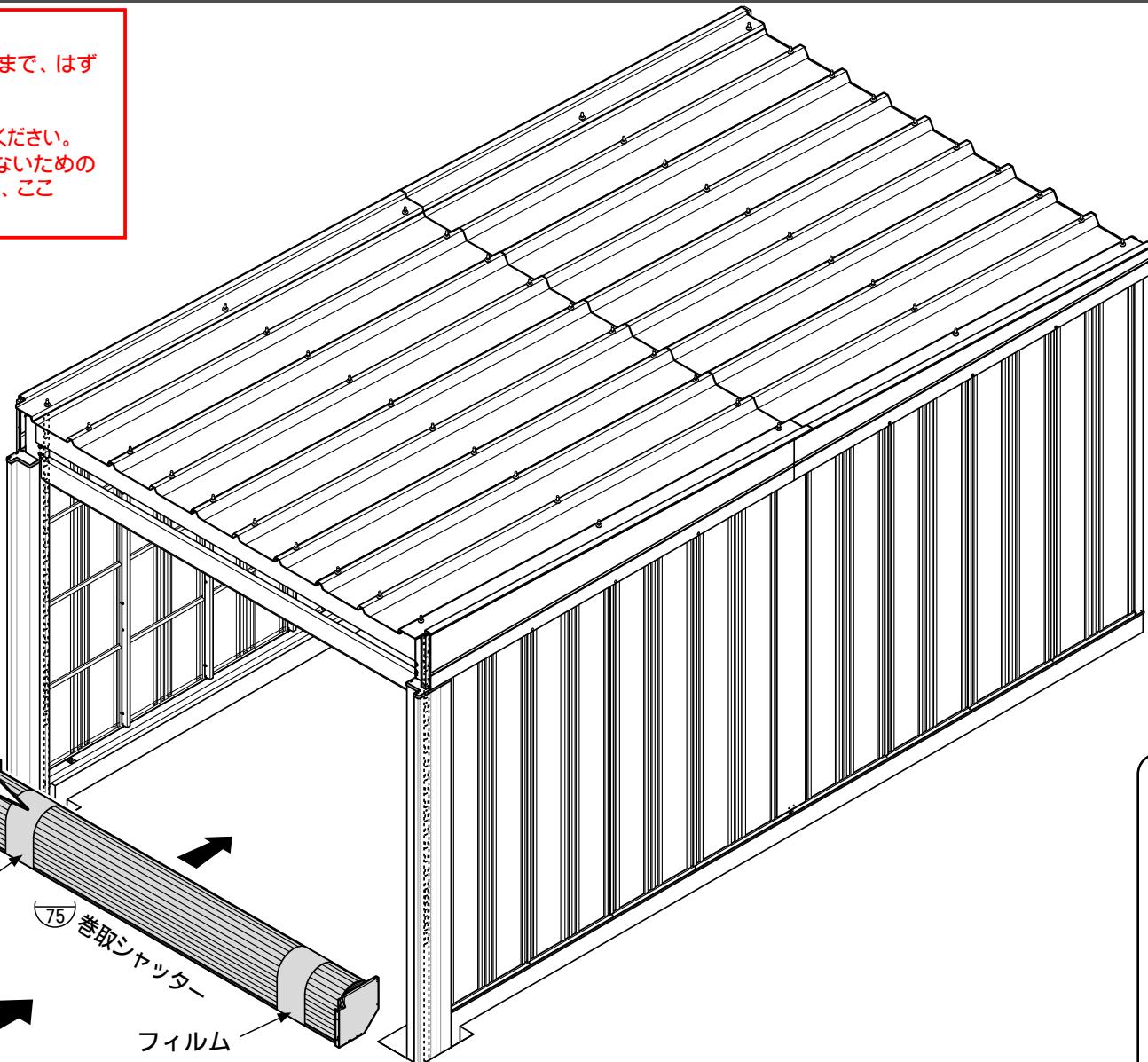


**注意**

- この作業は、必ず2人以上で行ってください。
- フィルムは、シャッターを本体にネジ止めするまで、はずさないでください。
- 組立前に、シャッター内側に貼り付けてあるシャッター引き下げ棒とホイルカバーをはずしてください。
- シャッター両端の下に、シャッターが巻き戻らないための固定金具(P43参照)が取り付けてあります。ここではまだはずさないでください。

使用部品

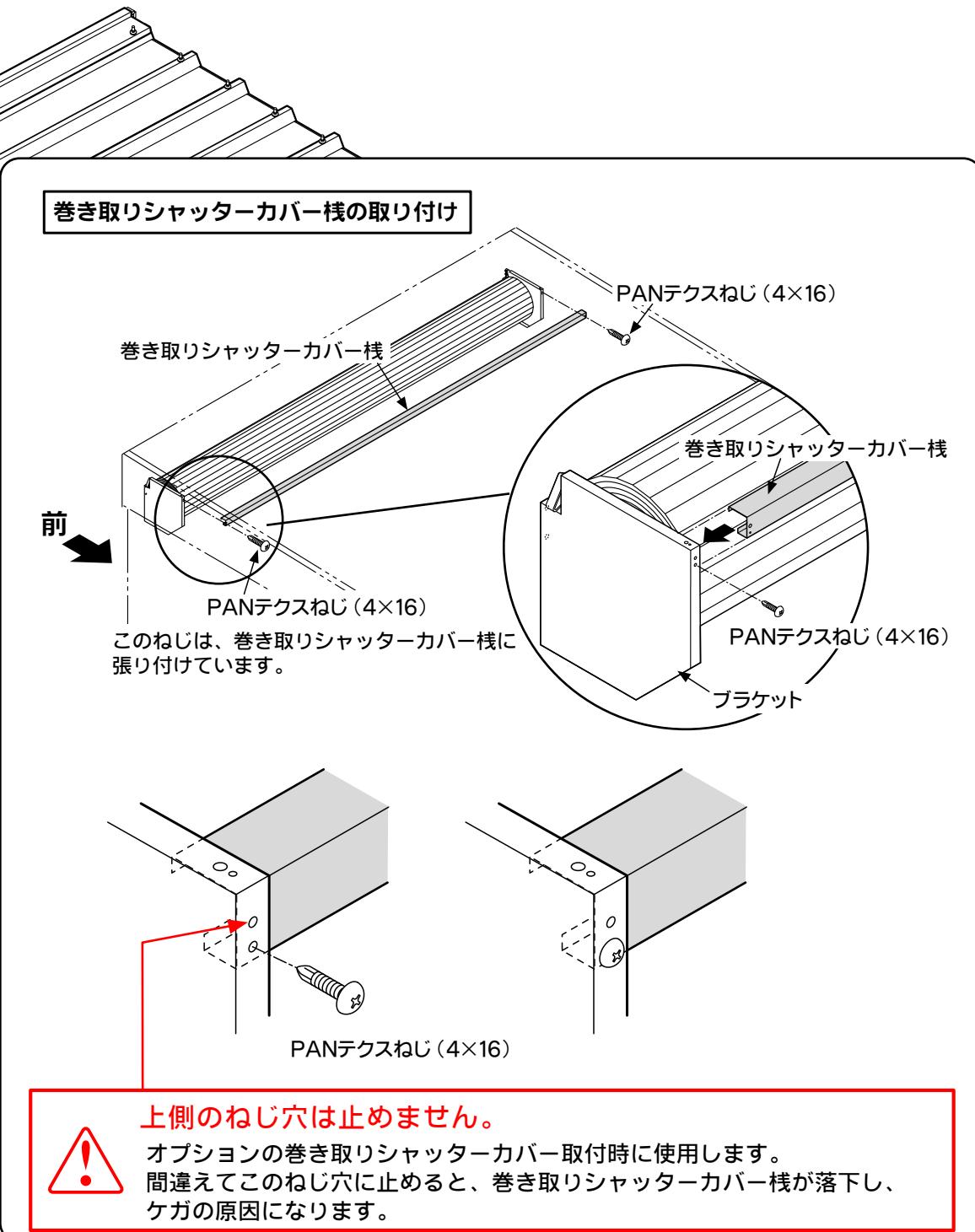
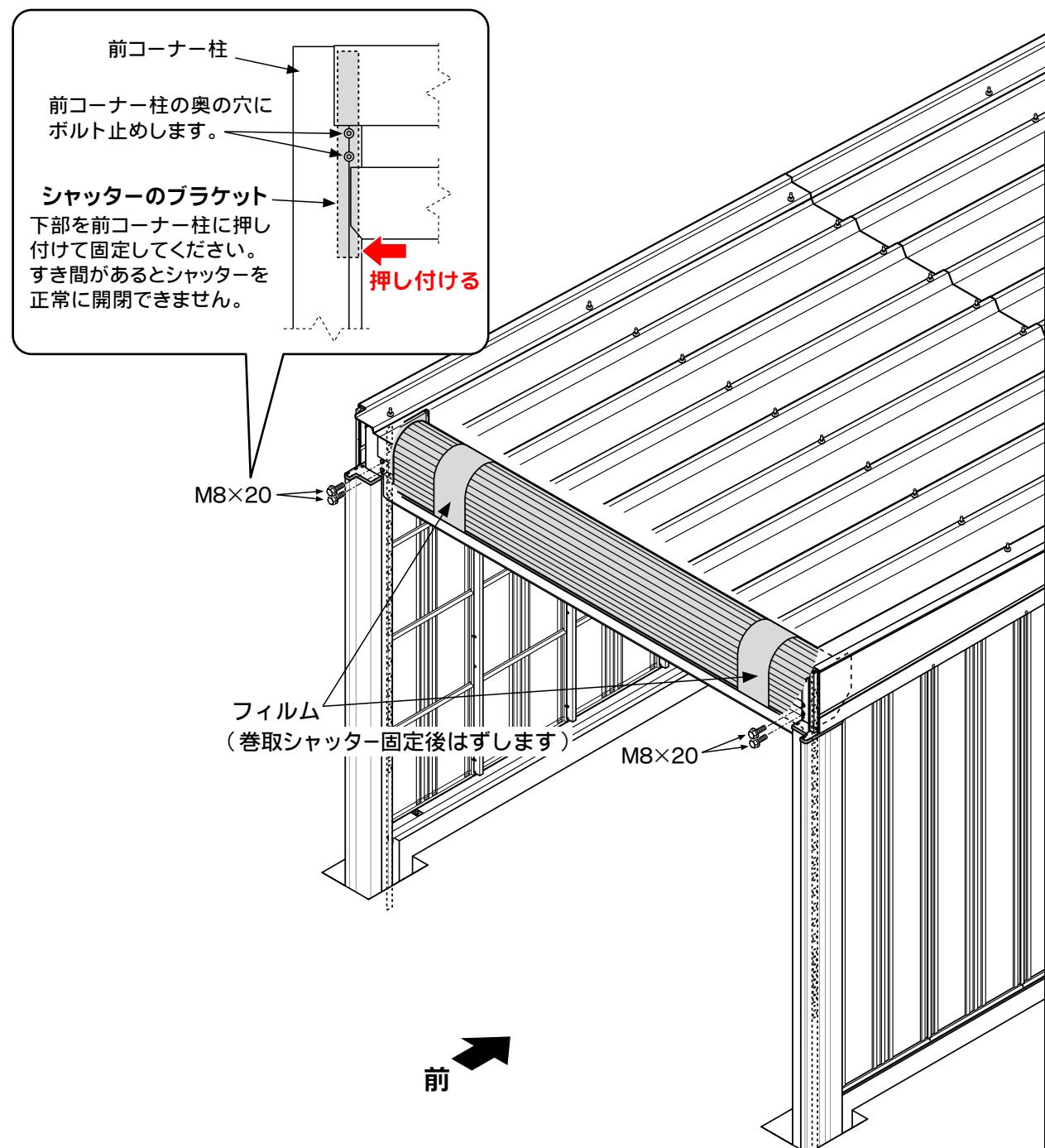
⑦5 巻取シャッター 1



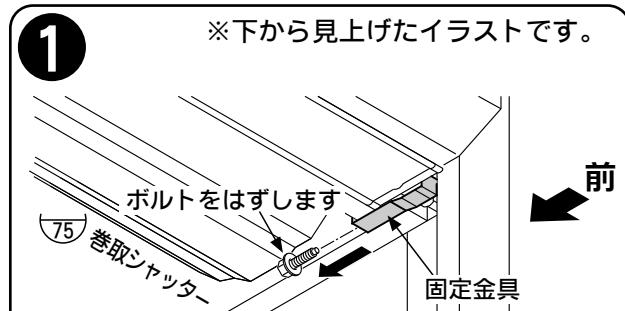
## 24-2. 巻取シャッターの組立

### 使用部品

M8×20六角ボルト	4 (フランジボルト M8×20 あら先)
PANテクスねじ	2 (MBテクス PAN 4X16)
巻き取りシャッターカバー棟	1

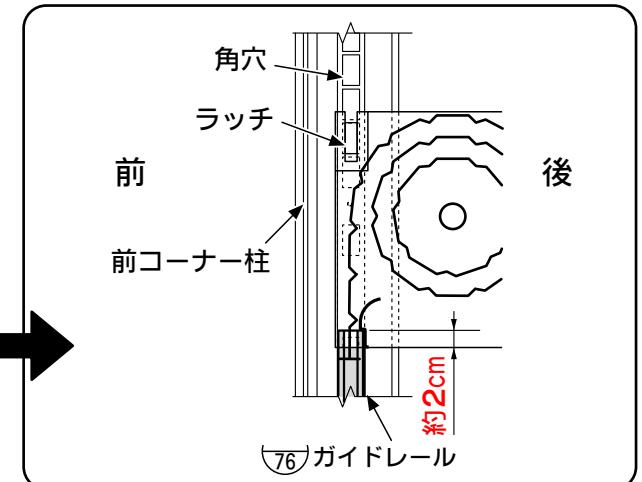


#### 25. 卷取シャッターのガイドレール取付

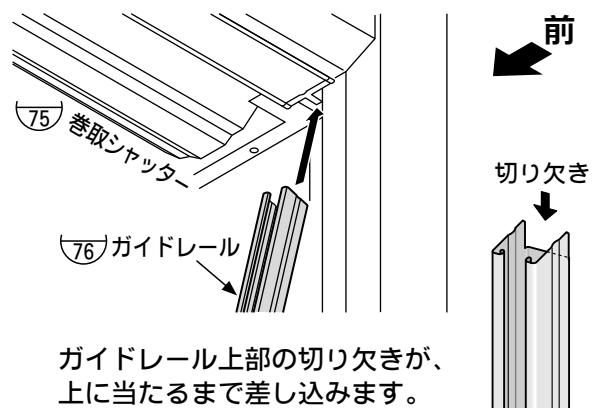


ガイドレールを取り付ける前に、ボルトをはずして固定金具を取り除きます。

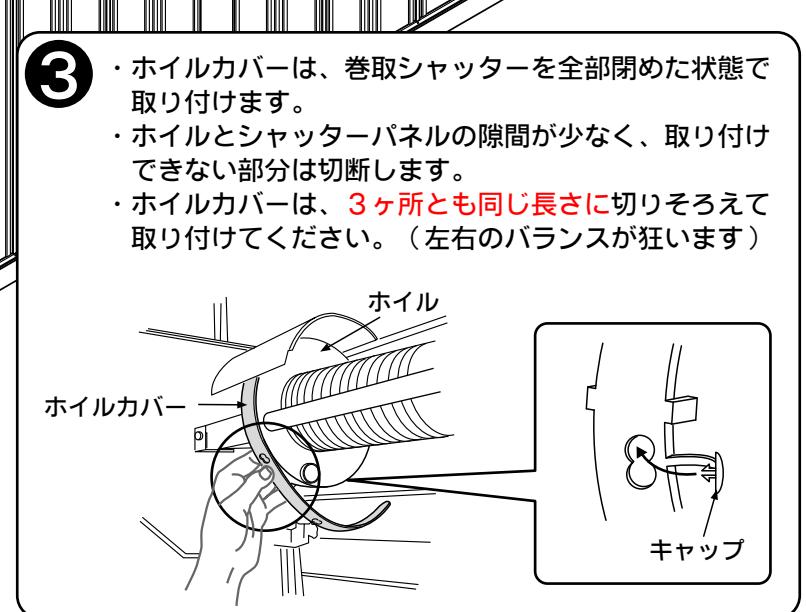
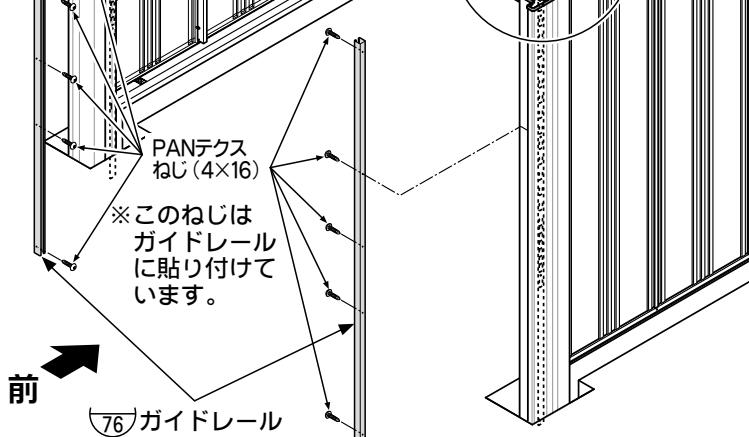
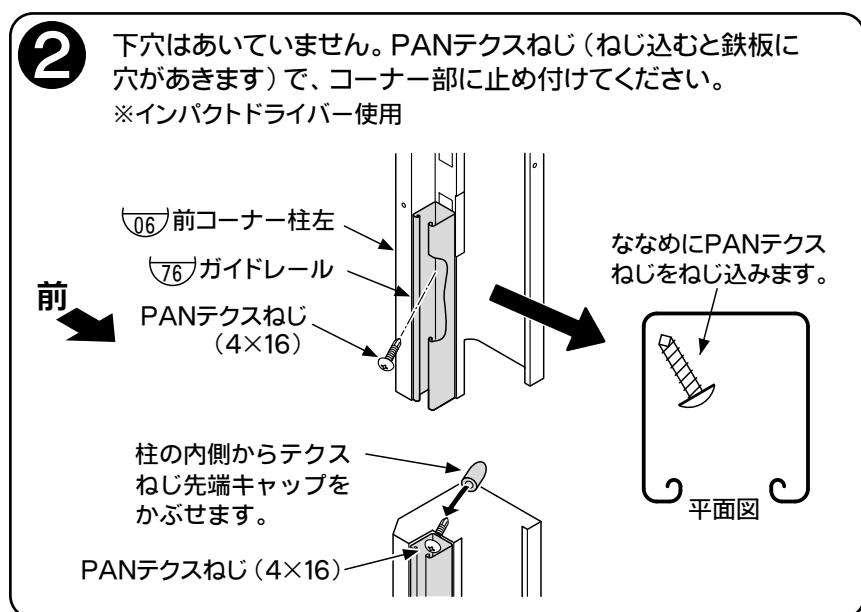
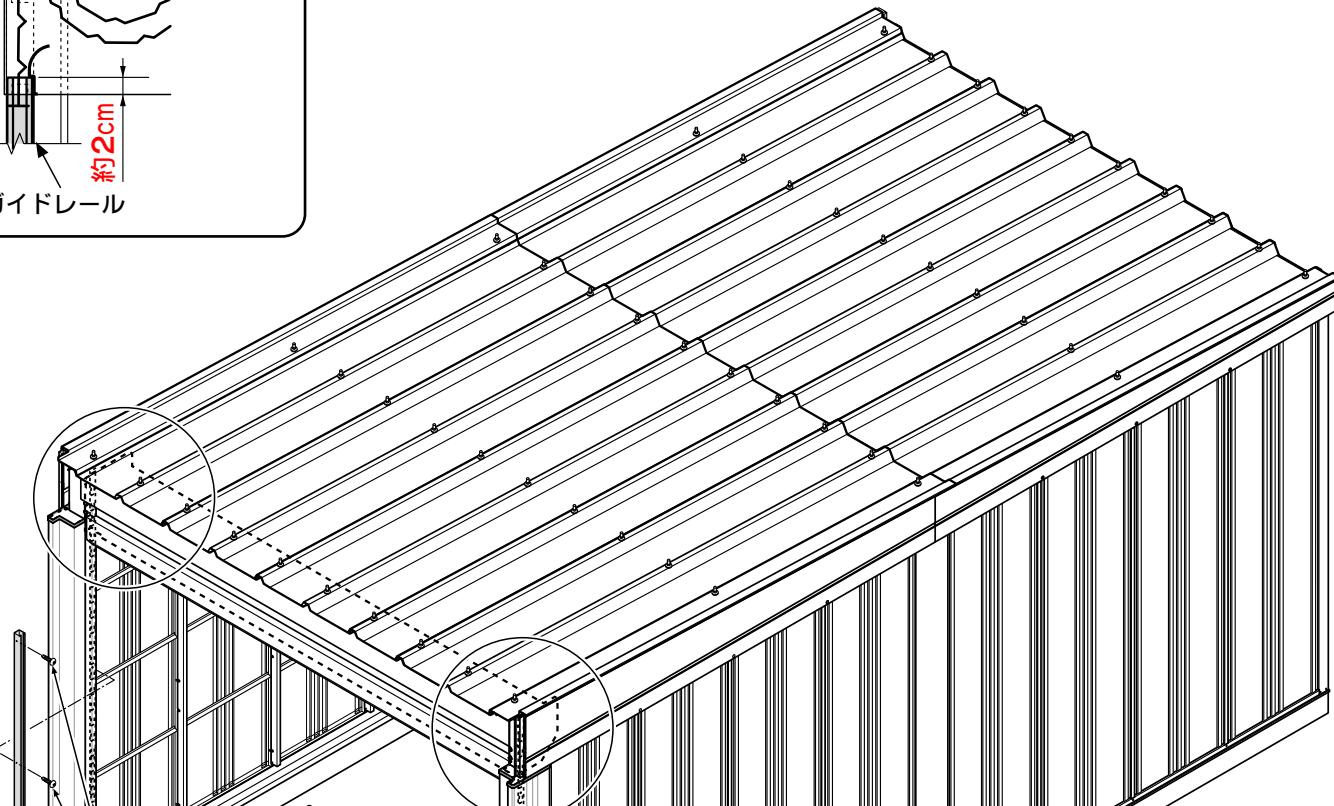
**注** ガレージを解体・移設する時は、必ずシャッターを固定金具で固定してください。そのため、固定金具を保管するよう心がけてください。



使用部品	
(76) ガイドレール	2
PANテクスねじ (MBテクス PAN 4X16)	10
テクスねじ先端キャップ	10
ホイルカバー	3



ガイドレール上部の切り欠きが、  
上に当たるまで差し込みます。

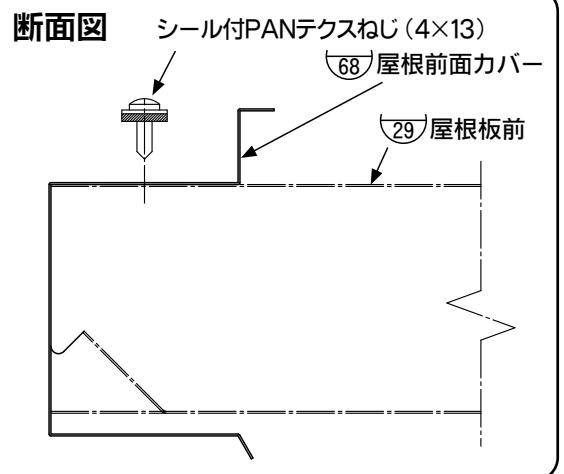
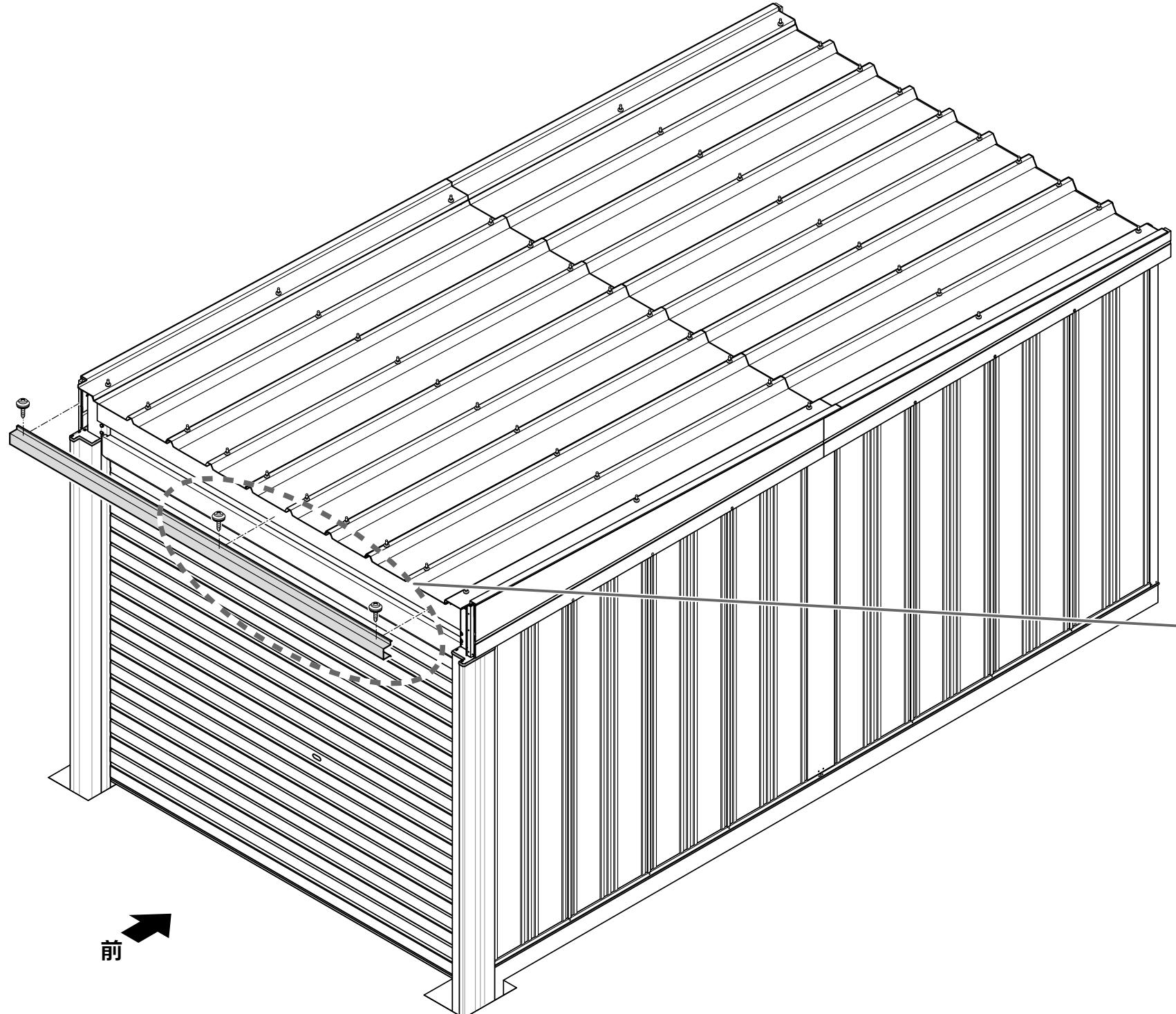


## 26. 屋根前面カバーの組立

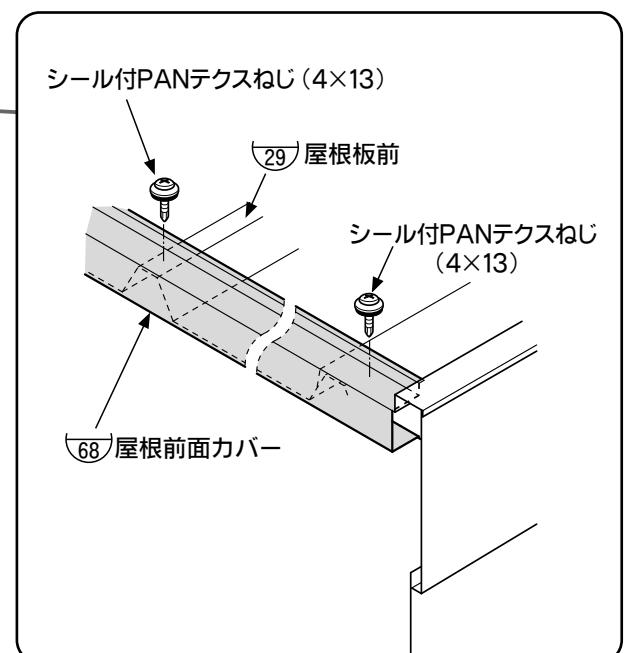
### 使用部品

⑥8 屋根前面カバー 1  
シール付PANテクスねじ (4×13) 3  
(ヒアスホソテルワツジャ PAN 4×13)

**注意:** シール付PANテクスねじ (4×13) により生じた切り粉は取り除いてください。  
サビ発生の原因になります。

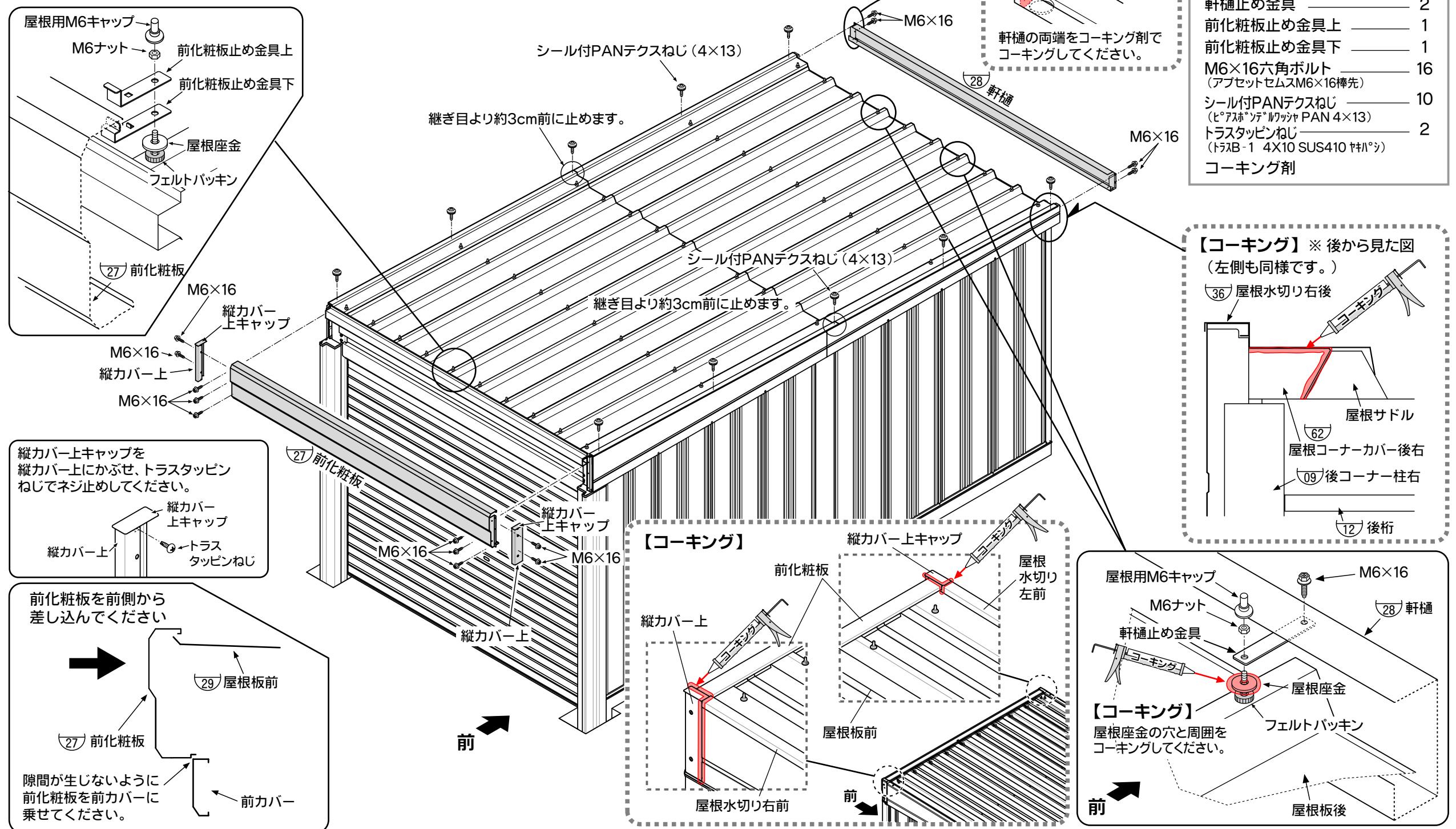


\*屋根前面カバーに穴はあいていません。  
両端と中央付近の屋根上面にインパクト  
ドライバーで取り付けてください。



## 27. 前化粧板・前化粧板止め金具・軒樋・軒樋止め金具の組立

- 屋根水切りと左右化粧板をシール付PANテクスねじ(4×13)で固定します。(下穴は開いていません。)  
△ シール付PANテクスねじ(4×13)により生じた切り粉は、取り除いてください。サビ発生の原因になります。
- 軒樋止め金具を取り付ける位置の屋根座金に、コーティング剤を塗ってください。
- 軒樋を取付ける前に、屋根コーナーカバー後左右(61)(62)部周辺と軒樋の両端に、コーティング剤を塗ってください。
- 縦力バー上キャップの上部と、縦力バー上と左右化粧板との接地部分に、コーティング剤を塗ってください。
- 今までに締めたネジを全て、もう一度きつく締め直してください。

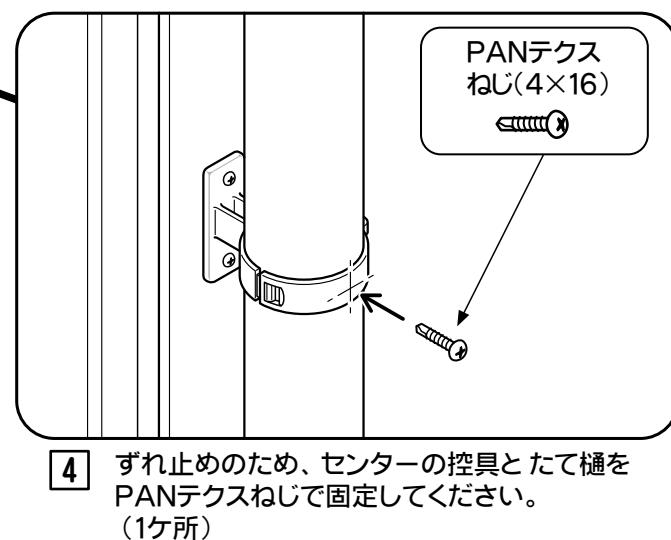
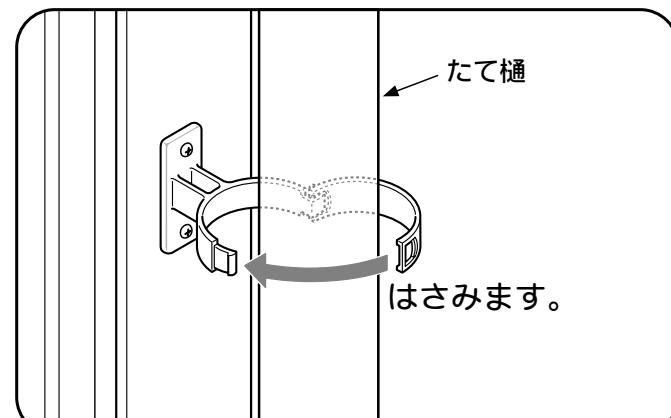
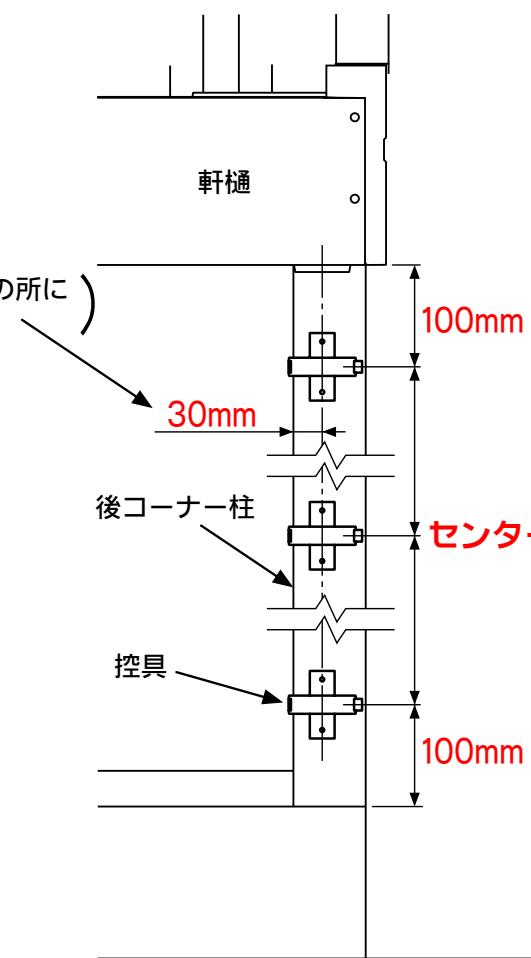
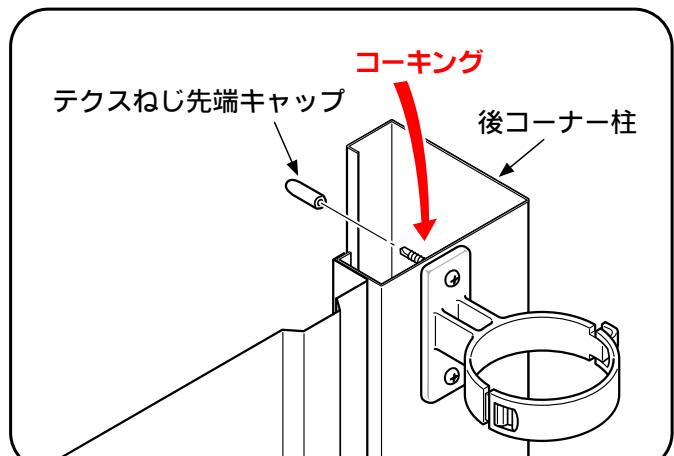
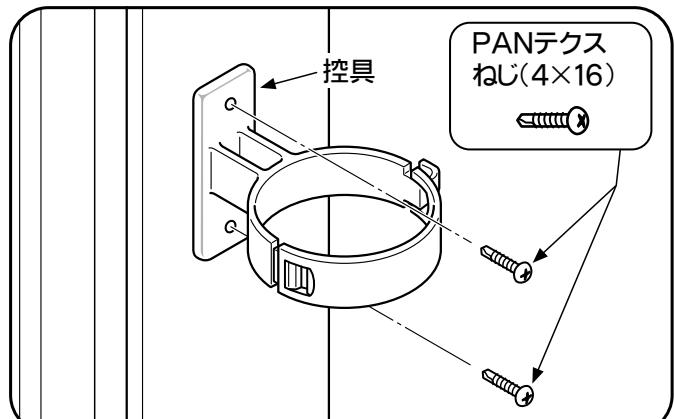
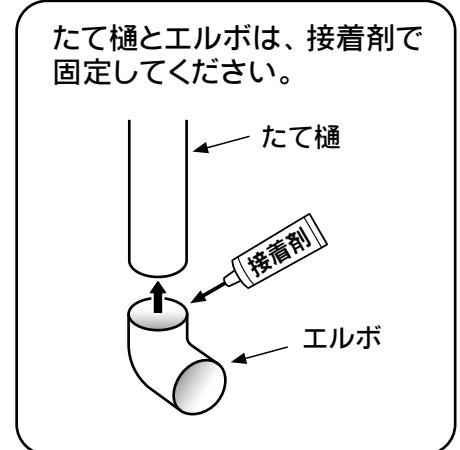
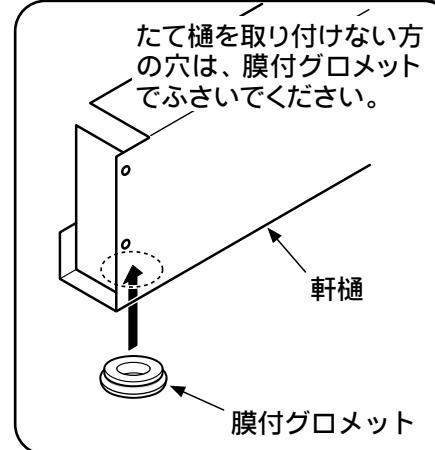
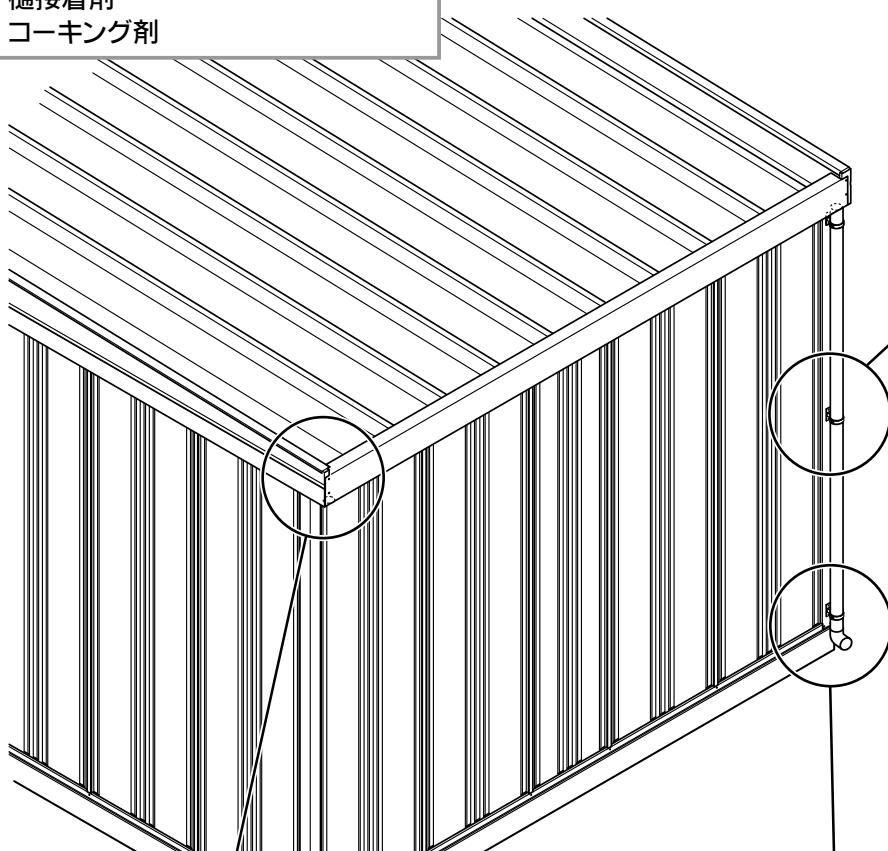


## 28.たて樋の組立

### 使用部品

たて樋	1
控具	3
PANテクスねじ (MBカス PAN 4X16)	7
テクスねじ先端キャップ	6
エルボ	1
膜付グロメット (SG-50F)	1
樋接着剤	
コーティング剤	

●たて樋は左右どちらでも取り付けられます  
が、後で変更するとネジ穴が残りますので  
あらかじめ取り付ける位置を、よく確認して  
おいてください。  
※XS型・YS型のたて樋は、長めのサイズに  
なっています。カットしてご使用ください。



## 29.ねじキャップ、穴キャップ、ねじ穴キャップ、台枠穴カバーの取付

### 使用部品

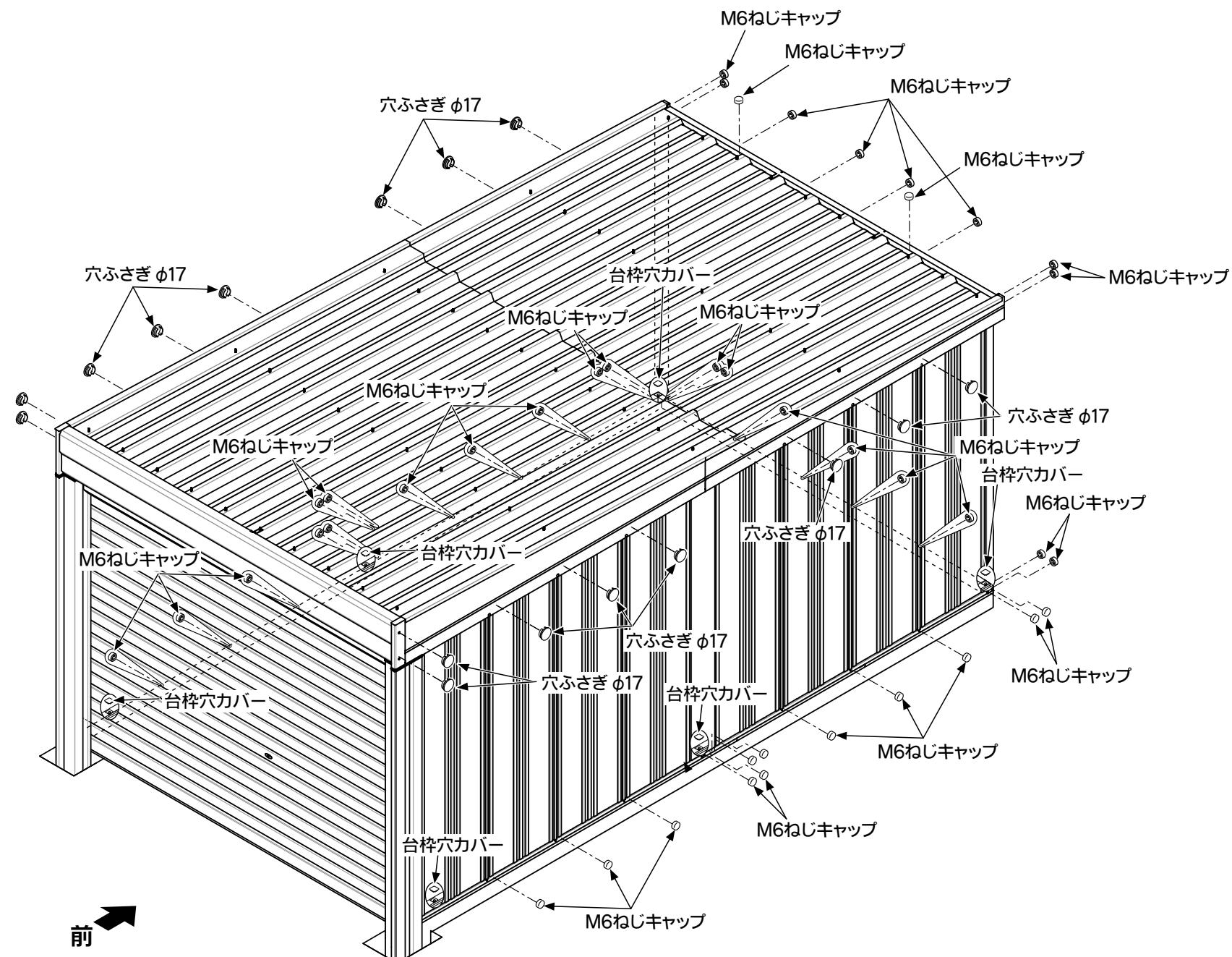
M6ねじキャップ  
(アイボリーブラック)

2753	38
2760/3153/3453	40
2765/3160/3460	42
3165/3465	44

穴ふさぎ φ17  
(アイボリーブラック)

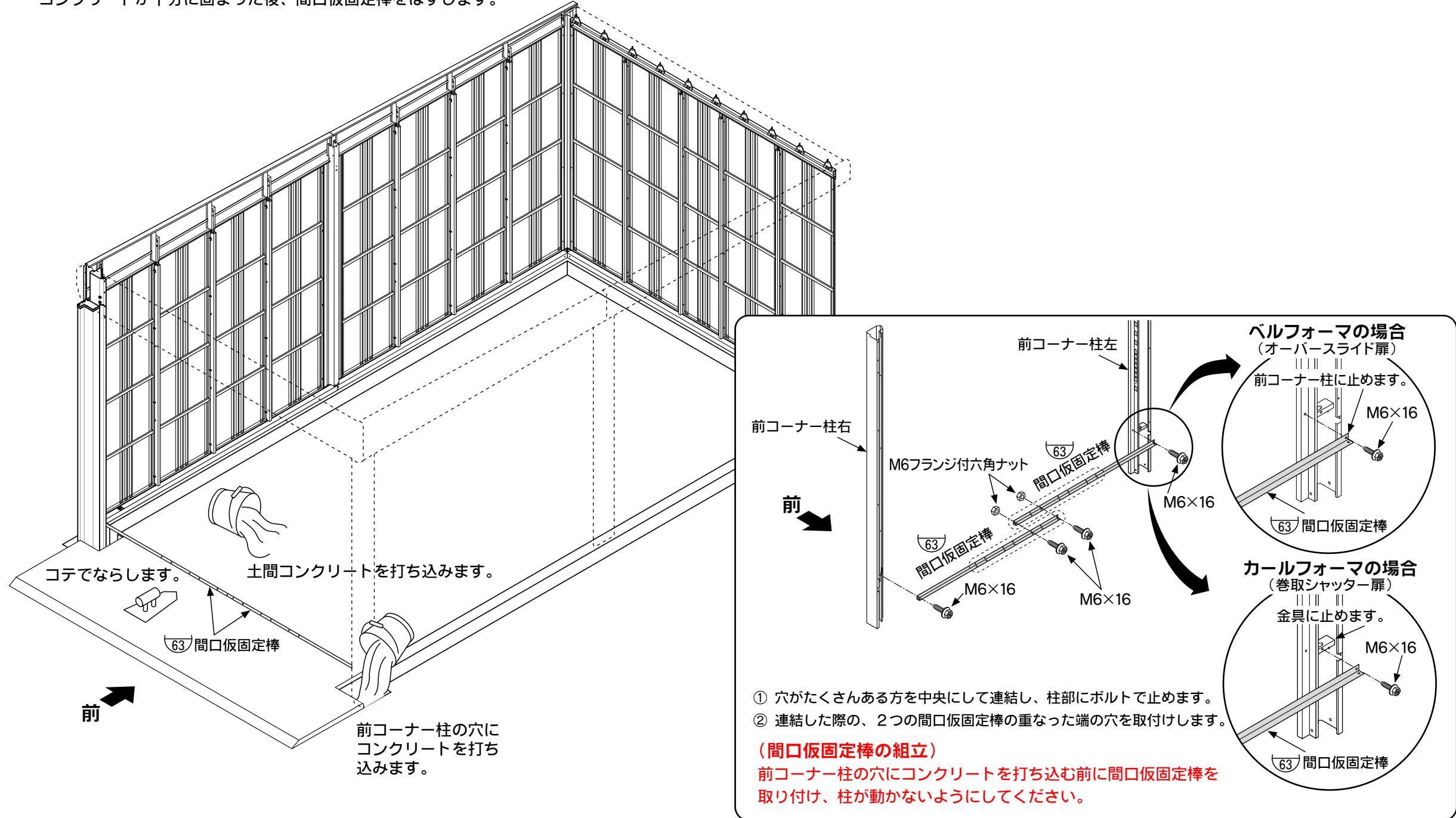
2753/3153/3453	14
2760/3160/3460	16
2765/3165/3465	18

台枠穴カバー ————— 6

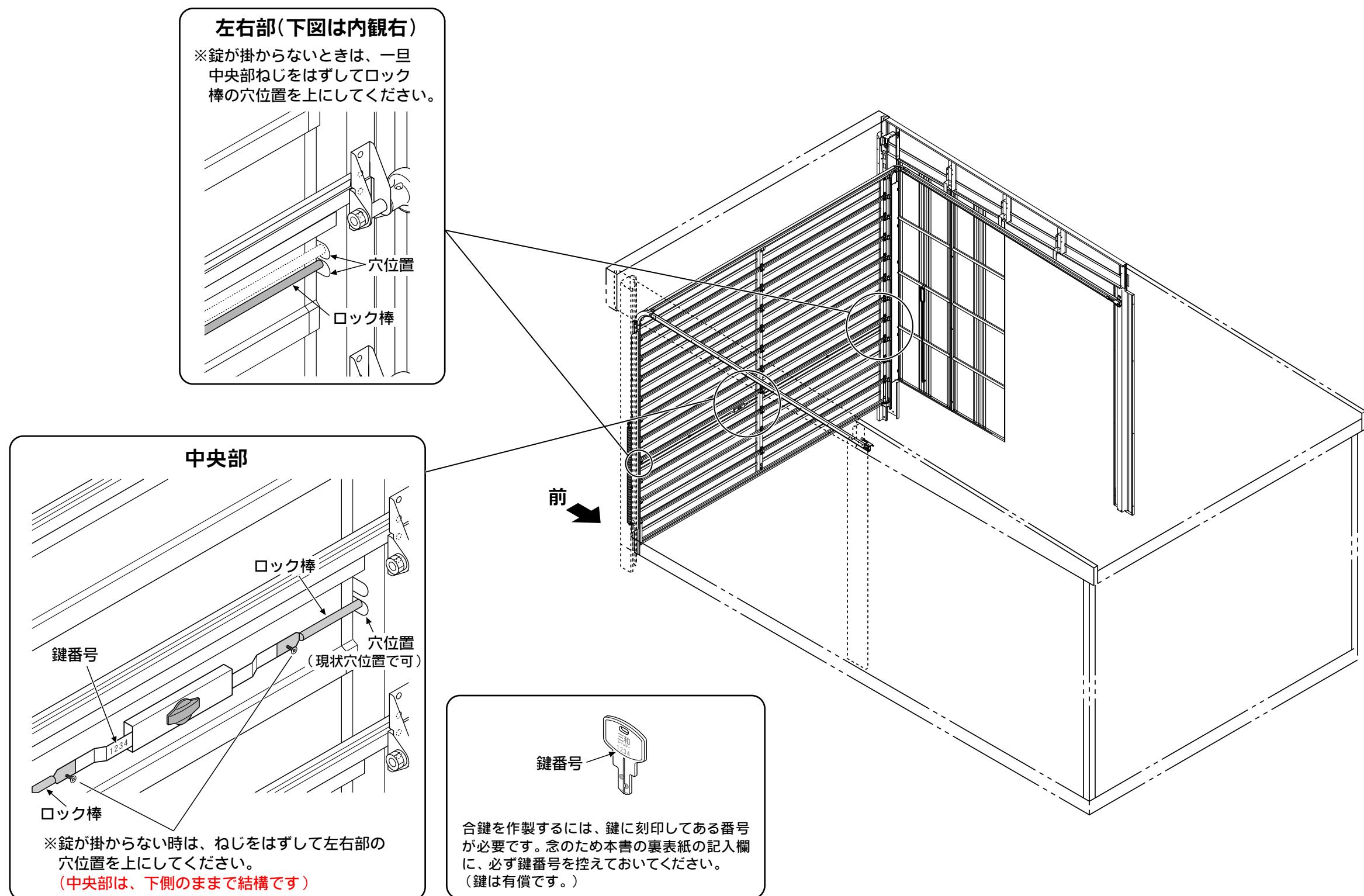


## 30. 土間作業

- ・土間作業を行う前に、扉がスムーズに開閉できるか確認してください。  
もし、扉のたてつけが悪いときは、前コーナー柱を微調整してください。
- ・転倒予防のため、必ず転倒予防措置を行ってください。
- ・11~14ページの基礎施工図を参照してください。
- ・前コーナー柱の穴にコンクリートを打ち込みます。
- ・土間コンクリートを打ち込み、コテでならします。
- ・コンクリートが十分に固まった後、間口仮固定棒をはずします。

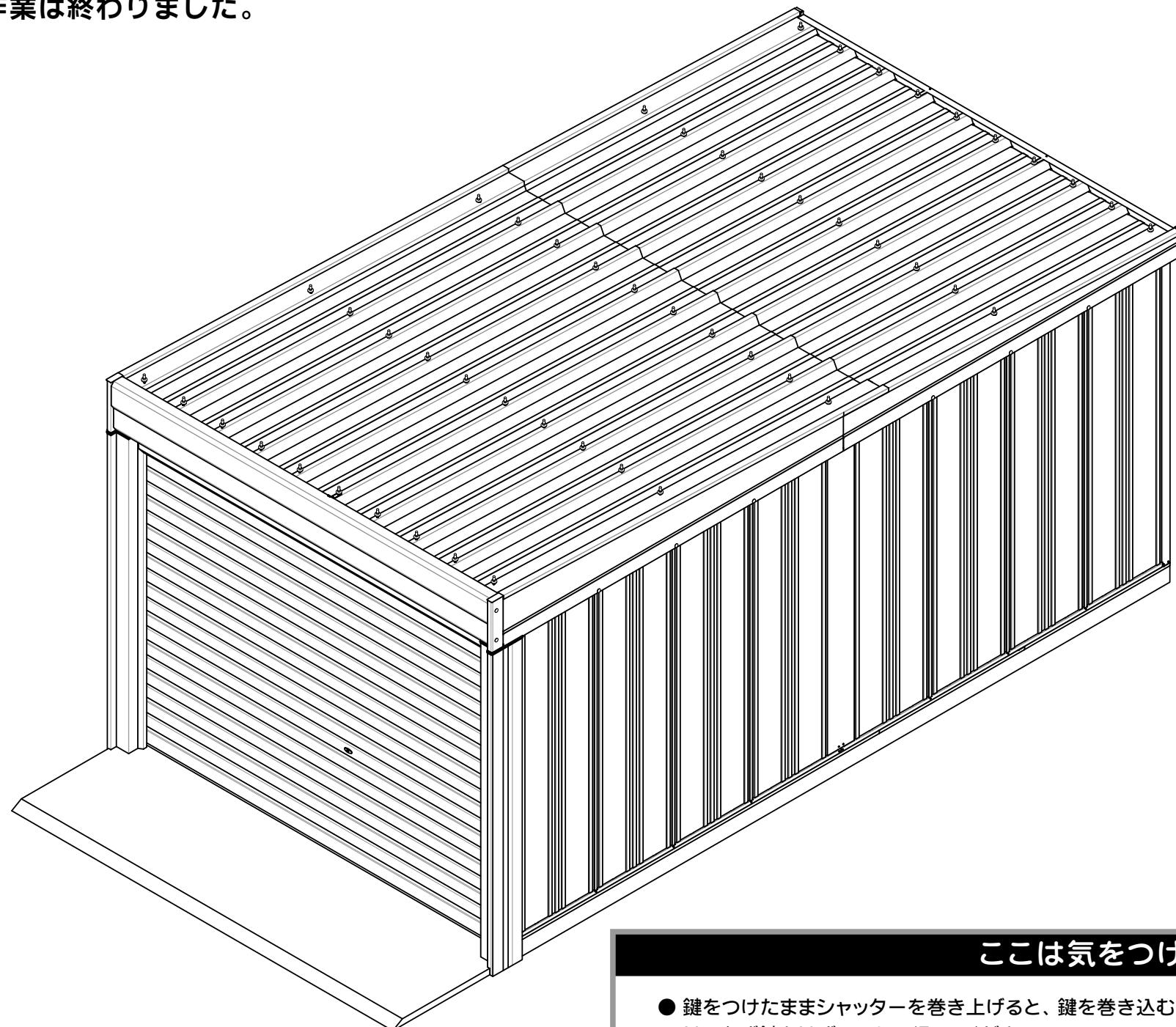


### 31. 錠穴の調整（ベルフォーマスクード：オーバースライド扉の場合）



## 32. 完成

これで組立作業は終わりました。



### ここは気をつけて！

- 鍵をつけたままシャッターを巻き上げると、鍵を巻き込む恐れがありますので、シャッターの巻き上げは、必ず鍵をはずしてから行ってください。
- シャッターの鍵は2本ありますが、本鍵と合鍵に分けて、紛失しないように保管してください。（鍵をかけたまま、なくされるお客さまが多くおられます。）もし、2本の内1本をなくされた場合は、お早めに購入された販売店までお問い合わせください。（合鍵を作製するには鍵に刻印してある番号が必要です。念のため、本書の裏表紙の記入欄に、必ず鍵番号を控えておいてください。なお、鍵は有償です。）

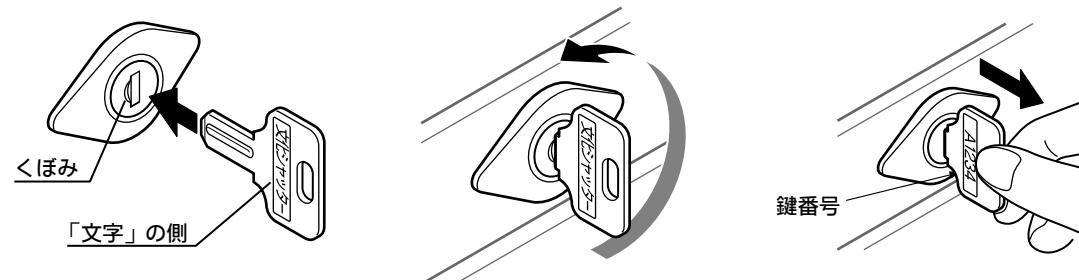
### 33. カールフォーマスクード：巻取シャッターのご使用方法

#### ！注意

- カギをかける前に、シャッターが下端まで完全に閉鎖していることを、必ず確認してください。
- ロックバーを持って開閉しないでください。バーが曲がってカギがかかりにくくなる恐れがあります。

#### 開け方

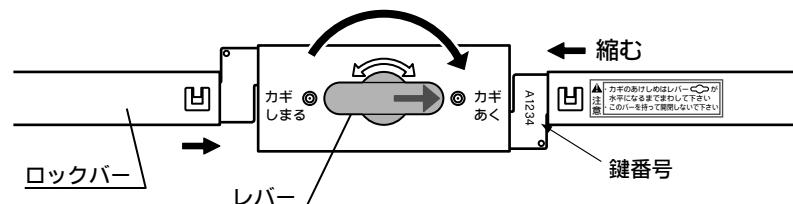
##### 1 カギを開ける〈屋外から〉



カギ穴のくぼみと、「文化シャッター」の文字の側を合わせてカギを差し込み、反時計回りに半回転させます。

必ず、カギを抜いてからシャッターを開けてください。

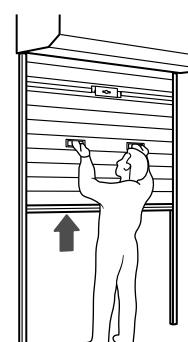
##### カギを開ける〈庫内から〉



レバーを時計回りに半回転させ、矢印シールを「カギあく」の向きに合わせます。レバーは水平になるまで回してください。

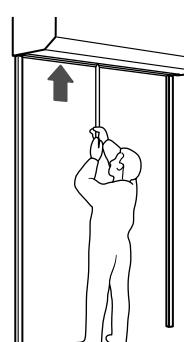
#### 2

手掛けを持って、水切りが胸の位置にくるくらいまで静かに引き上げます。



#### 3

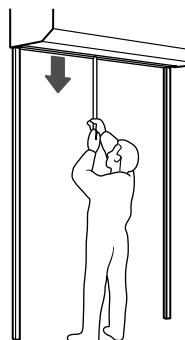
シャッター引き下げ棒を水切りの穴に掛け、静かに押し上げます。



#### 閉め方

##### 1

シャッター引き下げ棒を水切りの穴に引っかけ、胸の位置くらいまで静かに引き下げます。

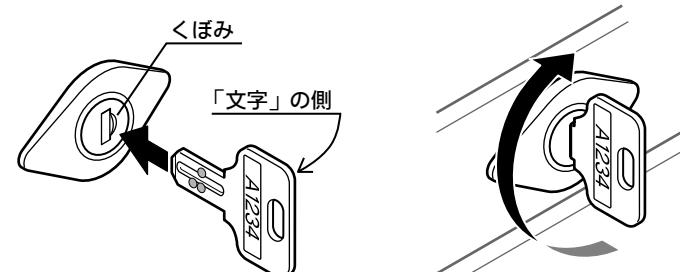


##### 2

シャッター引き下げ棒をはずし、手掛けを持って最下部まで静かに下げます。



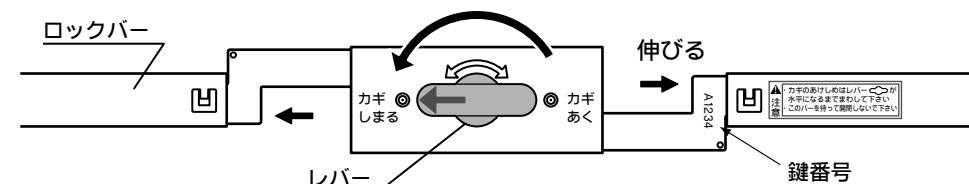
##### 3 カギをかける〈屋外から〉



カギ穴のくぼみと、「文化シャッター」の文字の側を合わせてカギを差し込み、時計回りに半回転させます。

施錠後は、必ずカギを抜いてください。

##### カギをかける〈庫内から〉



レバーを反時計回りに半回転させ、矢印シールを「カギしまる」の向きに合わせます。レバーは水平になるまで回してください。

製品名	タクボガレージ：	
品番		
お買上げ日	年 月 日	
お客様	ご住所 〒 お名前 電話番号 ( ) -	
販売店又は作業店	店名 電話番号 ( ) -	
力ギ番号		
備考		

上記の表にご記入の上、本書を紛失されないよう大切に保管してください。

## タクボ製品についてのお問い合わせ

一貫して生産されるタクボ製品は、品質管理には細心の注意を払っています。万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせがございましたら、下記の弊社営業所(AM9:00～PM5:00)まで、お気軽にご連絡ください。

西条事務所/工場 〒799-1392 愛媛県西条市北条962-7 0898(65)5000(代)  
 仙台営業所 〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目8-12 022(783)3360(代)  
 東京営業所 〒132-0001 東京都江戸川区新堀1丁目6-5 03(3698)2205(代)  
 埼玉営業所 〒362-0066 埼玉県上尾市大字領家91-1 048(783)0771(代)  
 横浜営業所 〒226-0028 横浜市緑区いぶき野31-14 045(984)1891(代)  
 名古屋営業所 〒485-0081 愛知県小牧市横内字下割子287-21 0568(74)5506(代)  
 大阪営業所 〒561-0891 大阪府豊中市走井3丁目1-2 06(6844)3300(代)  
 広島営業所 〒731-0231 広島市安佐北区亀山4-11-54 082(814)6690(代)  
 高松営業所 〒761-8075 香川県高松市多肥下町1529-8 087(865)1349(代)  
 松山営業所 〒790-0062 愛媛県松山市南江戸2丁目4-10 089(922)4300(代)  
 福岡営業所 〒812-0888 福岡市博多区板付7丁目11-15 092(591)5524(代)

(<https://www.e-ty.co.jp>)